基本目標1

人づくり・組織づくりの強化

	取 組 項 目 名	担当部	掲載ページ
1	マンパワー不足への対応及び適正な職員数の検討と定員適正化計画の策定	総務部	3
2	人事評価制度の導入	総務部	3
3	意欲と能力を高める職員研修の実施	総務部	4
4	意欲と能力を引き出す人事管理の推進	総務部	4
5	効率的な組織再編の実施	財務部	5
6	課(室)単位での組織力の向上	総務部・財務部	5
7	新たな業務改善策の検討・実施	財務部	6
8	保育サービス向上に向けた保育士適正配置基準の検討	福祉部	6
9	施設維持事務所の業務のあり方の検討	建設部	7
1 0	学校用務員のあり方の検討	教育委員会	7

1	取組項目名		'一不足への対応及	び適正な	な職員数の	検討と気	定員適正化	(計画の		部名		务部
1		不足の解	復興業務を円滑に 3消を図る。また、						置し、復興		おけるマン	
(1)取約	組概要		双組内容】 近正化計画の策定									
			平成27年度	・マンバ	パワー不足	の解消						
		前期	平成28年度	・マンハ	パワー不足	の解消						
(9) 年	度別取組内容		平成29年度	・マンバ	パワー不足	の解消						
(2) +1	Z J J J J J J J J J J J J J J J J J J J		平成30年度	・定員通	窗正化計画	iの策定						
		後期	平成31年度	・定員通	窗正化計画	「の実施						
			平成32年度	・定員通	窗正化計画	ĵの実施) /. He		П	//a lin	
			目標指標名			単位		前 期	平成29年度	亚成20年度	後期	
					目標値		実施	実施	実施	十成30千及	十成31年及	十灰32千及
(a) E t	ari kka lari	マンパワ	一不足の解消		実績値 達成率	%				hts -	4 14	
(3) 目标	漂指標	定員適正	E化計画の策定		目標値 実績値 達成率	- %				策定	実施	実施
					目標値							
					実績値							
						0/0						
		<u> </u>			達成率	%			+0 1/2	立7 万	♦/٨.至	& 4n
2	取組項目名	人事評価	新度の導入			%				部名課名		务部 事課
2	取組項目名		新側度の導入評価に伴う昇給・	昇格を行	達成率		面制度を導	うなする。		部名課名		务部 事課
2 (1) 取新		適正な		昇格を行	達成率		田制度を 導	事入する。				
		適正な	注評価に伴う昇給・ 双組内容】	I	達成率	人事評价		真入する。				
		適正な	評価に伴う昇給・ 対組内容】 革価制度の導入	・人事記	達成率	人事評値		(多様では、100円では、10				
(1) 取着	组概要	適正な【主な取・人事評	評価に伴う昇給・ 双組内容】 で価制度の導入 平成27年度	・人事	達成率 一方うため、 平価制度の	人事評値 決定・記	式行	算入する。				
(1) 取着		適正な【主な取・人事評	評価に伴う昇給・ 取組内容】 で価制度の導入 平成27年度 平成28年度	人事言・人事言	達成率 テうため、 平価制度の 平価制度の	人事評値 決定・記 導入	式行 各運用	算入する。				
(1) 取着	组概要	適正な【主な取・人事評	評価に伴う昇給・ 取組内容】 で価制度の導入 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・人事言・人事言・人事言	達成率 テうため、 平価制度の 平価システ	人事評値 決定・記 導入 ムの本材	各運用	算入する。				
(1) 取着	组概要	適正な 【主な耶・人事割	評価に伴う昇給・ 図組内容】 評価制度の導入 平成27年度 平成28年度 平成29年度	人事言人事言人事言人事言	達成率 一達成率 一方うため、 平価制度の 平価システ 平価システ	人事評値 決定・記 導入 ムの本材	太行 各運用 各運用 各運用		担当		人間	事課
(1) 取着	组概要	適正な 【主な耶・人事割	評価に伴う昇給・ 取組内容】 で価制度の導入 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	人事言人事言人事言人事言	達成率 すうため、 平価制度の 平価・システー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人事評値 決定・記 導入 ムの本材	太行 各運用 各運用 各運用	前期	担当	課名	後期	事課
(1) 取着	组概要	適正なる。	評価に伴う昇給・ R組内容】 で価制度の導入 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	 人事 人事 人事 人事 人事 人事 人事 	達成率 すうため、 平価制度の 平価・システー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人事評値 決定・記 導入 ムの本本 ムの本本 単位	太行 各運用 各運用 各運用	前期	担当	課名	後期	事課
(1) 取組(2) 年月	组概要	適正なる。	評価に伴う昇給・ R組内容】 で価制度の導入 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	 人事 人事 人事 人事 人事 人事 人事 	達成率 一達成率 一達成率 一章ため、 平価制度のの 平価・シススス 値値値率 でする。 でする。 でする。 では、 できます。 できまずる。 できまずる。 できまずる。 できまずる。 できまずる。 できまずる しゅう できまずる しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	人事評価が決定・記事子といるの本本とよの本本とよの本本とよの本本とよの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本とよるの本本	太行 各運用 各運用 各運用 本運用 本運用 本運用	前 期平成28年度	担当	課名	後期	事課
(1) 取着	组概要	適正な ・ 主な取割 ・ 前期 後期	評価に伴う昇給・ R組内容】 で価制度の導入 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	 人事 人事 人事 人事 人事 人事 人事 	達成率 では	人事評値 決定・記 導入 ムの本本 ムの本本 単位	太行 各運用 各運用 各運用 本運用 本運用 本運用	前期	担当	課名	後期	事課
(1) 取組(2) 年月	组概要	適正な ・ 主な取割 ・ 前期 後期	評価に伴う昇給・ A組内容】 A価制度の導入 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 話制度の決定・試行	 人事 人事 人事 人事 人事 人事 人事 	達成率 一達成率 一達成率 一手を表しため、 一手を表しため、 一手を表しため、 一手を表しため、 一手を表した。 一手を、 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手を表した。 一手をを表した。 一手をを表した。 一手をを表した。 一手をを、 一手をを、 一手をを、 一手をを、 一手をを、 一をを、 一ををををををををををををををををををを	人事評値 決定・記 導入 ムの本本 ムの本本 単位	太行 各運用 各運用 各運用 本運用 本運用 本運用	前 期平成28年度	平成29年度	平成30年度	後 期 平成31年度	平成32年度
(1) 取組(2) 年月	组概要	適正な 道正な (主な事) 前期 後期 人事評価 人事評価	評価に伴う昇給・ A組内容】 A価制度の導入 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 話制度の決定・試行	・人事・人事・人事・人事・人事	達成率 では	人事評値 決定・記 導入 ムの本材 ムの本材 単位 一 %	太行 各運用 各運用 各運用 本運用 本運用 本運用	前 期平成28年度	担当	課名	後期	事課

3	取組項目名	意欲と能	€力を高める職員研	干修の実施	<u>. ti</u>				担当		総務	
)総合的能力の向上 「職場外研修の推進					う、「自己	担当 上啓発の仮		人事 「OJTの	
(1)取約	組概要	【主な取 ・管理監 ・O J T	双組内容】 近督者への意識啓発 がイドブックの作 な研修の実施	巻等の推進	<u>É</u>	(切形をす	き地 9 分。					
		<i>外</i> 术中.	平成27年度	・O J T ・効果的	監督者への ガイドブ 句な研修の	`ックの作)実施	=成と活用	1				
		前期	平成28年度	・O J T ・効果的	監督者への ゴイドブ 対な研修の	`ックの作 実施	■成と活用	1				
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・OJT ・効果的	監督者への ↑ガイドブ かな研修の 監督者への	`ックの作)実施	≡成と活用	1				
			平成30年度	・O J T ・効果的	監督者への この推進 内な研修の 監督者への	実施						
		後期	平成31年度	・OJT ・効果的		実施						
			平成32年度	• О Ј Т	で推進 りな研修の		2 1, 1 1, 1, 1	_				
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	
		階層別研	F修の実施		目標値実績値	人	実施	実施	実施	実施	実施	実施
(3) 目柱	漂指標	ОЈТ第	薬施状況の報告		達成率 目標値 実績値	% 件	作成	作成	実施	実施	実施	実施
		研修計画	『に基づく研修の実	<u> </u>	達成率 目標値 実績値	<u>%</u> _	実施	実施	実施	実施	実施	実施
					金出家	0/.						
4	取組項目名	意欲と能	色力を引き出す人事	写管理の推	達成率	%			担当担当		総務人事	
4 (1) 取約		効率的 る。 【主な取 ・人物重 ・中途採	コに業務を実施する 対組内容】 直視の採用試験手法 採用の充実	ため組織	推進		ことから	う、意欲と	担当	課名	人事	事課
		効率的 る。 【主な取 ・人物重 ・中途採	コに業務を実施する 双組内容】 取組の採用試験手法	ため組織 ため組織 たの検討 き討 ・人物重 ・中途拐	推進 歳力の向上 遠視の採用 採用の充実	よが必要な は 試験手法	この検討		担当	課名	人事	事課
		効率的 る。 【主な取 ・人物重 ・中途採	加に業務を実施する 双組内容】 直視の採用試験手法 採用の充実 裁員の登用拡大の検	ため組織を対している。 一・大の検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	推進 は力の向上 は視の採用	試験手法 : 配置 0 試験手法	この検討 の拡大の検 この実施		担当	課名	人事	事課
(1) 取第	組概要	効率的る。 【主な取り ・人物重 ・中途採り ・女性陥	加に業務を実施する 取組内容】 直視の採用試験手法 採用の充実 減員の登用拡大の模 平成27年度	ため組織を対している。 の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進進 地域力の向上 では、現のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	試験手法 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	まの検討 の拡大の検 なの実施 の拡大 の なの実施 の な の な の な の な の な の ま の の ま の あ の ま の あ の ま の あ の ま の あ の ま の の あ の の の の の の の あ の あ の の の の の の の の の の の の の		担当	課名	人事	事課
(1) 取第		効率的る。 【主な取り ・人物重 ・中途採り ・女性陥	回に業務を実施する 対組内容】 対視の採用試験手法 採用の充実 議員の登用拡大の検 平成27年度 平成28年度	ため 対・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進 進 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世		まの検討 の拡大の検 の拡大を が拡大 が拡大 が が が が が が が が が が が が が		担当	課名	人事	事課
(1) 取第	組概要	効率的る。 【主な取り ・人物重 ・中途採り ・女性陥	回に業務を実施する 取組内容】 直視の採用試験手法 採用の充実 議員の登用拡大の検 平成27年度 平成28年度 平成29年度	ため 対・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世		を が が が が が が が が が が が が が		担当	課名	人事	事課
(1) 取第	組概要	効率的る。 【主な取 ・力・分性報 ・対性報	回に業務を実施する 双組内容】 直視の採用試験手法 採用の充実 裁員の登用拡大の模 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	たの。 対・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進 進 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世 世		で が が が が が が が が が が が が が	食 計	担当:能力を引	課名	人 事管理を	を ・推進す
(1) 取第	組概要	効率的る。 【主な取 ・力・分性報 ・対性報	双組内容】 近視の採用試験手法 延視の採用試験手法 展用の充実 議員の登用拡大の検 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	たの。 対・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進力では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	ボルン () () () () () () () () () (る が が が が が が が が が が が が が	前 期平成28年度	担当:能力を引	課名 き出す/ 	後 平成31年度	平成32年度
(1) 取組(2) 年月	組概要 度別取組內容	効率 の	回に業務を実施する 取組内容】 対視の採用試験手法 採用の充実 議員の登用拡大の検 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	たの。 対・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進 な	 が必要な が必要を が必要を が必要を が必要を が必要を が必要を を験配験を を動きを を対して が必要を を対して が必要を を対して が必要を を対して が必要を を対して を対して	を が が が が が が が が が が が が が	前 期 平成28年度 実施	担当:能力を引 ・能力を引 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	課名 き出す/ 	後 期 平成31年度 実施	平成32年度 実施
(1) 取第	組概要 度別取組內容	効率 の	Dに業務を実施する Q組内容】 2組内容】 2組内容】 2相の充実 3週の発用拡大の模 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	た の 討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進力 では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	Xi Xi Xi Xi Xi Xi Xi Xi	る が が が が が が が が が が が が が	前 期平成28年度	担当:能力を引	課名 き出す/ 	後 平成31年度	平成32年度

5	取組項目名	効率的な	は組織再編の実施						担当			务部
J	以此"只日·石			- 11 - NIC -+	5 2 M. A	2 . 2	H A) Lt P		課名		圣営課
		復興事	事業の加速化と効率	ど化に業務	8を進める	ため、キ	犬況に見台	かた効果	と 的な組織	は 再編をま	を施する。	
(1)取約	且概要		双組内容】 −課に対する組織ヒ	ニアリンク	が等の状況	調査の多	尾施					
			平成27年度	・庁内各	ら部・課に	対する糺	且織ヒアリ	ング等の)状況調査	Eの実施		
		前期	平成28年度	・庁内名	ら部・課に	対する糺	且織ヒアリ	ング等の)状況調査	Eの実施		
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・庁内名	・部・課に	対する約	且織ヒアリ	ング等の)状況調査	の実施		
			平成30年度	・庁内名	・部・課に	対する約	且織ヒアリ	ング等の)状況調査	この実施		
		後期	平成31年度	・庁内名	・部・課に	対する約	且織ヒアリ	ング等の)状況調査	の実施		
			平成32年度	・庁内名	ら部・課に へ	対する約	且織ヒアリ			医の実施	後期	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 平成28年度		平成30年度		
		状況調査	の実施		目標値	П	1	1	1	1	1	1
		4人/儿师1	. 07 关ル		実績値 達成率	%						
(3) 目核	票指標	組織再編	るの実施(実績値 <i>の</i>)み)	目標値 実績値 達成率	回 %		_	_		_	_
					目標値	·						
					達成率	%						
6	取組項目名	課 (室)	単位での組織力の)向上	達成率	%			担当			• 財務部
6	取組項目名		単位での組織力の				ナステレな	・目的とし	担当	課名	人事課・行	_丁 政経営課
6	取組項目名	常に目	単位での組織力の 標を持ち、組織全 信力の強化を図る	全体として	この能力を	・向上させ			担当て、課	課名 (室) 単位	人事課・行	_丁 政経営課
6 (1) 取糸		常に目 制力や発 【主な取 ・グルー	標を持ち、組織全	全体として 5仕組みや 5月直しと	この能力を アグループ ご運用指針	・向上させ ・制が効率 ・の策定	宮的に機能	言する仕組	担当 /て、課 Iみを構築	課名 (室) 単位 ぎする。	人事課・行び、所属	_{丁政経営課} 長の統
-		常に 制力や発 【主な ・ ・ 所管業	標を持ち、組織全 信力の強化を図る な組内容】 プ制の運用方法の	全体として 6仕組みや 0見直しと 計画、改善 ・グルー	この能力を アグループ ご運用指針	向上させ 別が効率 の策定 ズグルーフ	図的に機能 プ編成方針 	きする仕組 十等をまと <u></u> 指針の策	担当 て、課 日みを構築 がた課(!	課名 (室) 単位 とする。 室)別の年	人事課・行 で、所属 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	_{丁政経営課} 長の統
-		常に 制力や発 【主な ・ ・ 所管業	標を持ち、組織全 信力の強化を図る 対組内容】 プ制の運用方法の 務に関する実施計	体としてが上して・グルー・各課・グルー・	での能力を アグループ : 運用指針 等計画及び - プ制の運	向上させ 制が効率 の策定 バグルーン 用方法の 運営方針	図的に機能 パ編成方金)見真し、向 正用開始	きする仕組 十等をまと <u></u> 指針の策	担当 て、課 日みを構築 がた課(!	課名 (室) 単位 とする。 室)別の年	人事課・行 で、所属 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	_{丁政経営課} 長の統
(1) 取系		常に目制力や発	標を持ち、組織全 信力の強化を図る 取組内容】 -プ制の運用方法の 達務に関する実施計 平成27年度	体としてがれます・グル・各課・グ課・ク書	での能力を アグループ : 運用指針 等計画及び - プ制の運 (室) 年間 - プ制の運	向上される 制が効率 の策定 アクループ 用方法方 開連営方金	容的に機能 プ編成方金)見直し、 十導入 E用開始 十導入	きする仕組 十等をまと 指針の策 1けた検討	担当 て、課 日みを構築 がた課() がた課() がた課()	課名 (室) 単位 とする。 室)別の年	人事課・行 で、所属 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	_{丁政経営課} 長の統
(1) 取系	且概要	常に目制力や発	標を持ち、組織全 信力の強化を図る 組内容】 一プ制の運用方法の 達務に関する実施 平成27年度 平成28年度	体として分付組みやり見直しと・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス・クス<l>・クス・クス・クス・クス・クス・クス<</l>	での能力を でグループ で運用指針 を計画及び で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	向上される 一の策定 一の策定 一の策定 一の策定 月方法方 手工 一方法方 手工 一方法方 一道 一道 一道 一道 一道 一道 一道 一道 一方方 一方方 一方方 一方	図的に機能 プ編成方針 り見真人 し、向 を関開始 十の策定、	きする仕組 十等をまと 指針の策 1けた検討	担当 て、課 日みを構築 がた課() がた課() がた課()	課名 (室) 単位 とする。 室)別の年	人事課・行 で、所属 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	_{丁政経営課} 長の統
(1) 取系	且概要	常に目制力や発	標を持ち、組織全 信力の強化を図る 対組内容】 ・プ制の運用方法の 達務に関する実施言 平成27年度 平成28年度 平成29年度	体として人と人の見直 ひ・各 課・グルー	での能力を でグループ で連用指針で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	向上される 一の策定 ・のがルーケック 一の策定 一方法が 一方法が 一方法が 一方法が 一方法が 一方法が 一方法が 一方法が	図的に機能 プロス (機能) アイス (場所) では (場所) では (はまり) では (はまり) では (はまり) では (はまり) できます (は	きする仕組 十等をまと 指針の策 1けた検討	担当 て、課 日みを構築 がた課() がた課() がた課()	課名 (室) 単位 とする。 室)別の年	人事課・行 で、所属 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	_{丁政経営課} 長の統
(1) 取系	且概要	常に日発に日発します。またのでは、またのででは、またのででです。	標を持ち、組織全 を信力の強化を図る 取組内容】 ・プ制の運用方法の ・一プ制の運用方法の ・一変に関する実施 ・平成27年度 ・平成28年度 ・平成29年度 ・平成30年度	は 体 と は は し は し し し し し し し し し し し し し	この能力をプレープ 連用指数 一プ制の軍間 (室) 年間 (室) 年間 一プ制の運	向上される 一の策ルー か 用が対策 一のボグル 大法方 手工 一の第二 一の第二 一の第二 一の第二 一一 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点	図的に機能 パ編成 直入 開入 世間 開入 世間 開入 世間 単一 一 の 見 直 直 し し し し し の の の の の の の の の の の の の	きする仕組 十等をまと 指針の策 1けた検討	担当 て、課 日みを構築 がた課() がた課() がた課()	課名 (室) 単位 とする。 室)別の年	人事課・行 で、所属 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	_{丁政経営課} 長の統
(1) 取系	且概要	常に日発に日発します。またのでは、またのででは、またのででです。	標を持ち、組織全 信力の強化を図る A 組内容】 -プ制の運用方法の 務に関する実施言 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	は 体 と は は し は し し し し し し し し し し し し し	この能力をプレープ 運用 番目 で 運用 毎日 で 第一プ 第一プ 第一プ 割の 軍間 で 第一プ 割の 軍 間 で 第一プ 割の 運 で 第一プ 割り かい また また かい また かい また	向上される 一の策ルー か 用が対策 一のボグル 大法方 手工 一の第二 一の第二 一の第二 一の第二 一一 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点 一点	図的に機能 が	計等をまと指針の策力けた検索公表、運動	担当まで、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	課名 (室)単位 室)別の年 制度設計	人事課・7 之で、所属 三間運営力	行政経営課 張長の統 万針の策
(1) 取系	且概要	常力・定・・定・・定・・・定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	標を持ち、組織全 信力の強化を図る A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	を体組みできる ・ と善 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ グルー ・ ・ グルー ・ ・ グルー ・ ・ グルー ・ ・ グルー	で が 単	向制がの対グの用運用運用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用	図的に機能 かり は は は は は は は は は は は は は は は は は は	計等をまと指針の策力けた検索公表、運動	担当まで、大きな、世界のでは、大きな、世界のでは、世界のでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きない。	課名 (室)単位 室)別の年 制度設計	人事課・7 之で、所属 三間運営力	行政経営課 張長の統 万針の策
(1) 取系	度別取組内容	常力・定・・定・・定・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー	標を持ち、組織全 経信力の強化を図る 組内容】 一プ制の運用方法の 達務に関する実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	と体組の と と き と と き と と き と き と き と き と き と き	このグループ で	向制が 第一 の が が また が また か また か また か また か また か また か	図的に機能 が	計等をまと指針の策力けた検索公表、運動	担当まで、大きな、世界のでは、大きな、世界のでは、世界のでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きない。	課名 (室)単位 室)別の年 制度設計	人事課・7 之で、所属 三間運営力	行政経営課 張長の統 万針の策
(1)取約(2)年月	度別取組内容	常力・定・・定・・定・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー	標を持ち、組織全 (雇力の強化を図る (組内容】 一プ制の運用方法の 一プ制の運用方法の 一ででは、 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	と体組の と と き と と き と と き と き と き と き と き と き	このグループ でのグループ でのグループ できます 一プ できます 一プ できます 一プ できます 一プ できます でき できます かいます かいます かいます かいます できます かいます できます かいます できます できます できます しゅう できます しゅう	向制がの対グの用運用運用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用用	図的に機能 が	計事をまと 指針の策 が 公表、 通 平成28年度	担当 (課名 (室)単位 室)別の年 制度設計	人事課・7 Zで、所属 三間運営力 十 平成31年度	一 一 一 で で が で か で か で か で か で の 策 の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の
(1)取約(2)年月	度別取組内容	常力・定・・定・・定・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー・・プー	標を持ち、組織全 経信力の強化を図る 組内容】 一プ制の運用方法の 達務に関する実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	と体組の と と き と と き と と き と き と き と き と き と き	てのグレース で	向制 のグ 用運 用運 運 用 用 用 単 一	図的に機能 が	計事をまと 指針の策 が 公表、 通 平成28年度	担当 (課名 (室)単位 室)別の年 制度設計	人事課・7 Zで、所属 三間運営力 十 平成31年度	一 一 一 で で が で か で か で か で か で の 策 の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の

7	取組項目名	新たな業	美務改善策の検討・	実施						前部名 前課名		务部 圣営課
(1) 取約	組概要	案を行則 善策を逐	χ善・改革できる組 対政運営プランの進 函次実施していく。 見を募集し、庁内に	単行管理の また、層)中で毎年 裏災復興期	度、課、	個人単位	立で受けた	 な革につた け、実効	ながる新ため性の検証	上な取組項 Eを行い可	頁目の提 J能な改
			双組内容】 本応援職員からの業	美務改善に	こ関する提	是案募集及	及び周知					
			平成27年度					こ関する提 よ取組項目				
		前期	平成28年度					こ関する提 な取組項目				
(2)年月	度別取組内容		平成29年度					こ関する提 は取組項目				
(=) 12	2,3,1,0,1,21,7,1		平成30年度	・行財政	女運営プラ	ンに基づ	づく新たな	よ取組項目	の検討・	・追加		
		後期	平成31年度	・行財政	女運営プラ	ンに基づ	づく新たた	3取組項目	の検討・	・追加		
			平成32年度	・行財政	女運営プラ	ンに基づ	づく新たな	な取組項目	の検討・	・追加		
			目標指標名	•		単位	平成27年度	前期 平成28年度		平成30年度	後期平成31年度	
				かった	目標値 実績値	項目数	_	_	_	_	_	_
(3) 目相					達成率 目標値	%			_			
(0) [1]	水1日7水	プランに (実績値	「追加する新規取組 直のみ)	且項目数	実績値	項目数 %		_	_		_	_
					目標値	70						
					実績値							
					実績値 達成率	%						
8	取組項目名		-ビス向上に向けた		達成率	と 準の検言	•		担当	i部名 i課名	子ども	业部 保育課
8 (1) 取系		保育サラ。	ービスの充実を図 対組内容】 午後保育の検討 午後の保育に必要	 るため、 	達成率 適正配置基 土曜日午	と準の検言 に後の保育	育に必要な	よ保育士の	担当	i課名	子ども	保育課
		保育サラ。	ービスの充実を図 取組内容】 1午後保育の検討	るため、 でな保育士 の拡大の ・土曜 F	達成率 選正配置基 土曜日午 上の適正配 日午後保育	と準の検言 と 世 基 準 の 検 討	育に必要な	よ保育士の	担当)適正配置	i課名 置基準につ	子ども	保育課
		保育サラ。	マ組内容】 午後保育の検討 午後保育実施施認	るため、 有大曜曜 が開生 が開生	達成率 ・ 達成率 ・ 重正配置基 ・ 土曜日午 ・ の検討 ・ 年後の所 ・ 日午後の所 ・ 日本 ・ 日本	上準の検言 上後の保育 上後の保育 上置基準の 検討 で、 に に に に い に に い に い に い に い に い に い に	育に必要な (京に必要な (京を) (京を) (京を) (京を) (京を) (京を) (できる)	上の適正配 須江、湊 上の適正配	担当 の適正配置 と置基準の こども園 と置基準の	課名 置基準につ)検討) で土曜)検討	子どもついて検討	保育課付を行
(1) 取希	组概要	保育サ う。 【主な耶 ・土曜 ・土曜 ・土曜日	本組内容】 「年後保育の検討」 「午後保育実施施設」 「午後保育実施施設」 平成27年度	る なの ・・開・・所・	達成率 達成率 造正配置基 土曜日午 の検討 年後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所 日午後の所	と準の検言ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	育に必要な 育に必要な の検討 要な野川、 要な野川、 要な野川、 要な野川、 要な野川、 要な野川、	上の適正配 須江、湊 上の適正配 頁江、湊ご	担当 の適正配置 ごども園 に置基準の にども園)	課名 置基準につ)検討)検討 で土曜 つ検討	子どもついて検討	保育課付を行
(1) 取希		保育サ う。 【主な耶 ・土曜 ・土曜 ・土曜日	マ組内容】 午後保育の検討 午後保育に必要 午後保育実施施設 午後保育実を 平成27年度 平成28年度	る なの ・ ・ 開・・ 所・ ・ せ で は 土土 公所土公時土土土土検 で は で は で は で は で は で で で で で で で で で	達成率 遠正配置 4 一の検 午後の所 日午後の所 日午後後の所 日午後後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日午年後の所 日子年を 日子を 日子を 日子を 日子を 日子を 日子を 日子を 日子	を準の保育とでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	育に必要な 育に必要な 一次で 一次で を の検討 一次で を のを のを のを ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	上の適正配 須江、湊 上の適正配 頁江、湊こ 上の <u>適正配</u> 会計 上の適正配	担当 適正配置 こども園 2置基準の とども園) 2置基準の	課名 登基準につ)検討 で土曜)検討曜日)検討	子どもついて検診	保育課 対を行 と同様の 同様の開
(1) 取希	组概要	保育サ う。 【主な耶 ・土曜 ・土曜 ・土曜日	マ組内容】 1午後保育の検討 1午後保育に必要 1午後保育実施施設 平成27年度 平成28年度 平成29年度	る なの ・・開・・所・・せ・・せ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達成率 選正 工曜 一番	で	育に必要な では では では できな できな できな できな できな できな できな できない かん できない かんしょう かんしょう しゅう かんしょう かんしょう かんしょう しゅう かんしょう しゅう かんしょう しゅう かんしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	上の適正配 須江、湊 上の適正配 資証、 会計 上の適正配 会計 上の適正配	担当 一選基準の こども園 一選基準の 一選基準の 一選基準の 一選基準の	課名 登基準にご か検討で土曜 の検討(再) の検討(再)	日も平日と日	保育課 対を行 と同様の 同様の開 進行と併
(1) 取希	组概要	保育サ う。 【主な耶日・土曜日・土曜日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マ組内容】 午後保育の検討 午後保育に必要 午後保育実施施設 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	る なの ・・・開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成率 達成率 達成率 達成 生の検 年後の検 年後の 年齢の 年齢	を進している。 との では で で で で で で で で で で で で で で で で で で	では、	たの適正配 須江、湊 たの適達を 計 を 会計 を 会計 を 会計 の適正配 会計 の適正配 を 会計 の適正配 を 会計 の適正配 を の の の の の の の の の の の の の の の の の の	担当 適正配置 こども園 <u>と置基準の</u> と置基準の と置基準の と置基準の	課名 置基準につ 検討で土曜 の検討で の検討(再) の検討(再)	日も平日と日編計画の領温計画の	保育課 付を行 と 同様の 開 進行と 併 進行と 併
(1) 取希	组概要	保育サ う。 【主な耶日・土曜日・土曜日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マ組内容】 午後保育の検討 午後保育実施施記 午後保育実施施記 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	る なの ・・・開・・所・・・せ・・せ・・ はの ・・・開・・所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成率 達成率 達成率 達成 生の検 年後の検 年後の 年齢の 年齢	一	すに 人 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	上の適正配 須江、湊 上の適湊 上の適湊 上の適正配 会計 油面正配 会計	担当 適正配置 と置基準の と置基準の と置基準の と置基準の と置基準の	課名 登基準につか 検討で大量 1 放検計で大量 1 放検計では、再のでは、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別	日も平日と「編計画の演編計画の演編計画の対象を関する。	保育課 付を行 の 関 進行と併 進行と併 進行と併
(1) 取希	组概要	保っている。は、主生のは、は、主生のは、は、生生のは、は、生生のは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	マ組内容】 午後保育の検討 午後保育に必要 午後保育実施施設 午後保育実施施設 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	る なの ・・・開・・所・・・せ・・せ・・ はの ・・・開・・所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成率 基本 上の検 年後 2 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	本で、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	すに 人 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	たの適正を養している。 「ないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	担当 適正配置 と置基準の と置基準の と置基準の と置基準の と置基準の	課名 登基準につか 検討で大量 1 放検計で大量 1 放検計では、再のでは、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別	日も平日と「編計画の演編計画の演編計画の対象を関する。	保育課 付を行 の 関 進行と併 進行と併 進行と併
(1) 取希	组概要 度別取組内容	() () () () () () () () () ()	 一ビスの充実を図れる。 知組内容】 1午後保育の検討 1午後保育実施施設 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 	A	達成率 達成率 達成 生の検 年後 2 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	を進している。 との では、 との では、 との では、 との では、 との では、 にん では、 にん では、 にん では、 との では、 この では、	育に必要を 育に必要を 変数のでである。 変数のでは、 変数のでは、 変数のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	上の適正配 須江、湊 上の適湊 上の適湊 上の前 金 大の 一次 大の 一次 大の 一次 大の 一次 大の 一次 大の 一次 大の 一次 大の 一次 大の 一次 大の 一次 大の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の しの 一の 一の 一の 一の 一の の 一の の 一の の 一の の の 一の の 一の の の の の の に の の の の	担当 適正配置 とでも園 と置基準の と置基準の と置基準の と置基準の で成29年度	課名 受基準につか 検討で 対検計で 検討で 検討で 検討(再) で検討(再) で検討(再)	子ども 子と検診 日も平日とは 編計画の 編計画の 後 平成31年度	保育課 対を行 と同様の 開 進行と併 進行と併 連行と併
(1) 取給	组概要 度別取組内容	() () () () () () () () () ()	マ組内容】	A	達	本では、	すに 対 を が を が を が を が を が を が の な の の な の の な の の の の の の の の の の の の の	上の適正配 須江、湊 上の適速奏 上の適湊 上の適差 会計 一度計 上の適正正配 前 中の 中の は では に では に では に では に では に では に では に で	担当 一選基準の 一選基準の 一選基準の 一型基準の 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定	課名 受基準につか 検討で 大機計で 大地に 大地に 大地に 大地に 大地に 大地に 大地に 大地に	子ども 子と検討 日も平日 編計画の 編計画の 後期 平成31年度 平成21年度	保育課 対を行 と 同様の 開 進行と併 進行と併 単行と併

9	取組項目名	施設維持	手事務所の業務のあ	り方の検	討			-	担当担当		建設	
<i>(</i>) <i>(</i>	100		É持事務所の業務に □おり、官と民で行						管理の他	、各施部	との維持補	修作業
(1)取約	組概要		双組内容】 推持事務所の業務の	かあり方の)検討							
			平成27年度	• 施設維	持事務所	の業務の)あり方の)検討、総	合計画へ	位置づけ	†	
		前期	平成28年度	• 施設維	挂持事務所	の業務の)あり方の)検討、総	合計画へ	位置づけ	†	
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	• 施設維	挂持事務所	の業務の)あり方の)検討、総 	合計画へ	位置づけ	<u> </u>	
			平成30年度	人員の	削減、業	務の民間	委託の第	尾施				
		後期	平成31年度	人員の	削減、業	務の民間	委託の第	尾施				
			平成32年度	人員の	削減、業	務の民間	 委託の第	尾施				
			目標指標名			単位	亚成97年度	前期平成28年度	亚成90年度	亚成30年度	後期	亚战39年度
					目標値		実施	一一八人	干灰25千尺	干灰30平反	十成31千尺	十灰32千尺
		施設維持	事務所の業務のあり	方の検討	実績値	%						
(3) 目核	票指標				目標値	人		1	1	1	1	1
		人員の削	川減		実績値	<u>%</u>						
		業務の国	· 记間委託(作業割合	r)	国標値 目標値 実績値	%		10	10	10	10	10
						0/						
10	取組項目名	学校用務	5員のあり方の検討	<u> </u>	達成率	%			担当		教育多	
10	取組項目名		系員のあり方の検討 日務員業務の効率的	-	達成率		の明確化な	よどを行い	担当	課名	教育約	総務課
10	取組項目名		務員業務の効率的	-	達成率		の明確化な	ょどを行い	担当	課名	教育約	総務課
10 (1) 取糸		学校用 討をする 【主な耶 ・学校用	務員業務の効率的	」な運営を は化や業務	達成率 図るため	、業務 <i>0</i> 研修内容			担当	課名	教育約	総務課
		学校用 討をする 【主な耶 ・学校用	務員業務の効率的 ある	コな運営を 配い で で で で で で で で き で き で き で き で う で う に う に う に う り う り う り う り う り う り う に う う う う	達成率 図るため に必要な の配置の	、業務 <i>6</i> 研修内容 検討	浮等を検 言		担当、学校用	課名 務員のお	教育総合の対象を	総務課
		学校用 討をする 【主な耶 ・学校用	務員業務の効率的 ス組内容	」な運営を 低化や業務 時職員等 ・学校用	達成率 で図るため そに必要な の配置の 引務員の業	、業務の 研修内容 検討 務の明確	ゞ等を検言 	4	担当、学校用	課名 務員のあ	教育彩 かり方につ	総務課
(1) 取翁	且概要	学校月 討をする 【主な取・学校月・学校月	務員業務の効率的 2	で で で で で で で で で で で で で で	達成率 で図るため ないの配置の は必要なの配置の は、必要なの と、必要なの は、必要なの と、と と と と と と と と と と と と と と と と と と	、業務の 研修内名 検討 務の明確 務の明確	琴等を検言 ないや業務 ないや業務	対 8に必要な	担当、学校用 研修内容	課名 務員のあ 等を検討	教育彩 つり方につ	総務課
(1) 取翁		学校月 討をする 【主な取・学校月・学校月	務員業務の効率的 28 28 28 28 28 28 28 28	で運営を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	達成率 で図るため 等に必要な がの配置の 関務員の業 関務員の業	、業務の 研修内 務の明 務の明 務の明 務の明	字等を検言	寸	担当 、学校用 研修内容 研修内容	課名 務員のあ 等を検討 等を検討	教育彩 かり方につ	総務課
(1) 取翁	且概要	学校月 討をする 【主な取・学校月・学校月	務員業務の効率的 2組内容	で運営を 企化や業務 時職員等 ・学校用 ・学校用 ・学校用	達成率 一図るため 等に必要なの配置の 一部である。 一述である。 一でである。 一ででする。 一ででで。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一ででする。 一でで。	、業務の特別を表の明確 務の明確 務の明確 務の明確 の明確 の明確 の明確 の明確 の明確 の明確 の明確 ないがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	字等を検言 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務	対	担当 、学校用 研修内容 研修内容	課名 1務員のあ 等を検 等を検 等を検 等を検 ま	教育系 かり方につ	総務課
(1) 取翁	且概要	学校月記をする。	務員業務の効率的 2組内容	で運営を 企化や業務 ・学校用 ・学校用 ・学校用 ・学校用	達成率 図るため 窓に必要なの 部務員の業 部務員の業	、業務の移動を表現している。	字等を検言 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務	対	担当 、学校开 研修内容 研修内容 研修内容	課名 務員のあ 等を検診 等を検診 等を検診 等を検診	教育系 かり方につ け け け	総務課
(1) 取翁	且概要	学校月記をする。	務員業務の効率的 2 組内容	で運営を 企化や業務 ・学校用 ・学校用 ・学校用 ・学校用	達成率 図るため 窓に必要なの 部務員の業 部務員の業	、業務の移動を表現している。	字等を検言	対 第に必要な 務に必要な 務に必要な 務に必要な 務に必必要な のがのがのが のがのがのが のがのがのがのが	担当 、学校开 研修内容 研修内容 研修内容	課名 一	教育系 かり方につつ け け け け り り り り り り り り り り り り り り り	窓務課しいて検
(1) 取翁	且概要	学校する取用を対するでは、学校の関係を対しています。	務員業務の効率的の。 2組内容	で運営を 能中職員等 ・学校用 ・学校用 ・学校用 ・学校用	達成率 図るため なの 製	、業務の移務務務務の場合のののののののののののののののののののののののののののののの	字等を検言	対	担当 、学校开 研修内容 研修内容 研修内容	課名 一	教育系 かり方につつ け け け け り り り り り り り り り り り り り り り	窓務課 かいて検
(1) 取翁	度別取組内容	学校する取用を対するでは、学校の関係を対しています。	務員業務の効率的の。 Radia Radia	で運営を 能中職員等 ・学校用 ・学校用 ・学校用 ・学校用	達成率 図るため なの 単標値値率 で	、業務の 務 務 務 務 務 務 務 の 明 明 研 の 明 明 の 明 明 の の 明 明 の の の 明 明 の 位 一 %	字等を検言 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務	対	担当 、学校开 研修内容 研修内容 研修内容 研修内容	課名 務員の b	教育系 かり方につっ け け け サ サ サ サ サ	※務課 かいて検 平成32年度
(1) 取系	度別取組内容	学校する取用を対するでは、学校の関係を対しています。	務員業務の効率的の。 Radia Radia	で運営を 能中職員等 ・学校用 ・学校用 ・学校用 ・学校用	達成率 達成率 で図るため で図るでは、	、業務の移務務務務の場合のののののののののののののののののののののののののののののの	字等を検言 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務	対	担当 、学校开 研修内容 研修内容 研修内容 研修内容	課名 務員の b	教育系 かり方につっ け け け サ サ サ サ サ	※務課 かいて検 平成32年度
(1) 取系	度別取組内容	学校する取用を対するでは、学校の関係を対しています。	務員業務の効率的の。 Radia Radia	で運営を 能中職員等 ・学校用 ・学校用 ・学校用 ・学校用	達成率 図るため なの 単標値値率 で	、業務の 務 務 務 務 務 務 務 の 明 明 研 の 明 明 の 明 明 の の 明 明 の の の 明 明 の 位 一 %	字等を検言 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務 崔化や業務	対	担当 、学校开 研修内容 研修内容 研修内容 研修内容	課名 務員の b	教育系 かり方につっ け け け サ サ サ サ サ	窓務課 かいて検 平成32年度

-	8	-

基本目標 2 安定的な歳入の確保

	取 組 項 目 名	担当部	掲載ページ
1	ふるさと納税の推進	復興政策部	11
2	未利用市有財産の処分	総務部	11
3	自動販売機設置に係る入札制度の検討	総務部	12
4	庁舎内及び公用車への広告設置	総務部	12
5	国債等による基金運用の実施	財務部	13
6	使用料・手数料の見直し	財務部	13
7	市税等の現年度収入率の向上	財務部	14
8	市税等の滞納対策の強化	財務部	14
9	市税等の新たな納入方法の検討	財務部	15
1 0	石巻霊園及び(仮称)石巻第二霊園の管理料の徴収の検討	生活環境部	15
1 1	家庭ごみ収集の有料化の検討	生活環境部	16
1 2	各種健(検)診事業の総合検診化及び自己負担金の適正金 額の検討	健康部	16
1 3	保育所保育料の収納率の向上	福祉部	17
1 4	放課後児童クラブ利用負担金の見直しの検討	福祉部	17
1 5	労働会館の料金体系の見直し	産業部	18
1 6	市営住宅使用料の収納率の向上	建設部	18
1 7	公共下水道等使用料の収納率の向上	建設部	19
1 8	水洗化率向上に関する広報の実施	建設部	19
1 9	下水道使用料の見直し	建設部	20
2 0	奨学金の滞納対策の強化	教育委員会	20
2 1	学校給食費の収納率の向上	教育委員会	21
2 2	社会教育認定団体の社会教育施設使用時の減免内容の統一 化	教育委員会	21
2 3	運動公園等への広告設置・ネーミングライツ導入の検討	教育委員会	22
2 4	医業未収金(患者一部負担金)の管理対策の強化	病院局	22
2 5	債権の適正管理の推進	財務部	23

1	取組項目名	ふるさと	: 納税の推進						担当担当		復興 項	改策部 対策課
			がななな。 とかれた地場産品の				図るととも	っに、ふる				
(1) 取約	組概要	【主な耶 ・寄附者	対組内容】 が使いやすいホー なと産品のメニュー	-ムペーシ	^ジ の更新							
),44 tV v .	平成27年度		Pすいホー ペニューの O充実							
		前期	平成28年度		Pすいホー ペニューの O充実							
(2) 年月	度別取組内容		平成29年度	・産品フ ・広報の	ヾニューの ○充実	更新とす	定実					
(2) + 1	Z J J J Z K WILL J CH		平成30年度		ヾニューの ○充実(ポ			上掲載、杉	ξとなる P	Rイベン	/ト参加)	
		後期	平成31年度		ペニューの O充実(ポ			上掲載、杉	ξとなる F	Rイベン	/ト参加)	
			平成32年度		ペニューの O充実(ポ					Rイベン	/ト参加)	
			目標指標名			単位		前 期平成28年度		平成30年度	後期 平成31年度	
		産品メニ	ニューの更新回数		目標値 実績値	口	4	4	4			
(3) 目相	票指標				達成率 目標値	<u>%</u> 千円	350, 000	360,000	370,000	380, 000	390,000	400,000
		寄附金額	Į.		実績値達成率	%						
		市外での)PRイベント参加	1回数	目標値 実績値	口	4	4	4	4	4	4
					達成率	%						
2	取組項目名	未利用市	「有財産の処分			%			担当		総教	
		独自財	対源の確保のため、 対組内容】		達成率		才産の処分	うを行う。	担当担当			务部 才課
2 (1) 取新		独自財 【主な取 ・未利用	才源の確保のため、	問査	達成率		才産の処分	うを行う。				
		独自財 【主な取 ・未利用	才源の確保のため、 対組内容】 目市有地等の把握調	間査 L分	達成率	の市有貝						
		独自財 【主な取 ・未利用	対源の確保のため、 対組内容】 日市有地等の把握調 日市有地等の財産処	間査 1分 ・未利月 ・未利月	達成率	の市有則	調査・処分 調査・処分	}				
(1) 取着		独自 【主な 取 ・未利 ト ・未利 用	才源の確保のため、 対組内容】 日市有地等の把握調 日市有地等の財産処 平成27年度	野査 ・未利用 ・未利用 ・未利用	達成率	の市有則の把握訓の把握訓の売払力	間査・処分 間査・処分 可法の検討 間査・処分) } t				
(1) 取着	組概要	独自 【主な 取 ・未利 ト ・未利 用	対源の確保のため、 対組内容】 目市有地等の把握調 目市有地等の財産が 平成27年度 平成28年度	調査 ・ ・ 未利月 ・ 未利月 ・ 未利月 ・ 未利月	達成率 市有地等 市市有地等 市市有地等 市市有地等 市市有地等 市市有地等 市市有地等	の市有貝の把握調の把握調の売払力	間査・処分 間査・処分 可法の検討 間査・処分 可法の検討	} } } }				
(1) 取着	組概要	独自 【主な 取 ・未利 ト ・未利 用	対源の確保のため、 対組内容】 目市有地等の把握調 目市有地等の財産が 平成27年度 平成28年度 平成29年度	電査 ・ 未 利 利 月 月 月 月 月 月 月 月 月 日 ・ 未 利 利 月 日 日 ・ 未 利 月 日 日 ・ 未 利 日 日 ・ 未 利 月 日 日 ・ 未 利 月 日 日 ・ 未 利 月 日 日 ・ 未 利 月 日 日 ・ 未 利 月 日 ・ 未 利 月 日 ・ 未 利 月 日 ・ 本 和 月 日 ・ 本 和 月 日 ・ 本 和 月 日 ・ 本 和 月 日 ・ 本 和 月 日 ・ 本 和 月 日 ・ 本 和 月 日 ・ 本 和 日	達成率	の市有貝の把握調の把握調の売払力の把握調の売払力の把握調のの売払力のの売払力のの売払力のの売払力のの売払力のの売払力ののである。	間査・処分 司法の検討 可法の検討 可法の検討 可法の検討 可法の検討	} } } }				
(1) 取着	組概要	独自財産を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を	対照の確保のため、 対組内容】 目市有地等の把握調 目市有地等の財産が 平成27年度 平成28年度 平成29年度	電査分・未 未利 利用 月月 ・ 未利 利用 ・ 未利 ・ 未利 ・ 未利 ・ ・ 未利 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達成率 1	の市有貝の把握調 の把握調 の 把握調 の 売 払 対 に の 把握 調 が の 売 払 対 に の 把握 調 が の 把 握 調	間査・処分 司法の検討 司法の検討 司法の検討 司法・処分 間査・処分	} } } }	担当		管具	才課
(1) 取着	組概要	独自財産を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を利用を	対照の確保のため、 対組内容】 目市有地等の把握調 目市有地等の財産が 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	電査分・未 未利 利用 月月 ・ 未利 利用 ・ 未利 ・ 未利 ・ 未利 ・ ・ 未利 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達成率 一方有地など 一方有地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地地	の市有貝の把握調 の把握調 の 把握調 の 売 払 対 に の 把握 調 が の 売 払 対 に の 把握 調 が の 把 握 調	調査・処分 調査・処分 調査との検え 調査を・処分 調査を・処分	f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	担当	課名		才課
(2)年月	组概要 度別取組內容	独 自 財 (主 注 利 用 が ・ 未 利 期 後 関 力 に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	世界の確保のため、 対組内容】 日市有地等の把握調 市有地等の財産が 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	電査分 ・ 未 未 未 未 利 利 利 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月	達成率 有地など 有地 地地 地	の市有貝の市有貝の把握記 の把握記 の把握記 の 把握払 が の 把握払 が の 把握 が か の 把握 が か か か か か か か か か か か か か か か か か か	調査・処分 調査・処分 調査との検え 調査を・処分 調査を・処分	f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	担当	課名	管 類	才課
(1) 取着	组概要 度別取組內容	独 自 東 は 主 ま 利 用 後 期 売 数 に る 数 り に り る り る り る り る り る り る り る り る り る	世 原の確保のため、 別 別 利 利 和 有 地等の 財産が 平成27年度 平成28年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成32年度	電合分・未 未未 未未 未 未 未 和 利 利 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月	達成率 「有 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	の市有貝の中提記のの把握がある。の把握が表記がある。ののでのでのでのできます。 の把握は がい 単位 数 % 千円	調査・処分 調査・処分 調査との検え 調査を・処分 調査を・処分	f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	担当	課名	管 類	才課
(2)年月	组概要 度別取組內容	独 主 主 末 前 期 後 類 で 表 数 し た 表 し た も し た も し に も る に も る に も る に も る に も る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る る る る る る る に る る る る る る る る る る る る る	世級の確保のため、 対組内容】 日市有地等の財産が 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 可能な未利用市有地 質値のみ)	電合分・未 未未 未未 未 未 未 和 利 利 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月	達成率 すって は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の市有貝の市有貝の把握調 のの把握 が の 把握 が で の 把握 が で の 把握 が で の 把握 が が で の 把握 が が で の 把握 が が で か い か が で か い か が が か が か か か か か か か か か か か か か	調査・処分 調査・処分 調査との検討 調査をのが 調査をのいた。 調査をのいた。 調査をのいた。 調査をいた。 のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のでは、	f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	担当	課名	管 類	才課

3	取組項目名	自動販売		上制度の核	食討				担当担当			务部
		独自則	†源の確保を図るた	とめ、市有	育施設の自	動販売棚	機設置に係	系る入札制			H /	11 IVK
(1)取約	組概要	・自動販	双組内容】 反売機設置施設可能 反売機設置に係る♪									
			平成27年度	・自動則	反売機設置	に係るフ	、札制度 <i>0</i>	検討				
		前期	平成28年度	・自動則	反売機設置	に係るフ	札制度⊄)検討				
(9) 年1	度別取組内容		平成29年度	・自動則	反売機設置	に係る耳	放扱い基準	進等の検討	t			
(2) +15	支加权船的谷		平成30年度	・自動則	反売機設置	に係る耳	対扱い基準	進等の検討	t			
		後期	平成31年度	・自動則	反売機設置	に係る耳	対扱い基準	進等の運用	開始			
			平成32年度									
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期		平成30年度	後期 平成31年度	
		自動販売	 送機設置に係る入札	L制度の	目標値	_	実施	実施	1 10,200 1 12	1 1000 1 12	1 1001 12	1 1000 1 100
		検討			実績値達成率	%						
(3) 目标	漂指標	自動販売 針の整備	E機設置に係る入村 情	L制度指	目標値 実績値 達成率	- %			整備			
			機設置可能施設	(実績値	目標値	台			_	_	_	_
		のみ)			実績値	%			_	_	_	_
4	取組項目名		び公用車への広告	示設置	達成率	%			担当		総務	务部
4 (1) 取新		庁舎内及 独自財 【主な取 ・広告設	マび公用車への広告 対源の確保を図るた 双組内容】 対置可能箇所及び可 対の広告掲載可能置	上め、庁舎 J能車両 <i>0</i>	達成率 合内の壁面 の調査・把	等と公月	月車に民間	『企業の点	担当担当	課名	総務	
		庁舎内及 独自財 【主な取 ・広告設	対源の確保を図るた 対組内容】 対置可能箇所及び可	こめ、庁舎 「能車両の 箇所の検言	達成率 合内の壁面 の調査・把	等と公月			担当 担当 活告等を認	課名	総務	务部
		庁舎内及 独自財 【主な取 ・広告設	対源の確保を図るた 対組内容】 対置可能箇所及び可 の広告掲載可能置	こめ、庁舎 「能車両の検言・広告記	達成率 合内の壁面 の調査・把	等と公居握	丁能車両 <i>の</i>)調査・把	担当生活の対象を記されています。	課名	総務	务部
(1) 取消	組概要	庁舎内及 独自則 【主な事談・庁舎内	対源の確保を図るた 対組内容】 対置可能箇所及び可 の広告掲載可能置 平成27年度	こめ、庁舎 了能車両の 節所の検言 ・広告記	達成率 合内の壁面 の調査・把 対 の置可能箇	等と公月 提	「能車両 <i>の</i> 」 「能車両 <i>の</i>)調査・把	担当生活の対象を記されています。	課名	総務	务部
(1) 取消		庁舎内及 独自則 【主な事談・庁舎内	対源の確保を図るた 対組内容】 設置可能箇所及び可 の広告掲載可能圏 平成27年度 平成28年度	こめ、庁舎 丁能車両の 前所の検言 ・広告記 ・広告記	達成率 ・内の壁面 ・調査・把 ・型置可能箇 ・型置可能箇	等と公月提加を受ける。	了能車両の 可能車両の 対能車両の)調査・把	担当生活の対象を記されています。	課名	総務	务部
(1) 取消	組概要	庁舎内及 独自則 【主な事談・庁舎内	対象の確保を図るた 対組内容】 設置可能箇所及び可 的の広告掲載可能置 平成27年度 平成28年度 平成29年度	こめ、庁舎 丁能車両の おおい 一	達成率 き内の壁面 の調査・把 の関節で の の の の の の の の の の の の の	等と公月提工のでである。	了能車両の 了能車両の 设置)調査・把	担当生活の	課名	総務	务部
(1) 取消	組概要	庁舎内及 独自取 ・主な告記 ・ 方 ・ 前期	7源の確保を図るた 2組内容】 2個内容】 2個内容 200万 200万 200万 2007 2007 2007 2007 2007	こめ、庁舎 丁能車両の おおい 一	達成率 ・内の壁面 ・門調査・把 ・型置可能 ・関連では ・関連で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等と公月提工のでである。	了能車両の 了能車両の 设置)調査・把)調査・把 対結果によ	担当当当に告等を影響を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	課名	総利	落部 材課
(1) 取消	組概要	庁舎内及 独自取 ・主な告記 ・ 方 ・ 前期	7額の確保を図るた 2組内容】 設置可能箇所及び可 1の広告掲載可能箇 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	こめ、庁舎 丁能車両の おおい 一	達成率 ・内の壁面 ・門調査・把 ・型置可能 ・関連では ・関連で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等と公月提工のでである。	了能車両の 了能車両の 设置 箇所の検診)調査・把	担当当当に告等を影響を表する対応	課名と置する。	総務では、	落部 材課
(1) 取消	組概要	庁舎 内 及 東 北 京 京	ボの確保を図るた を組内容】 と置可能箇所及び可能 田の広告掲載可能 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	こめ、庁舎 「能車の検索」・広広 上 ・ 広告・ ・ 庁舎 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達成率 内の野 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	等と公月を公月を入びている。 まま まま まま まま まま ままま ままま ままま ままま ままま まま	了能車両の 了能車両の 设置 箇所の検診)調査・把)調査・把 対結果によ 前 期	担当当当に告等を影響を表する対応	課名と置する。	総務では、	落部 材課
(1) 取消	組概要 度別取組 内容	庁舎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ボの確保を図るた を組内容】 と置可能箇所及び可能 田の広告掲載可能 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	こめ、庁舎 「能車の検索」・広広 上 ・ 広告・ ・ 庁舎 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達 内の 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	等と公所 握 所 及 び で で で で で で で で で で で で で で で で で で	了能車両の 了能車両の 设置)調査・把)調査・把 対結果によ 前 期	担当当当に告等を影響を表する対応	課名と置する。	総務では、	落部 材課
(1) 取新	組概要 度別取組 内容	庁舎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「源の確保を図るた を図るた を図れた。 を図れた。 を図れた。 を図れた。 を図れた。 を図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 で図れた。 でのない。 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな、 でのな	こめ、庁舎 「能車の検索」・広広 上 ・ 広告・ ・ 庁舎 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達成率 中の では	等と公居	了能車両の 了能車両の 设置)調査・把)調査・把 対結果によ 前 期	担当当当に告等を影響を表する対応	課名と置する。	総務では、	落部 材課

5	15年11年月月	国信生に	よる基金運用の実	₹ 1/44					担当	部名	財務	务部
9	以胜负日石									課名	,	汝課
			が源を確保するため ○る基金を除き、								型及び後	夏興事業
(1)取約	組概要		双組内容】 等市債権運用基準」	に基づく	運用方法	の検討						
			平成27年度	「石巻	於市債権 運	[用基準]	に基づく	運用方法	の検討			
		前期	平成28年度	運用の	が拡大							
(2)年	 要別取組内容		平成29年度	・運用維								
(2) +1	文为74次配下 3 台		平成30年度	・運用総	 迷続							
		後期	平成31年度	・運用維	 迷続							
			平成32年度	・運用維	 送続			\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.			//- Ibn	
			目標指標名			単位		前 期	平成29年度	亚成30年度	後期	
			・定期預金以外の に基金の数(実績		目標値	基金数	一	一	一	一	一	一
		み)		·	達成率	%	_	_	_	_	_	_
(3) 目标	票指標				目標値 実績値							
					達成率	%						
					目標値							
					実績値							
					達成率	%						
					達成率	%			扫出	立(夕)	日才系	次 立(7
6	取組項目名	使用料・	手数料の見直し		達成率	%				部名課名		多部 経営課
6	取組項目名	公共施	i設の使用料や各種		こう おおれる おおれる おおれる おおれる おおれる おおれる おおれる おおれ	ついて、		とや維持管	担当	課名	行政組	圣営課
6 (1) 取消		公共施 正化を図 【主な取 ・公共施		手数料の 「策定に基	等の金額に)見直しを よづく使用	ついて、	5.		担当	課名	行政組	圣営課
		公共施 正化を図 【主な取 ・公共施	記念の使用料や各種 るため、使用料・ な組内容】 記数等総合管理計画	手数料の 前策定に基 計針の見直 ・公共施	の金額に 見直しを はづく使用 正し	こついて、 注集施する 別料の現場	5.	よづく使用	担当	課名 、を踏ま <i>え</i>	行政組	圣営課
		公共施 正化を図 【主な取 ・公共施	記念の使用料や各種 るため、使用料・ な組内容】 な設等総合管理計画 ・手数料見直し指	手数料の 頭策定に基 計針の見直 ・公共旅 ・使用料	序の金額に)見直しを とづく使用 正し 正設等総合 計・手数料	こついて、 :実施する 引料の現場 管理計画 -見直し打	る。 犬把握 画策定に基	基づく使用 ፤ し	担当 理コスト	課名 ・を踏ま <i>え</i> ・ ・ ・ ・ ・ を踏ま <i>え</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行政統 -受益者自	圣営課
(1) 取着	组概要	公共施 正化を図 【主な取 ・公共施 ・使用料	記記の使用料や各種 るため、使用料・ は組内容】 記設等総合管理計画 ト・手数料見直し指 平成27年度	手数料の 事策定に基 計算の見 ・公共が ・使用ギ ・使用ギ	序の金額に)見直しを とづく使用 正し 正設等総合 計・手数料	こついて、 ・実施する 引料の現場 ・管理計画 ト見直し打	る。 犬把握 画策定に基 旨針の見直	基づく使用 ፤ し	担当 理コスト	課名 ・を踏ま <i>え</i> ・ ・ ・ ・ ・ を踏ま <i>え</i> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行政統 -受益者自	圣営課
(1) 取着		公共施 正化を図 【主な取 ・公共施 ・使用料	記の使用料や各種 るため、使用料・ 取組内容】 記設等総合管理計画 ト・手数料見直し指 平成27年度 平成28年度	手数料の 頭策定に基 計算の見 ・公共解 ・使用料 ・使用料	の金額に を の金額に を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でで、 ・実施する 対料の現場 ・管理計画 ・見直し ・見直し ・見直し	る。 犬把握 画策定に基 旨針の見直	をづく使用 【し びく全庁的	担当 理コスト 財料の現状 かましま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいま かいま かいま か	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ を踏まえ ・ ・ を と 性 を と の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	行政統 一受益者自	圣営課
(1) 取着	组概要	公共施 正化を図 【主な取 ・公共施 ・使用料	記の使用料や各種 るため、使用料・ を組内容】 記数等総合管理計画 ・手数料見直し指 平成27年度 平成28年度 平成29年度	手数料の (策定に見 (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計)	の金額に を の金額に を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	でで、 で、	る。 犬把握 画策定に基 旨針の見直 旨針に基へ	をづく使用 【し びく全庁的	担当 理コスト 財料の現状 かましま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいま かいま かいま か	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ を踏まえ ・ ・ を と 性 を と の を と の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	行政統 一受益者自	圣営課
(1) 取着	组概要	公共施区 【主な取・公共施区・公共施区・使用料	記の使用料や各種 るため、使用料・ を組内容】 記数等総合管理計画 ・手数料見直し指 平成27年度 平成28年度 平成29年度	手数料の (策定に見 (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計)	の金額にを 見直しを しまづく 使用 記し いま 一般 会 を は かい 手数 料・ ・ 手数 料・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でで、 で、	る。 犬把握 画策定に基 旨針の見直 旨針に基へ	を 付	担当 理コスト 対の現状 力な見直し 力な見直し	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ を踏まえ ・ ・ を と 性 を と の を と の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	行政系 一受益者自 基施	経営課 11 担の適
(1) 取着	组概要	公共施区 【主な取・公共施区・公共施区・使用料	記の使用料や各種 るため、使用料・ な組内容】 記数等総合管理計画 ・手数料見直し指 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	手数料の (策定に見 (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計) (計)	の金額にを 見直しを しまづく 使用 記し いま 一般 会 を は かい 手数 料・ ・ 手数 料・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でで、 で、	大把握 「無対の見しを表す」を表す。 「おおいます」を表する。	まづく使用 正し がく全庁的 がく全庁的	担当 野理コスト 可な見直し 可な見直し	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ 作業の実	行政和 一受益者自 基施	経営課題担の適
(1) 取着	组概要	公化 と な	認の使用料や各種 るため、使用料・ を組内容】 記設等総合管理計画 ・手数料見直し指 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	手数料の (基準) (基準) (基準) (基準) (基準) (基準) (基準) (基準)	の金額にを を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 を変える。 はできる。 とできる。 とてきる。 とこ。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とてきる。 とても。 とても。 とても。 とても。 とても。 とても。 とても。 とても	で 大き	大把握 「無対の見しを表す」を表す。 「おおいます」を表する。	まづく使用 正し がく全庁的 がく全庁的	担当 理コスト 対の現状 力な見直し 力な見直し	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ 作業の実	行政和 一受益者自 基施	経営課題担の適
(2)年月	组概要	公共施図では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	記の使用料や各種 記とめ、使用料・ 認知等総合管理計画 ・手数料見直し指 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	手数料の (基準) (基準) (基準) (基準) (基準) (基準) (基準) (基準)	の金額にを を変更を を を変更を をを をを をを をを をを をを をを をを をを	で 大き	大把握 軍策定に基 旨針に基 「針に基へ」 平成27年度	がく全庁的 がく全庁的 がく全庁的 で成28年度	担当 野理コスト 可な見直し 可な見直し	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を踏まえ ・ ・ ・ に 業のま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行政和 一受益者自 基施	経営課題担の適
(1) 取着	组概要	正 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	記の使用料や各種 記とめ、使用料・ 認知等総合管理計画 ・手数料見直し指 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	手数料の (策) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記	の見 で	でででする。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	大把握 軍策定に基 旨針に基 「針に基へ」 平成27年度	まづく使用 正し がく全庁的 がく全庁的	担当 野理コスト 可な見直し 可な見直し	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ 作業の実	行政和 一受益者自 基施	経営課題担の適
(2)年月	组概要	正 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	記の使用料や各種 別の使用料や各種 別のため、使用料・ 取組内容】 記設等数料見直し指 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 日標指標名 手数料見直し指針	手数料の (策) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記	の見でである。 の見でである。 の見でである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 では、一般である。 では、一般である。 では、一般である。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	でででする。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	大把握 軍策定に基 旨針に基 「針に基へ」 平成27年度	がく全庁的 がく全庁的 がく全庁的 で成28年度	担当 理コスト 対象の現状 の 見直 し	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を踏まえ ・ ・ ・ に 業のま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行政和 一受益者自 整施 後 期度	経営課題担の適
(1) 取約	组概要	正 (T) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	記の使用料や各種 別の使用料や各種 別のため、使用料・ 取組内容】 記設等数料見直し指 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 日標指標名 手数料見直し指針	手数料の を	の見 で	でで、でで、でで、できます。 では、	大把握 軍策定に基 旨針に基 「針に基へ」 平成27年度	がく全庁的 がく全庁的 がく全庁的 で成28年度	担当 野理コスト 可な見直し 可な見直し	課名 ・を踏まえ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を踏まえ ・ ・ ・ に 業のま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	行政和 一受益者自 基施	経営課題担の適

7	取組項目名	市税等の	現年度収入率の向	7上						部名課名		务部 总課
		自主財源	原の安定的確保及び	が税負担の	の公平性を	:図る観	点から、「	市税等の中			.,,,,	元环
(1)取約	组概要	・外部委	X組内容】 素託による現年度分 ごニ収納の周知、□				実施					
			平成27年度		崔告センタ ごニ収納の					る催告の領	 実施	
		前期	平成28年度	・電話作・コンと	崔告センタ ごニ収納の	一による	る現年度分 コ座振替約	分の市税等 対付の広幸	等に関する 最・推進	る催告の急	 実施	
(2)年月	度別取組内容		平成29年度		委託による ご二収納の					実施		
(2) 12	2/3/14/14/17/1		平成30年度		委託による ご二収納の					実施		
		後期	平成31年度		委託による ご二収納の					 実施		
			平成32年度		委託による ご二収納の		口座振替組	内付の広幸	设・推進			
			目標指標名			単位		前期平成28年度		平成30年度	後 平成31年度	
		市税収入	 、率		目標値 実績値	%	98. 3	98. 5	98. 7	98.9	99.0	_
(3) 目柱	声 指揮	11.02.047	- '		達成率	%	90. 5	90. 9	91.0	91.1	91. 2	
(3) 日生	示1日1示	国民健康	E 保険税収入率		実績値	%	90. 0	90.9	91.0	91.1	91. 2	
					達成率 目標値	%						
					実績値達成率	%						
	TE VE TE E		MH Val. 1.1 Mer 27. 11		~!%T	/0	1	I .	担当	部名	財務	务部
8	取組項目名)滞納対策の強化 対源の安定的確保及	7 - 10-11 - ·) · · · ·	older to the	担当	課名	納利	兑課
(1)取約	组概要		[取り組む。									
		滞納如	双組内容】 上分の実施 上地方税滞納整理機	炎構への 耶	職員の派遣	置の検討						
		滞納如	上分の実施	滞納如	職員の派遣 型分の実施 県地方税滞		幾構への稲	戦員の派遣	豊の検討			
		滞納如	2分の実施 2対の実施 2地方税滞納整理検	• 滯納如 • 宮城県	L分の実施	i i i納整理d	後構への耶	裁員の派遣	遣の検討			
(2)年	實別取組内容	・滞納処・宮城県	上分の実施 地方税滞納整理様 平成27年度	• 滯納如 • 宮城県 • 滯納如	処分の実施 県地方税滞	i i納整理d	機構への耶	裁員の派遣	きの検討			
(2)年月	度別取組内容	・滞納処・宮城県	上分の実施 県地方税滞納整理機 平成27年度 平成28年度	· 滯納如 · 宮城県 · 滯納如 · 滯納如	型分の実施 県地方税滞 型分の実施	i i i i	幾構への罪	戦員の派 道	豊の検討			
(2)年月	度別取組内容	・滞納処・宮城県	上分の実施 出力税滞納整理様 平成27年度 平成28年度 平成29年度	· 滞納处 · 滞納处 · 滞納处	型分の実施 県地方税滞 型分の実施 型分の実施	i 納整理 i	機構への暗	銭員の派遣	貴の検討			
(2)年月	度別取組内容	· 滯納如 · 宮城県 前期	- 分の実施 - 中成27年度 - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度 - 平成30年度	· 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如	型分の実施 製地方税滞 型分の実施 型分の実施	i 納整理 i	機構への耶				760 Y	
(2)年月	度別取組内容	· 滯納如 · 宮城県 前期	- 分の実施 - 中成27年度 - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度 - 平成30年度 - 平成31年度	· 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如	型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施	i 納整理 i		前 期 平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	
(2)年月	度別取組内容	· 滯納如 · 宮城 前期 後期	- 分の実施 - 中成27年度 - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度 - 平成30年度 - 平成31年度 - 平成31年度 - 平成32年度	· 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如	型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施型分の実施	i i i i	平成27年度	前 平成28年度 260,000				
(2)年度		· 滞納與 · 宮城 前期 後期	- 分の実施 - 中成27年度 - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度 - 平成30年度 - 平成31年度 - 平成32年度 - 平成32年度 - 目標指標名	· 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如	型型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	i i i i i i i f 千円	平成27年度	前 期 平成28年度			平成31年度	
		· 滞納如果 前期 後期	型分の実施 地方税滞納整理機 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名	· 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如	型型	i i i i 単位 千円 % 千円	平成27年度	前 平成28年度 260,000			平成31年度	
		· 潜納與 前期 後期 滞納繰越 滞納繰越	型分の実施 地方税滞納整理機 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 1 標 指 標 名 域収入額(市税)	· 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如 · 滞納如	型型	i 納整理相 i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	平成27年度	前 平成28年度 260,000	平成29年度	平成30年度	平成31年度	

9	取組項目名	市税等⊄	新たな納入方法の	検討						部名課名		务部 兑課
			たの利便性向上のた ストア収納の検証							.,		
(1) 取糸	且概要	【主な取	双組内容】 ・納入方法に関する		7017C-67H	17 (77)	· >	, , ,				
			平成27年度	・新たな	: 納入方法	に関す	る調査・検	検証作業∅)実施			
		前期	平成28年度	• 調査 •	検証作業	の取り	まとめ					
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	• 調査 •	検証作業	の取り	まとめ					
			平成30年度	• 調査 •	研究作業	の取り	まとめ					
		後期	平成31年度	• 調査 •	研究作業	の取り	まとめ					
			平成32年度	•調査•	研究作業	の取り	まとめ					
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	
		新たな糾	n入方法に関する調	間査・検	目標値 実績値	_	実施					
		証作業の	実施		達成率	%						
(3)目標	票指標	調查• 稻	証作業の取りまと	· め	目標値 実績値	_		実施				
		W4 EL 17		- */	達成率	%				-1-1/		-1-17
			ド・コンビニ・ 1944年		目標値 実績値	_			実施	実施	実施	実施
		郵便局収	(科)快祉		達成率	%						
10	取組項目名	石巻霊園	及び(仮称)石巻	第二霊	園の管理料	トの徴収	の検討			部名 課名		環境部 意課
(1) 取糸	且概要	する。 【主な取 ・ (仮称	「負担の適正化を図 収組内容】 ぶ)石巻第二霊園の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・)管理料復			仮称)石刻	巻第二霊[園等の管	理料の徴	収につい	で検討
			平成27年度		が)石巻第 霊園の管理			数収の検討	†			
		前期	平成28年度	• 石巻霊	 園の管理	料徴収の	の検討					
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	• 石巻霊	 園の管理	料徴収の	の検討					
			平成30年度		遠園の墓所 遠園におけ					足進		
		後期	平成31年度		≣園の墓所 ≣園におけ					足進		
			平成32年度		≣園の墓所 ≣園におけ			方の検討	4	足進	 公 ₩	
			目標指標名			単位		前期平成28年度		平成30年度	後期 平成31年度	
		(仮称) の検討	石巻第二霊園管理	里料徴収	目標値 実績値 達成率	- %	実施					
(3)目標	票指標	石巻霊園	の管理料徴収の検	—————————————————————————————————————	目標値 実績値 達成率	- %	実施	実施	実施			
			者の所在及び縁故者 に承継手続きの促進		目標値 実績値 達成率	件 %				400	800	1, 240
		石巻霊園 の検討	における適正管理の	<u>――</u>)在り方	目標値 実績値 達成率	- %				実施	実施	実施

11	取組項目名	家庭ごみ	・収集の有料化の検	討						部名課名	生活理廃棄物	環境部
		受益者	の適正な負担を図	るため、	家庭ごみ	収集の	有料化のは	あり方及で				刈泉珠
(1)取約	组概要	• 一般廃	x組内容】 養兼物処理基本計画 ご手法の検討	『の策定								
			平成27年度		医棄物処理 と手法の検		画の策定					
		前期	平成28年度	• 有料化	ど手法の検	討						
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・有料化	ど手法の検	討						
(=) 1 2	×/3/1-1/0/1411 1-11		平成30年度		战量化・資 と手法の検		策の推進					
		後期	平成31年度		战量化・資 と手法の検		策の推進					
			平成32年度		战量化・資 ∠手法の検		策の推進				//• IIa	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	平成32年度
		一般廃棄	: 物処理基本計画の	策定	目標値 実績値		策定					
					達成率目標値	%	1,049	1, 037	1,025	1,013	1,001	989
(3) 目相	票指標	一人当た	りのごみ排出量		実績値	g o/	1,043	1,001	1, 020	1,010	1,001	303
		リサイク	ル率		達成率 目標値 実績値 達成率	% %	14	14	14	15	15	15
		最終処分)率		目標値 実績値 達成率	%				11.6	11.5	11. 5
12	取組項目名	久秝健	(検) 診事業の総合		47%白己名		商正 全 類 (の検討	担当	部名	健原	東部
12	以租赁日石		は(検)診の受診率							課名	健康担	
(1)取約	且概要	の拡大を、まなまな、まな合質・総合質		E化を図る 総合検診の E	るため、健 O開始							
			平成27年度	・総合支	で所地区に	おける絲	総合検診の)開始				
		前期	平成28年度	・総合領	非 診導入効	果の検討	Œ					
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・総合領	建 診導入効	果の検討	正及び自己	2負担金通	適正金額の	り検討		
			平成30年度	・総合領	津診導入効	果の検討	正及び自己	2.負担金通	通正金額0	り検討		
		後期	平成31年度									
			平成32年度					** #I			⋘ # #	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 平成28年度	平成29年度	平成30年度	後期 平成31年度	
		特定健診	受診率		目標値 実績値 達成率	%	50.0	55. 0	60.0			
(3)目标	票指標	結核検診	受診率		目標値実績値達成率	%	62.8	64. 1	65. 4	39. 4	39. 7	40
		がん検診	受診率		目標値 実績値 達成率	%	26.8	27. 1	27. 4	20. 3	20. 4	20. 5

13	取組項目名	保育所保	と 育料の収納率の向	7上					担当担当		福祉 子ども	
		受益者	「負担の適正化を図	図るため、	保育所保	育料の順	又納率の向]上を図る		,,,,,,	, - 0	
(1)取約	組概要	・保育所 ・保育所	双組内容】 F保育料収納マニコ F保育料収納マニコ 計置を含めた未納文	アルに基	まづく収納	率向上0)実施					
			平成27年度	• 個別面	面談及び保	育所長な	いらの納入	、指導。				
		前期	平成28年度	・口座扱	長替の推進							
(9) 左(平成29年度		所保育料収 #置を含め							
(2) 4-1	支加取組門谷		平成30年度	・保育原	F保育料収	納マニュ	ュアルの第	i定				
		後期	平成31年度		所保育料収 #置を含め				率向上の	実践		
			平成32年度	・保育原 ・法的指	所保育料収 #置を含め	納マニ <i>:</i> た未納対	ュアルに基 対策の実践	à		実践		
			目標指標名			単位		前期平成28年度		平成30年度	後期 平成31年度	平成39年度
		保育所保	と育料現年度分の収	7納率	目標値	%	99. 0	99.0	99.0	99.0	99. 0	99. 0
		DK H JJ DI		√/ 1 1 −	達成率	%						
(3) 目柱	漂指標	保育所保	上育料未納額		目標値 実績値	千円	55, 000	53, 000	51, 000	49, 000	47, 000	45, 000
					達成率 目標値	%						
					実績値	%						
14	取組項目名	放課後児	R童クラブ利用負担	日金の見画	実績値 達成率				担当		福祉	
14 (1) 取納	****	受益者 【主な耶	記載クラブ利用負担 負担の適正化を図 組内容】 受費や公的負担の考	るため、	実績値 達成率 近しの検討 放課後児	童クラフ			担当	課名	子ども	保育課
	****	受益者 【主な耶	「負担の適正化を図 双組内容】	図るため、	実績値 達成率 近しの検討 放課後児	重クラス	をの見直し	の検討	担当	課名 た見直し	子どもんを検討す	保育課
	****	受益者 【主な耶	↑負担の適正化を図 収組内容】 ≤費や公的負担の考	3 るため、きえ方をB・運営経	実績値 達成率 重しの検討 放課後児 沓まえた利	童クラン 用負担会	をの見直し 受え方を踏	の検討 	担当 近化に向け 川用負担金	課名た見直し	子どもなを検討す	保育課
(1) 取渝	組概要	受益者 【主な取 ・運営経	「負担の適正化を図 別組内容】 選費や公的負担の考 平成27年度	図るため、 きえ方を ・運営経 ・運営経	実績値 達成率 直しの検討 放課後児 沓まえた利 軽費や公的	童クラン 用負担会 負担の ^ま	をの見直し 考え方を踏 考え方を踏	の検討 「まえた和 「まえた和	担当 近化に向け 月用負担金 月用負担金	課名 た見直し	子どもなを検討す	保育課
(1) 取渝	****	受益者 【主な取 ・運営経	「負担の適正化を図 別組内容】 選費や公的負担の考 平成27年度 平成28年度	図るため、 きえ方を図 ・運営経 ・運営経	実績値 達成率 近しの検討 放課後児 沓まえた利 経費や公的	童クラン 用負担会 負担のま 負担のま	金の見直し考え方を踏	の検討	担当 正化に向け 月用負担金 月用負担金	課名 た見直し の見直し の見直し	子どもなを検討するの検討しの検討しての検討しての検討していた。	保育課
(1) 取渝	組概要	受益者 【主な取 ・運営経	「負担の適正化を図 別組内容】 要や公的負担の考 平成27年度 平成28年度 平成29年度	るため、 きえ方を ・運営 ・運営 ・運営 ・運営 ・運営 ・運営 ・運営 ・運営	実績値 達成率 直しの検討 放課後児 沓まえた利 蚤費や公的 蚤費や公的	童クラン 用負担会 負担のま 負担のま	金の見直しきえ方を踏きえ方を踏きえ方を踏きえ方を踏きえ方を踏きる方を踏	の検討 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和	担当 I用負担金 J用負担金 J用負担金	課名 た見直し の見直し の見直し	子どもなる検討するの検討しの検討しの検討	保育課
(1) 取渝	組概要	受益者 【主な耶 ・運営紹 前期	「負担の適正化を図 組内容】 で選挙を公的負担の考 で成27年度 で成28年度 で成29年度	るため、 きえ方を ・ 運営 差 ・ 運営 差 ・ 運営 差 ・ 運営 差	実績値 達成率 直しの検討 放課後児 替まえた利 登費や公的 経費や公的	童クラファー 用負担のます。 負担のます。 負担のます。	をの見直し と	の検討 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和	担当 正化に向け 川用負担金 川用負担金 川用負担金 川用負担金	課名 た見直し の見直し の見直し の見直し	子を検討するを検討するの検討しの検討しの検討している。	保育課
(1) 取渝	組概要	受益者 【主な耶 ・運営紹 前期	「負担の適正化を図 A組内容】 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	るため、 きえ方を ・ 運営 差 ・ 運営 差 ・ 運営 差 ・ 運営 差	実績値 達成率 直しの検討 放課後児 替まえた利 経費や公的 経費や公的 経費や公的	童クラファー 用負担のます。 負担のます。 負担のます。	をの見直し きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を と きえ方を な きえ方を な たえ方を と たえ方を と たえ方を と たえ方を と に に に に に に に に に に に に に	の検討 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和	担当 正化に向け 月用負担金 月用負担金 月用負担金 月用負担金	課名 た見直し の見直し の見直し の見直し の見直し	子どもかを検討するの検討しの検討しの検討しの検討していた。	保育課
(1) 取渝	組概要	受益者 【主な耶治 前期 後期	「負担の適正化を図 A 組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	マスカー で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績値 達成率 直しの検討 放課後児 替まえた利 経費や公的 経費や公的 経費や公的	童 クラララ	をの見直し きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を と きえ方を な きえ方を な たえ方を と たえ方を と たえ方を と たえ方を と に に に に に に に に に に に に に	の検討 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和	担当 正化に向け 月用負担金 月用負担金 月用負担金 月用負担金	課名 た見直し の見直し の見直し の見直し の見直し	子検討するを検討するの検討の検討の検討の検討を対しの検討を対しているを対している。	保育課
(1) 取渝	组概要 度別取組內容	受益者 【主な耶治 前期 後期	「負担の適正化を図 組内容】 選供を図 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	マスカー で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績値 達成 検 と と と と と と と と と と と と と と と と と と	童 クララ ファー	をの見直し きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を さえ方を きえ方を さえ方を さえ方を となる きえ方を となる きえたった。	の検討 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和	担当 正化に向け 月用負担金 月用負担金 月用負担金 月用負担金 日用負担金 平成29年度	課名 た見直し の見直し の見直し の見直し の見直し	子どもかを検討するの検討 の検討 の検討 の検討 期 収 の 検 期 収 収 対 取 成 対 年 度	保育課 つる。 平成32年度
(1) 取新	组概要 度別取組內容	受益者 【主な耶治 前期 後期	「負担の適正化を図 組内容】 選供を図 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	マスカー で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績値 連続で を を を を を を を を を を を を を	童 クララ カー	をの見直し きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を さえ方を きえ方を さえ方を さえ方を となる きえ方を となる きえたった。	の検討 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和	担当 正化に向け 月用負担金 月用負担金 月用負担金 月用負担金 日用負担金 平成29年度	課名 た見直し の見直し の見直し の見直し の見直し	子どもかを検討するの検討 の検討 の検討 の検討 期 収 の 検 期 収 収 対 取 成 対 年 度	保育課 つる。 平成32年度
(1) 取新	组概要 度別取組內容	受益者 【主な耶治 前期 後期	「負担の適正化を図 組内容】 選供を図 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	マスカー で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績値 達成 検 と と と と と と と と と と と と と と と と と と	童 クララ ファー	をの見直し きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を きえ方を さえ方を きえ方を さえ方を さえ方を となる きえ方を となる きえたった。	の検討 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和 (まえた和	担当 正化に向け 月用負担金 月用負担金 月用負担金 月用負担金 日用負担金 平成29年度	課名 た見直し の見直し の見直し の見直し の見直し	子どもかを検討するの検討 の検討 の検討 の検討 期 収 の 検 期 収 収 対 取 成 対 年 度	保育課 る。 平 _{成32} 年度

1.5	斯如西日夕	兴禹人然	の別人仕での目さ	r 1					担当	部名	産美	 と 部
15	取組項目名	力側云郎	宮の料金体系の見直	<u>.</u> U					担当	課名	商	L課
			∤減免規定を明確化 √を実施する。	どし指定管	管理者が徴	(取する利	利用料金を	が適正化す	る必要が	ぶあること	から、米	 金体系
(1)取	組概要	【主な内 ・使用料 ・指定管	日容】 H減免規定の設定に F理者への指導	1伴う条例	削等の改正	· ·						
			平成27年度	・使用料 ・指定管	減免規定 理者への	の設定に 指導及で	こ伴う条例 が協定内容	削等の改正 ドの見直し				
		前期	平成28年度									
(2)年)	度別取組内容		平成29年度									
(=) /	2,3,1,7,0,121 7 1		平成30年度									
		後期	平成31年度									
			平成32年度									
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期平成28年度			後 期 平成31年度	
		使用料洞	 対免規定の設定に伴	どう条例	目標値	_	実施	1 // / / / /	1 // / / / /			
		等の改正		22101	実績値	%				\longrightarrow	$\overline{}$	$\overline{}$
(3) 目标	漂指標	指定管理	者への指導及び協	京内容	目標値		実施					
		の見直し		V/C1 1 H	実績値	%				\longrightarrow	\rightarrow	\rightarrow
					目標値	70						
					実績値	0/						
					達成率	%						
1.0	元 如天日 4				達成平	%			担当	部名	建調	少 部
16	取組項目名		を を使用料の収納率の						担当			少部
16	取組項目名		を使用料の収納率の で負担の適正化を保				の収納率の)向上を図	担当			
16		受益者 【主な耶 ・市営住 ・収納マ		くつため、 アニュアル 収納率向	市営住宅 の検討・	使用料4	り収納率の)向上を図	担当			
		受益者 【主な耶 ・市営住 ・収納マ	↑負担の適正化を係 収組内容】 三宅使用料の収納マ ・ニュアルに基づく	くっため、 マニュアル 収納率向 対策の実施	市営住宅 の検討・	使用料6 策定 施	つ収納率の)向上を図	担当			
		受益者 【主な耶 ・市営住 ・収納マ	大負担の適正化を係 収組内容】 三宅使用料の収納マ ニュアルに基づく 計置を含めた未納を	そっため、 マニュアル 収納率向 対策の実施 ・評価・	市営住宅 ンの検討・ 可上策の実 直	使用料6 策定 施 施	つ収納率の)向上を図	担当			
(1) 取為	組概要	受益者 【主な取 ・市営住 ・収納マ ・法的指	付負担の適正化を保 対組内容】 三宅使用料の収納マ ニュアルに基づく 計置を含めた未納を 平成27年度	マニュアル 収納率向 対策の実施 ・評価・	市営住宅 の検討・ 可上策の実 施	策定施施施施施	○収納率の)向上を図	担当			
(1) 取為		受益者 【主な取 ・市営住 ・収納マ ・法的指	「負担の適正化を係 別組内容】 空使用料の収納マニュアルに基づく 計置を含めた未納女 平成27年度 平成28年度	で マニュアル 収納の実施 ・評価・ ・評価・	市営住宅 の検討・ 可上策の実 検討の実 検討の実	使用料6 策定 施 施 施	D収納率 <i>0</i>)向上を図	担当			
(1) 取為	組概要	受益者 【主な取 ・市営住 ・収納マ ・法的指	「負担の適正化を保 取組内容】 空使用料の収納マニュアルに基づく 計置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度	でため、 ニュヤット 対策の ・ 評価・ ・ 評価・	市営住宅 の検討・ 可上策の実 検討の実 検討の実	使用料 ⁶ 策施 施 施 施	D収納率 <i>0</i>)向上を図	担当			
(1) 取為	組概要	受益者 【主な取住・ ・中域的指 ・・法的指	「負担の適正化を保 別組内容】 ・空使用料の収納で ・ニュアルに基づく 計置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度	で に の た の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	市営住宅 の検討・実 向上策の実 検討の実 検討の実 検討の実	使用料 施施施施施施施施施	D収納率 <i>0</i>		担当	課名	住宅管	管理課
(1) 取為	組概要	受益者 【主な取住・ ・中域的指 ・・法的指	「負担の適正化を保 「組内容】 に宅使用料の収納で にコーアルに基づく 計置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	で に の た の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	市営住宅 の検討・実 向上策の実 検討の実 検討の実 検討の実	使用料 施施施施施施施施施		前期	担当	課名	(住宅)	管理課 一
(1) 取為	組概要	受益者 【主なな任べ 注 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「負担の適正化を保 別組内容】 空使用料の収納マニュアルに基づく 計置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	で に の た の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	市営住宅 の検討のの上策のの上策がである。 を検討のの を検討のの を検討のの を検討のの を検討のの を検討のの を検討のの を検討のの を検討のの を使いる を使	使用料			担当	課名	(住宅)	管理課
(1) 取為	組概要 度別取組内容	受益者 【主なな性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「負担の適正化を保 型組内容】 E宅使用料の収納マン にコュアルに基づく 計置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	で に の た の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	市営住宅 の検討のの上策の検討のの上策を検討のの実験を対している。 検討のの 実験 検討のの 実験 大きり	使用料 施施施施施施 施施施施施 施施施施	平成27年度	前 期 平成28年度	担当	平成30年度	後期 平成31年度	平成32年度
(1) 取約	組概要 度別取組内容	受益者 【主なな性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「負担の適正化を係 型組内容】 E宅使用料の収納マ にコュアルに基づかた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成32年度 1 標 指 標 名 (現年度分)	で に の た の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	市営住宅 を	使用料 施 施 施 施 施 施 施 <u>施</u>	平成27年度 95.0	前 期 平成28年度 95.0	担当 可る。 平成29年度 95.0	課名 平成30年度 95.0	後 _{平成31年度} 95.0	平成32年度 95.0
(1) 取約	組概要 度別取組内容	受益者 【主なな性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「負担の適正化を係 別組内容】 E宅使用料の収納マ にコュアルに基づかた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名	で に の た の に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に	市営 検討のの かった 検討のの かん 検討がらい かん 検討がらい かん	使用料	平成27年度 95.0	前 期 平成28年度 95.0	担当 可る。 平成29年度 95.0	課名 平成30年度 95.0	後 _{平成31年度} 95.0	平成32年度 95.0

17	取組項目名	公共下水	< 道等使用料の収約	内率の向」					担当担当			空部 管理課
		財源確	£保、受益者負担 <i>0</i>	の公平性、	適正化を	保つため	り、公共下	水道等使				
(1)取約	组概要	・公共下・公共下	双組内容】 デ水道等使用料の順 デ水道等使用料の順 計置を含めた未納対	又納対策へ	マニュアル	の検討・ に基づく	・策定 〈収納率向	7上の実施	ī			
			平成27年度	・公共で	下水道等使	用料の収	又納対策マ	アニュアル	の検討			
		前期	平成28年度	・公共下	下水道等使	用料の灯	又納対策マ	アニュアル	の検討・	策定		
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・公共下	下水道等使	用料の収	又納対策マ	アニュアル	の検討・	策定		
(2) 12	2/31/2/14/1 1/4		平成30年度	・公共下	下水道等使	用料の第	き定した収	収納対策マ	ニュアル	の検証		
		後期	平成31年度	・公共で	下水道等使	用料の第	 定した収	収納対策マ	ニュアル	の検証		
			平成32年度	・公共で	水道等使	用料の第			ニュアル	の検証	Δt ₩α	
			目標指標名			単位		前期平成28年度	平成29年度	平成30年度	後 期 平成31年度	
		公共下水アルの検	く 道等使用料の収約	内マニュ	目標値 実績値	_	実施	実施				
(3) 目標	画 指標				達成率 目標値	%		実施				
(0) [1]	W.10-MV	公共下水 アルの第	《道等使用料の収約 記定	内マニュ	実績値	<u>-</u> %		- 				
		下水道等	使用料の収納率(過	過年度分)	目標値 実績値	%	4. 5	5. 0	5. 5	6. 0	6.5	7.0
					達成率	%						
1.0		水準ル落	361上に関する庁も	型の宝梅	達成率	%			担当	部名	建記	空部
18	取組項目名		区向上に関する広幸 マル 道等の水準化器				学の支援	単名学	担当	課名	下水道	管理課
18 (1) 取絲		公共下 る。 【主な耶 ・チラシ	「水道等の水洗化率 対組内容】				 √等の支援	策や意識	担当	課名	下水道	管理課
		公共下 る。 【主な耶 ・チラシ	「水道等の水洗化率	率向上のた 一		あっせん			担当	課名	下水道	管理課
		公共下 る。 【主な耶 ・チラシ	「水道等の水洗化率	を向上のた	ため、融資	あっせん	芸報の実施	<u>ī</u>	担当	課名	下水道	管理課
(1) 取希		公共下 る。 【主な耶 ・チラシ ・住民割	下水道等の水洗化率 対組内容】 の配布 説明会の実施 平成27年度	を向上のた ・水洗(l ・水洗(l	とめ、融資	関する原	ご報の実施 ご報の実施	<u>.</u>	担当	課名	下水道	管理課
(1) 取希	组概要	公共下 る。 【主な耶 ・チラシ ・住民割	下水道等の水洗化率 収組内容】 への配布 説明会の実施 平成27年度 平成28年度	を向上のた ・水洗化 ・水洗化	とめ、融資 と率向上に と率向上に	関する原	に報の実施 に報の実施 に報の実施	i i	担当	課名	下水道	管理課
(1) 取希	组概要	公共下 る。 【主な耶 ・チラシ ・住民割	下水道等の水洗化率 取組内容】 の配布 説明会の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度	を向上のた ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化	とめ、融資 と率向上に と率向上に と率向上に	あっせん 関する 原する 原	は報の実施 は報の実施 は報の実施		担当	課名	下水道	管理課
(1) 取希	组概要	公共下る。 【主な取・チラミ・ ・住民記 前期	下水道等の水洗化率 取組内容】 の配布 説明会の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度	を向上のた ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化	とめ、融資	あっせん 関する 原 する の 関する の 関する の 関する の の 関する の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	な報の実施 な報の実施 な報の実施 な報の実施		担当	課名	下水道の広報を集	管理課
(1) 取希	组概要	公共下る。 【主な取・チラミ・ ・住民記 前期	下水道等の水洗化率 双組内容】 への配布 説明会の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	を向上のた ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化	とめ、融資 と率向上に と率向上に と率向上に と率向上に と本向上に	あっせん 関する 原 する の 関する の 関する の 関する の の 関する の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	は報の実施 は報の実施 は報の実施 は報の実施		担当	課名]るための	下水道の広報を集	管理課
(1) 取希	组概要	公共下る。 【主な取・チラミ・ ・住民記 前期	下水道等の水洗化率 取組内容】 の配布 説明会の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	を向上のた ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化	とめ、融資 と率向上に と率向上に と率向上に と率向上に と率向上に と率向上に と率向上に	あっせん 関 関 関 関 関 関 単 位 回	は報の実施 は報の実施 は報の実施 は報の実施	前期	担当	課名]るための	下水道の広報を集	管理課
(1) 取希	度別取組内容	公。 主チ住 がまります 前期 後期 広報回数	下水道等の水洗化率 取組内容】 の配布 使明会の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	を向上のた ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化	と 本本 自 上 に と 本本 自 実 遺 展 値 直 悪 値 直 悪 値 直 悪 値 直 悪 値 直 悪 値 直 悪 値 直 悪 値 直 悪 値 直 悪 値 重 重 値 重 重 値 重 重 値 重 重 値 重 重 値 重 重 値 重 重 値 重 重 値 重 重 値 重 重 値 重 重 重 値 重 重 重 値 重	あっせん 関関 関 関 関 関 単 位 回 %	は報の実施 は報の実施 は報の実施 は報の実施	前期	担当	課名]るための 平成30年度	下水道)広報を集 平成31年度	管理課 医施寸
(2)年月	度別取組内容	公。 主チ住 がまります 前期 後期 広報回数	下水道等の水洗化率 取組内容】 の配布 使明会の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	を向上のた ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化	と 本 向上に と 本 本 向上に と 本 本 向上に と 本 本 向上に と 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	あっせん 関すする	は報の実施 は報の実施 は報の実施 は報の実施 平成27年度	前 平成28年度	担当 応向上を図 平成29年度	課名 るための 平成30年度	下水道	管理課 E施す 平成32年度 5
(2)年月	度別取組内容	公。 主チ住 がまります 前期 後期 広報回数	下水道等の水洗化率 取組内容】 の配布 に明会の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 日標指標名	を向上のた ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化 ・水洗化	とめ、融資 と本本 本本	あっせん 関関 関 関 関 関 単 位 回 %	は報の実施 は報の実施 は報の実施 は報の実施 平成27年度	前 平成28年度	担当 応向上を図 平成29年度	課名 るための 平成30年度	下水道	管理課 E施す 平成32年度 5

取組項目名	下水道使	用料の見直し						担当担当) 管理課
且概要	【主な取 ・3年毎	双組内容】 4の下水道使用料改	定			直 直しを行	゙ ゙゙゙ゔ。				
		平成27年度	・下水道	重使用料に	関する氰	F議委員会	の設置及	び手法の	検討		
	前期	平成28年度	・下水道	重使用料に	関する額	系議委員会	の設置と	諮問			
度別取組内容		平成29年度	・下水道	1使用料改	定						
		平成30年度	・企業会	:計移行準	備実施						
	後期	平成31年度	・企業会	計移行準	備実施						
		平成32年度	• 企業会	計移行後	運営審議]けた検診		
		目標指標名			単位				平成30年度		
	運営審議	会の設置・諮問		目標値実績値	- 0/	検討	実施	1 1/20 1 1/2	検討	検討	設置
票指標	下水道使	用料改定		目標値 実績値	_			実施			検討
				目標値 実績値							
取組項目名	奨学金の	滞納対策の強化		X2//X 1	70					教育委 学校教	委員会 数音課
								,	PV H		V 13 16 K
且概要	学金の滞 【主な取 ・奨学金	マ年滞納額が増大し す納対策を強化する 双組内容】 を滞納対策マニュア を滞納対策マニュア)。 アルの策定 アルに基づ	<u>:</u> ごく奨学金			貸与者に				
且概要	学金の滞 【主な取 ・奨学金	詩納対策を強化する	う。 アルの策定 アルに基づ 策の実施	<u>:</u> ごく奨学金	滞納対領	色の強化					
且概要	学金の滞 【主な取 ・奨学金	新対策を強化する 組内容】 満納対策マニュア 満納対策マニュア 情置を含めた未納丸	ルの策定 ルに基づ 対策の実施 ・奨学金	E がく奨学金 I	滞納対策 マニュフ 	きの強化 アルの策定	<u> </u>				
	学金の滞 【主な取 ・奨学金 ・ 奨学金 ・ 法的措	新対策を強化する 別組内容】 注滞納対策マニュア 活で含めた未納対 平成27年度	ルの策定 ルの策定 がルに基づ 大策の実施・奨学金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ご ごく奨学金 正 注滞納対策	滞納対象 マニュラ マニュラ た未納対 マニュラ	での強化 アルの策定 アルの策定 対策の実施 アルの策定					
组概要	学金の滞 【主な取 ・奨学金 ・ 奨学金 ・ 法的措	が納対策を強化する 図組内容】 注滞納対策マニュア 活置を含めた未納対 平成27年度 平成28年度	で アルの策定 アルに実施 ・ 奨学 学的 ・ 奨学 学的 ・ 奨学的 ・ 奨学的 ・ 奨学的 ・ 奨学的 ・ 奨学的	ご がく奨学金 之滞納対策 注 で含め 注 で き が に が に が に が に が に が に が に が に が に が	滞納対策 マニュラ マニュラ た未納文 マニュ対文 た未納マニュラ	きの強化 アルの策定 アルの策定 対策の実施 対策の実施	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	対する公	、平性を研		
	学金の滞 【主な取 ・奨学金 ・ 奨学金 ・ 法的措	新対策を強化する 収組内容】 空滞納対策マニュア 清置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・ ルの策基に ・ 大	ご がく奨学金 之滞納対策 き間を を満置を を満置を の に満れ対対 に満れ対対 に満れ対対 に満れが対対 に満れが対対 に満れが対対 に満れが対対 に、一部が対対 に、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	滞納対射 マニュラ文 マた未 ニネ マた マ未納 ラッネ マた マニュ	きの強化 アルの策定 アルの策定 対策の策実施 アカ策のに基実 対策のに基本	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	満納対策	で強化		
	学金の構造を受ける。	新対策を強化する 型組内容】 空滞納対策マニュア 滞満を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	の の にの 奨 受法 奨法 奨法 奨法 受法 受害 学的 学的 学的 学的 学的 学の	で で で で で で で で で で で で で で	滞納対対 マニュ ネ コ ユ ス ネ ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	きの強化 アルの策定 対策のの実 対策のの実 対策のにののにののにのにある。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	で で で で で で で で で で で で で で	対する公 港納対策 港納対策	で強化	保保するた	とめ、奨
	学金の構造を受ける。	新対策を強化する 型組内容】 連滞納対策マニュア 連滞納対策マニュア 計置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	の の にの 奨 受法 奨法 奨法 奨法 受法 受害 学的 学的 学的 学的 学的 学の	三 る を で で で で で で で で で で で で で	滞納対対 マニュ ネ コ ユ ス ネ ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	きの強化 アルのの 策実 産施 アカテルのの にの にの にの にの にの にの にの にの にの にあり にの にあり にの にあり にの にあり にの にあり にの にかり にんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅう はんしゅん はんしゅんしゅんしゅん はんしゅんしゅんしゅん はんしゅん	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	対する公 満納対策 満納対策	で強化で強化	後の場合を表現しています。	とめ、奨
	学金の構造を受ける。	新対策を強化する 型組内容】 2.滞納対策マニュア 2.滞納対策マニュア 計置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	の の にの 奨 受法 奨法 奨法 奨法 受法 受害 学的 学的 学的 学的 学的 学の	で	滞 マ マた マた マた マた マた ゴーラ ファ マ ファ マ マ マ ア マ ア マ ア マ ア マ ト 単 回 ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	きの強化 アルのの 策実 産施 アカテルのの にの にの にの にの にの にの にの にの にの にあり にの にあり にの にあり にの にあり にの にあり にの にかり にんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅう はんしゅん はんしゅんしゅんしゅん はんしゅんしゅんしゅん はんしゅん	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	対する公 満納対策 満納対策	で強化で強化	保保するた	とめ、奨
	学金のでは、またのでは、	新対策を強化する 型組内容】 2.滞納対策マニュア 2.滞納対策マニュア 計置を含めた未納文 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	の の にの 奨 受法 奨法 奨法 奨法 受法 受害 学的 学的 学的 学的 学的 学の	でする (本)	滞納対 マーマた マた マた マた マた マた マた 単位 マたマた マた マた 単位	たの強化 アルの策定 大学のでのでである。 大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	対する公 滞納対策 滞納対策 平成29年度	で発化 で強化 で強化 平成30年度	後 数 平成31年度	- 必、奨 平成32年度
	度別取組內容	世界	受益者負担の適正化を図 【主な取組内容】 ・3年毎の下水道使用料改 ・下水道使用料に関する審 平成27年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 運営審議会の設置・諮問 下水道使用料改定	受益者負担の適正化を図るため、 【主な取組内容】 ・3年毎の下水道使用料改定 ・下水道使用料に関する審議委員会 平成27年度 ・下水道 平成28年度 ・下水道 平成29年度 ・下水道 平成30年度 ・企業会 平成31年度 ・企業会 平成32年度 ・企業会 目標指標名 運営審議会の設置・諮問 下水道使用料改定	 受益者負担の適正化を図るため、下水道使【主な取組内容】・3年毎の下水道使用料改定・下水道使用料に関する審議委員会の設置と 平成27年度 ・下水道使用料に 平成28年度 ・下水道使用料に 平成29年度 ・下水道使用料は 平成30年度 ・企業会計移行準 平成31年度 ・企業会計移行準 平成32年度 ・企業会計移行後 目標指標名	退機要 受益者負担の適正化を図るため、下水道使用料の見します。 【主な取組内容】・3年毎の下水道使用料改定・下水道使用料に関する審議委員会の設置と諮問 平成27年度 ・下水道使用料に関する審議委員会の設置と諮問 平成28年度 ・下水道使用料に関する審理 平成29年度 ・下水道使用料改定 平成30年度 ・企業会計移行準備実施 平成31年度 ・企業会計移行準備実施 平成32年度 ・企業会計移行後運営審議 日標度 一業値 達成率 % 日標値 一業域 下水道使用料改定 日標値 下水道使用料改定 日標値 上標値 一業域 達成率 % 日標値 上線値 達成率 % 日標値 上線値 達成率 %	選出概要 受益者負担の適正化を図るため、下水道使用料の見直しを行 【主な取組内容】 ・3年毎の下水道使用料改定 ・下水道使用料に関する審議委員会 ・下水道使用料に関する審議委員会 平成28年度 ・下水道使用料に関する審議委員会 ・下水道使用料改定 平成29年度 ・下水道使用料改定 平成29年度 ・下水道使用料改定 平成30年度 ・企業会計移行準備実施 平成31年度 ・企業会計移行準備実施 平成32年度 ・企業会計移行準備実施 平成32年度 ・企業会計移行後運営審議会設置及 車標値 実績値 ・接討 下水道使用料改定 1日標値 実績値 下水道使用料改定 1日標値 実績値 下水道使用料改定 1日標値 実績値 下水道使用料改定 1日標値 実績値 上標値 実績値 2 上標位 実施 2 上標位 実績値 2 上標位 実績値 2 上標位 2 上標 2 上標 2 上標 2 上標 2	重機要 受益者負担の適正化を図るため、下水道使用料の見直しを行う。 【主な取組内容】・3 年毎の下水道使用料改定・下水道使用料に関する審議委員会の設置と諮問 平成27年度 ・下水道使用料に関する審議委員会の設置及平成29年度 平成29年度 ・下水道使用料に関する審議委員会の設置と平成30年度 平成30年度 ・企業会計移行準備実施 平成31年度 ・企業会計移行準備実施 平成32年度 ・企業会計移行後運営審議会設置及び使用料で成32年度 事情 期標値 運営審議会の設置・諮問 実施値 下水道使用料改定 実施値 事成率 % 目標値 実施値 事成率 % 目標値 実施値 事成率 % 目標値 実施値 達成率 %	担当 受益者負担の適正化を図るため、下水道使用料の見直しを行う。 【主な取組内容】 ・3年毎の下水道使用料改定 ・下水道使用料に関する審議委員会の設置及び手法の 平成27年度	担当課名 受益者負担の適正化を図るため、下水道使用料の見直しを行う。 【主な取組内容】	担当課名 下水道 受益者負担の適正化を図るため、下水道使用料の見直しを行う。 主な取組内容

21	取組項目名	学校給食	費の収納率の向上	:						部名		委員会
		学校系	食における受益者	賃担の を	平性を図	るため、	学校給食	*費の収納		課名		管理課 引上を図
(1)取約	組概要	る。 【主な取 ・学校系 ・法的措	双組内容】 合食費事務の手引に 措置を含めた未納な 連携した納入促進	ニ基づく学 対策の実施	² 校給食費	•			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,
		・子仪と	平成27年度	・学校系 ・法的指	合食費事務 計置を含め : 連携した	た未納対	対策の実施		常納対策	受の強化 の		
		前期	平成28年度	・学校総 ・法的措	達携した 食費事務 計置を含めた : 連携した	の手引にた未納対	∠基づく学 対策の実施		常納対策	での強化 の強化		
(a) /= t	ᅔᄜᄧᄱᆎᄼ		平成29年度	・学校総 ・法的指	食費事務は遺失	の手引に た未納対	工基づく学 対策の実施		常納対策	ぎの強化		
(2)年月	度別取組内容		平成30年度	・学校系 ・法的措	食費事務 計置を含め ・連携した	の手引にた未納対	∠基づく学 対策の実施		常納対策	ぎの強化 かんかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか		
		後期	平成31年度	・法的指 ・学校と	食費事務 計置を含め : 連携した	た未納対納入促進	対策の実施 生	į				
			平成32年度	• 法的措	食費事務 計置を含め : 連携した	た未納対	対策の実施	ī		ぎの強化		
			目標指標名			単位	亚出97年度	前期平成28年度		亚出90年度	後期	
					目標値	件	200	200	200	十成30年度	十成31年及	十成32年及
		共同催告	什数		実績値	%						
(3) 目柱	票指標	D 納率	(現年度分)		目標値	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		10,111	(91+127)		達成率	%						
			()		目標値	%	10.0	10.5	11.0	5. 5	6.0	6.5
		収納率	(過年度分)		実績値							
22	取組項目名		(適年度分) 記定団体の社会教	女育施設 傾	実績値達成率	%)統一化			部名課名		委員会 学習課
22 (1) 取着		社会教育 社会教 るため、 【主な耶		上会教育団 エの社会教	実績値 達成率 を用時の減 で用時の減免 対育施設使	% 免内容の 基準につ 用時の源	ついて、施 域免内容を	:統一化す	担当 二不均衡か 一る。	課名	生涯等	学習課
		社会教育 社会教 るため、 【主な耶	記定団体の社会参 で育施設における社 社会教育認定団体 対組内容】	上会教育団 なの社会教 上会教育団	実績値 達成率 を用時の減 で用時の減免 対育施設使	% 免内容の 基準に 用時の 所	ついて、焼 域免内容を 乱直しによ	:統一化す	担当 不均衡か る。	課名 洋生じてい	生涯等	学習課と是正す
		社会教育 社会教 るため、 【主な耶	認定団体の社会参 で育施設における社 社会教育認定団体 対人を 対育施設における社	上会教育団 なの社会教 た会教育団 ・社会教	実績値 達成率 芝用時の減 性の減免 対育施設使 性の減免	% 免内容の 基準に 用時の 内容の おけるを	ついて、旅 成免内容を 見直しによ 上会教育団	:統一化す : る統一化 : る統一化 :]体の減免	担当 二不均衡か 一る。	課名 [§] 生じてV L直しによ	生涯性いる現状を	学習課と是正す
(1) 取着	组概要	社会教育なため、	認定団体の社会参 で育施設における社 社会教育認定団体 選組内容】 で育施設における社 平成27年度	上会教育団 た会教育団 ・社会教 ・社会教	実績値 達成率 戸用時の減免 対育施設使 対育施設を 対育施設に	% 免内容の 基準にて 用時の おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを おけるを お お お お お お お お お お よ お よ お よ お よ お	ついて、旅 成免内容を 乱直しによ 上会教育団 上会教育団	:統一化す : る統一化 : る統一化]体の減免]体の減免	担当 不均衡かっる。 と内容の見 と内容の見	課名 ³ 生じてv	生涯性いる現状を	学習課と是正するの検討
(1) 取着		社会教育なため、	認定団体の社会を 対育施設における社 社会教育認定団体 対象組内容】 対育施設における社 平成27年度 平成28年度	会教育団 なの社会教 ・社会教 ・社会教	実績値 達成率 連用時の減免 対育施設使 対育施設に 対育施設に	% 免内容の 基準に 用時の おける おける おける	ついて、施 成免内容を 起直しによ 上会教育団 上会教育団 上会教育団	本統一化する統一化 る統一化 日体の減免 日体の減免	担当工不均衡がつる。	課名 ³ 生じてV	生涯性いる現状を	学習課金是正するの検討
(1) 取着	组概要	社会教育なため、	認定団体の社会を 対育施設における社 社会教育認定団体 組内容】 対育施設における社 平成27年度 平成28年度 平成29年度	会教育団 ・社会教 ・社会教 ・社会教	実績値 達成率 を用時の減免 を対容施設は 対容施設に 対容施設に 対容施設に 対容施設に	% 免内容の 基準に 利用時の おける おける おける おける おける おける	ついて、施 対免内容を 起直しによ 上会教育 上会教育 上会教育 上会教育 上会教育	が一化する統一化 る統一化 日体の減免 日体の減免	担当に不均衡がる。	課名 ³ 生じてい 1 直しによ 1 直しによ	生涯性いる現状を	学習課金是正するの検討の検討
(1) 取着	组概要	社会教育を記念を表しています。	認定団体の社会を 対方施設における社 社会教育認定団体 組内容】 で育施設における社 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	会教育団 ・社会教 ・社会教 ・社会教	実績値 連成率 芝用時の減免使 団体の減免使 対育施設に 対育施設に 対育施設に 対育施設に	% 免内容の 基準に 利用時の おける おける おける おける おける おける	かで、 がたのでである。 は一点のである。 は一句で。 は一句である。 は一句である。 は一句である。 は一句である。 は一句で。 は一句で。 は一句で。 は一句で。 は一句で。 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一句で、 は一で は一で は一で は一で は一で は一で は一で は一で	- 統一化する統一化 - る統一化 - 体の減免 - 体の減免 - 体の減免 - 体の減免	担当に不均衡がる。	課名 ³ 生じてV 上直しによ 上直しによ 上直しによ	生涯性である現状を	学習課金の検討の検討金の検討
(1) 取着	组概要	社会教育な会をある。「主な会をいます。」と社会をいいます。	認定団体の社会を 対育施設における社 社会教育認定団体 組内容】 対育施設における社 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	会教育団 ・社会教 ・社会教 ・社会教	実績値 連成率 芝用時の減免使 団体の減免使 対育施設に 対育施設に 対育施設に 対育施設に	% 免内容の 基準に 利用時の おける おける おける おける おける おける	ついて、施 対免内容を 乱直しによ 上会教育 十会教育 十会教育 十会教育 十会教育 十会教育 十会教育	が一化する統一化 る統一化 日体の減免 日体の減免	担当に不均衡がる。	課名 *生じている *生じている *している し直しによる し直しによる し直しによる し直しによる	生涯でいる現状を	学習課金の検討の検討の検討のを図る
(1) 取着	组概要	社会教育を表しています。	認定団体の社会を 有施設における社 社会教育認定団体 組内容】 有施設における社 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	会教育 を ・ 社会 を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値率 減免使 対	% 免内容の 基準時の おけるを おけるを おけるを おけるを も も も して を が も も も も も して る を も も も も も も も も も も も も も も も も も も	ついて、施 対免内容を 乱直しによ 上会教育 十会教育 十会教育 十会教育 十会教育 十会教育 十会教育	が一化する統一化する統一化 は本の減免 は本の減免 は本の減免 は本の減免 がある。	担当に不均衡がる。	課名 *生じている *生じている *している し直しによる し直しによる し直しによる し直しによる	生涯でいる現状を	学習課金の検討の検討の検討のを図る
(1) 取着	组概要 度別取組内容	社会教育を表して、	認定団体の社会を 有施設における社 社会教育認定団体 組内容】 で育施設における社 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 1 標 指 標 名 でかって見直しにおける社会	会教社会を教育を教育を教育を会社を会社を会社を会せため、会社を会会を教育を教育を教育を教育を教育を教育を教育を教育を表する。	実績値率 減免使 対 育 施 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設	% 免内容の 基用時の おける おける おける おける おける おける	ついて、旅を 対免内容を 計画したよ 上会教育 育団 上会教育 育団 上会教育 育団 上会教育 百団	統一化する統一化する統一化は本の減免は本の減免は本の減免前可以期可以可以が期可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以	担当 二不均衡かる。 一人内容の見 上内容の見 上内容の見 上内容の見 上内容の見	課名 *生じている 上直しによ 上直しによ 上直しによ 上直しによ 上直したよ 平成30年度	生涯でいる現状を	学習課金の検討の検討の検討のを図る
(1) 取着	组概要 度別取組内容	社会教育を表して、	認定団体の社会を 有施設における社 社会教育認定団体 組内容】 で育施設における社 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	会教社会を教育を教育を教育を会社を会社を会社を会せため、会社を会会を教育を教育を教育を教育を教育を教育を教育を教育を表する。	実績値率 減免使 対	% 免内容の 基準時の おけるを おけるを おけるを おけるを も も も して を が も も も も も して る を も も も も も も も も も も も も も も も も も も	ついて、旅を 対免内容を 計画したよ 上会教育 育団 上会教育 育団 上会教育 育団 上会教育 百団	統一化する統一化する統一化は本の減免は本の減免は本の減免前可以期可以可以が期可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以	担当 二不均衡かる。 一人内容の見 上内容の見 上内容の見 上内容の見 上内容の見	課名 *生じている 上直しによ 上直しによ 上直しによ 上直しによ 上直したよ 平成30年度	生涯性 いる現状を こる統一化 こる統一化 こる統一化 こる統一化 こる統一化	学習課金の検討の検討の検討のを図る
(1) 取着	组概要 度別取組内容	社会教育を表している。 社会を表している。 社会を表している。 社会ののの教育を表している。 社会ののの教育を表している。 社会ののの教育を表している。 社会ののの教育を表している。 社会ののの教育を表している。 社会ののの教育を表している。 社会のの教育を表している。 社会の教育を表している。 社会のななないる。 社会のなななないる。 社会のななないる。 社会のなななななななないる。 社会のななななななななななななななななななななななななななななななななな	認定団体の社会を 有施設における社 社会教育認定団体 組内容】 で育施設における社 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 1 標 指 標 名 でかって見直しにおける社会	会教社会を教育を教育を教育を会社を会社を会社を会せため、会社を会会を教育を教育を教育を教育を教育を教育を教育を教育を表する。	実績値率 減免使 対 育 施 か 育 施 か 育 施 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設 設	% 免内容の 基準時の おけるを おけるを おけるを も おけるを も も して を の り る を して る を して る を して る を る を る を る を る を る を る を る を る を る	ついて、旅を 対免内容を 計画したよ 上会教育 育団 上会教育 育団 上会教育 育団 上会教育 百団	統一化する統一化する統一化は本の減免は本の減免は本の減免前可以期可以可以が期可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以可以	担当 二不均衡かる。 一人内容の見 上内容の見 上内容の見 上内容の見 上内容の見	課名 *生じている 上直しによ 上直しによ 上直しによ 上直しによ 上直したよ 平成30年度	生涯性 いる現状を こる統一化 こる統一化 こる統一化 こる統一化 こる統一化	学習課金の検討の検討の検討のを図る

23	取組項目名	運動公園	等への広告設置・	・ネーミン	ングライツ	'導入の	検討			部名課名		委員会 長興課
			†源の確保を目的と	とし、総合	合運動公園	、総合	体育館等~	への広告打	, ,			
(1)取組	且概要		。 双組内容】 aguita g guita g guita guita g ita guita g i	ライツ導力	人の検討							
			平成27年度	・広告部	ひ置・ネー	ミング	ライツ導力	の検討				
		前期	平成28年度	・広告部	2置・ネー	ミング	ライツ導力	の検討				
(2)年度	度別取組内容		平成29年度	• 広告部	ひ置・ネー	ミング	ライツ導力	の検討				
			平成30年度	・広告部	ひ置・ネー	ミング	ライツ導力	の検討・	協議			
		後期	平成31年度	• 広告部	2置・ネー	ミング	ライツ導力	(総合体	本育館)			
			平成32年度	• 広告部	受置・ネー			(総合選 前 期			後期	
			目標指標名			単位	平成27年度	平成28年度		平成30年度	D 4 //·	平成32年度
		広告設置 の検討	量・ネーミングラ/	イツ導入	目標値 実績値	_	実施					
			·	276	達成率 目標値	%	_	_	_	実施		
(3)目標	票指標	広告設置 協議	・ネーミングライツ	/導入の	実績値	- 0/) (ME		
		広告設置 (総合体	・ネーミングライツ 育館)	ツ導入	達成率 目標値 実績値 達成率	<u>%</u> - %	_	_	_	_	実施	
		広告設置 (総合運	・ネーミングライツ 動公園)	グ導入	目標値実績値	- %	_	_	_	_	_	実施
24	取組項目名	医業未収	Z金(患者一部負担	担金)の智					担当担当			巻市立病院 事課
(1)取組	且概要	【主な取 ・未収金 ・迅速な	↑負担の適正化を図 双組内容】 ≥対応マニュアル ↑電話催告、訪問後 退由の分析等の過年	(フロー) 数収の実施	の整備 施等の現年			旦金)の行	管理対策	を強化す	る。	
			平成27年度	・未収金	を対応マニ	ュアル(の検討・作	F成				
		前期	平成28年度	・未収金	金対応マニ	ュアル(の実施・∜	代況分析				
(2)年度	度別取組内容		平成29年度	・未収金	金対応マニ	ュアル(の実施・状	代況分析				
			平成30年度	・未収金	金対応マニ	ュアル(の実施・状					
		後期	平成31年度	・未収金	を対応マニ	ュアル(の実施・状					
			平成32年度	・未収金	を対応マニ	ュアル(П	公 斯	1
			目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度	平成29年度			平成32年度
		未払者へ	の対応率		目標値 実績値 達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3) 目標	票指標	患者一部	3負担金の現年度4	又入率	月標値 実績値 達成率	%	100.0	96. 0	98.0	98.0	98. 0	98. 0
					目標値 実績値 達成率	%						

25	取組項目名		正管理の推進						担当	部名	財務	务部
20	10/10 × 10 × 10								担当	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		果・納税課
(1) [適正な徴 【主な取 ・石巻市	・一ビスを受ける市 収の推進を実施す 組項目】 5債権管理基本方針 、) 石巻市債権管理	る。 ·に基づく	各債権所名				め、市債	権管理基準	本方針等に	こ基づく
			平成27年度									
		前期	平成28年度									
(2) 至	F度別取組内容		平成29年度									
(2)			平成30年度	・債権管	理基本方	針に基づ	ら 適正管	理及び進	行管理			
		後期	平成31年度	・債権管	理基本方	針に基づ	ら 適正管	理及び進	行管理			
			平成32年度	・債権管	理条例の	制定						
			目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度			後 期 平成31年度	
		• (仮称)石巻市債権管理条	例の制定	目標値 実績値 達成率	- %						実施
(3)	目標指標				目標値 実績値 達成率	%						
					目標値 実績値 達成率	%						



基本目標3

業務の効率化や見直しの推進

	取 組 項 目 名	担当部	掲載ページ
1	電子決裁の拡大に向けた検討	総務部	27
2	各種委員報酬の見直し	総務部	27
3	自動車運転業務における嘱託、再任用職員の配置	総務部	28
4	適正な公用車台数の検討	総務部	28
5	庁舎維持管理経費節減に必要な取組の検討と実施	総務部	29
6	本庁舎職員駐車場のあり方の検討	総務部	29
7	職員グループウェアの利活用の推進	総務部	30
8	歳入に見合った予算の編成	財務部	30
9	地方債発行の抑制	財務部	31
1 0	「補助金の見直し指針」に基づく適正な補助金の算定	財務部	31
1 1	第三セクター等の点検・評価・情報公開の実施	財務部	32
1 2	行政評価の見直しの検討	財務部	32
1 3	防災集団移転促進事業により取得した土地の適正な管理・ 活用の検討	復興事業部	33
1 4	防災集団移転促進事業により整備した宅地の適正な管理	復興事業部	33
1 5	市民課窓口業務の民間委託の検討	生活環境部	34
1 6	人間ドック及び脳ドック事業のあり方の検討	健康部	34
1 7	社会福祉協議会への委託業務内容等の整理	福祉部	35
1 8	生きがい対応デイサービス事業の見直し	福祉部	35
1 9	身体・知的障害者相談員の見直し	福祉部	36
2 0	道路街路灯へのLED灯の導入	建設部	36
2 1	公共下水道事業等有収率の向上	建設部	37
2 2	スポーツ推進委員の定員数の見直し	教育委員会	37
2 3	市立病院の経営安定化	病院局	38
2 4	公金収納データ処理業務の外部委託	会計管理者	38
2 5	市立牡鹿病院の経営安定化	病院局	39

1	取組項目名	電子決裁	成の拡大に向けた検	討						部名 課名	総務課・情報	多部 唱システム調
		業務の	効率化及び庁内の	パーパレ	/ス化の推	進を図る	るため、電	電子決裁の				収ンハノム味
		【主か形	双組内容】									
(1)取約	組概要		裁の拡大に向けた	検討								
			平成27年度	・電子決	と 裁の拡大	に向けた	:検討					
		前期	平成28年度	・電子決	や裁の拡大	に向けた	上検討					
			亚-4-00-7- 库	ポ フンサ	1 th	.1 = 14 1.4.4	. 1∨⇒1					
(9) 在 E	度別取組内容		平成29年度	・竜士次	·裁の拡大	に回ける	二使訂					
(4) +1	支力1月以和171合		平成30年度	雷子洪	対数の拡大	に向けた	· 給計					
			1 1200 1 12	电10		.(C)3() /	-1XH1					
		後期	平成31年度	・電子決	・裁の拡大	に向けた	_検討					
			平成32年度	・電子決	や裁の拡大	に向けた	た検討					
			 目標指標名			単位		前 期			後期	
			日 保 旧 保 石		目標値	毕证	平成27年度	平成28年度	平成29年度 実施	平成30年度 実施	平成31年度	平成32年度 実施
		電子決裁	成の拡大に向けた検	討	実績値	_	- 天旭	天旭	天旭	天旭	天旭	天旭
(3) 目柱					達成率 目標値	%						
(0) [1]	3.111				実績値	2/						
					<u>達成率</u> 目標値	%						
					実績値							
					生土去							
					達成率	%			扣	立7.夕	∳ 公≾	女立17
2	取組項目名	各種委員	報酬の見直し		達成率	<u>%</u>				部名課名		务部 事課
2	取組項目名	業務に	見合った適正な報		計が必要	なことだ) ら、非常	常勤特別職	担当	課名	人事	事課
		業務に (日額制	-見合った適正な報 、月額制、併給制		計が必要	なことだ	いら、非常	常勤特別職	担当	課名	人事	事課
2 (1) 取約		業務に (日額制 【主な取	見合った適正な報 」、月額制、併給制	引)の見直	対が必要 こしを行う	なことだ。		常勤特別職	担当	課名	人事	事課
		業務に (日額制 【主な取	-見合った適正な報 、月額制、併給制	引)の見直	対が必要 こしを行う	なことだ。		常勤特別職	担当	課名	人事	事課
		業務に (日額制 【主な取	上見合った適正な報 以、月額制、併給制 以組内容】 加特別職の報酬等の	引) の見直 対報酬金額	検討が必要 重しを行う 質及び支給	なことだ。 。 :方法の§	見直し	常勤特別職	担当	課名	人事	事課
		業務に (日額制 【主な取	見合った適正な報 」、月額制、併給制	引)の見直報酬金額・特別職	対が必要 こしを行う	なことだ。 ・ 方法の身 議会へ <i>の</i>	見直し	常勤特別職	担当	課名	人事	事課
		業務に (日額制 【主な取 ・非常勤	見合った適正な報 、月額制、併給制 以組内容】 動特別職の報酬等の 平成27年度	が ・特別職 ・見直し	意計が必要 直しを行う 質及び支給 機等報酬審 力針の決	なことだ。 方法の§ 議会への	見直し 		担当の報酬等	課名の報酬金	人事	事課
		業務に (日額制 【主な取	上見合った適正な報 以、月額制、併給制 以組内容】 加特別職の報酬等の	が ・特別職 ・見直し	検討が必要 正しを行う 質及び支給 機等報酬審	なことだ。 方法の§ 議会への	見直し 		担当の報酬等	課名の報酬金	人事	事課
		業務に (日額制 【主な取 ・非常勤	見合った適正な報 、月額制、併給制 以組内容】 動特別職の報酬等の 平成27年度	引) の見直 報酬金額 ・特別直 ・見直し ・非常勤	意計が必要 直しを行う 質及び支給 機等報酬審 力針の決	なことだ。 方法の 議会へ <i>の</i> 報酬等 <i>の</i>	記直し)諮問)報酬金額	頁及び支給	担当 成の報酬等 計方法の見	課名 ドの報酬金 上直し	人事	事課
(1) 取着		業務に (日額制 【主な取 ・非常勤	- 見合った適正な報 、月額制、併給制 組内容 和内容 一 和内容 平成27年度 平成28年度	引) の見直 報酬金額 ・特別直 ・見直し ・非常勤	検討が必要する 直しを行う 質及び支給 数等報酬審 力針の決 力特別職の	なことだ。 方法の 議会へ <i>の</i> 報酬等 <i>の</i>	記直し)諮問)報酬金額	頁及び支給	担当 成の報酬等 計方法の見	課名 ドの報酬金 上直し	人事	事課
(1) 取着	且概要	業務に (日額制 【主な取 ・非常勤	- 見合った適正な報 、月額制、併給制 組内容 和内容 一 和内容 平成27年度 平成28年度	」) の見直 ・報酬金額 ・特別直し ・非常勤 ・非常勤	検討が必要する 直しを行う 質及び支給 数等報酬審 力針の決 力特別職の	なことだ。 方法の 議会への 報酬等の 報酬等の	記直し)諮問)報酬金額)報酬金額	頁及び支給 頁及び支給	担当場の報酬等	課名 ドの報酬金 上直し	人事	事課
(1) 取着	且概要	業務に (日額制 【主な取 ・非常勤	- 見合った適正な報 - 見合った適正な報 - 人類制、併給制 - 双組内容】 - 物特別職の報酬等の - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度	」) の見直 ・報酬金額 ・特別直し ・非常勤 ・非常勤	検討が必要 直しを行う 質及び支給 機等報酬審 少方針の決 か特別職の	なことだ。 方法の 議会への 報酬等の 報酬等の	記直し)諮問)報酬金額)報酬金額	頁及び支給 頁及び支給	担当場の報酬等	課名 ドの報酬金 上直し	人事	事課
(1) 取着	且概要	業務に (日額制 【主な取 ・非常勤	- 見合った適正な報 - 見合った適正な報 - 人類制、併給制 - 双組内容】 - 物特別職の報酬等の - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度) の見直 ・特別直 ・非常勤 ・特別職	検討が必要 直しを行う 質及び支給 機等報酬審 少方針の決 か特別職の	なことだ。 方法の 議会への 報酬等の 報酬等の	記直し)諮問)報酬金額)報酬金額	頁及び支給 頁及び支給 見直し方針	担当の報酬等	課名の報酬金	人事	事課
(1) 取着	且概要	業務に (日本の (日本の (日本の (日本の) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	- 見合った適正な報 - 見合った適正な報 - 別、月額制、併給制 - 別報の報酬等の - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度 - 平成30年度 - 平成31年度) の見直 ・特別直 ・非常勤 ・特別職	検討が必要 直しを行う 質及び支給 機等報酬審 か特別職の 物特別職の 機等報酬審	なことだ。 方法の 議会への 報酬等の 報酬等の	記直し)諮問)報酬金額)報酬金額	頁及び支給 頁及び支給 見直し方針	担当の報酬等	課名の報酬金	人事	事課
(1) 取着	且概要	業務に (日本の (日本の (日本の (日本の) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	- 見合った適正な報 - 見合った適正な報 - 別 - 別 - 別 - 別 - 別 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日) の見直 ・特別直 ・非常勤 ・特別職	検討が必要 直しを行う 質及び支給 機等報酬審 か特別職の 物特別職の 機等報酬審	なことだ。 方法の 議会への 報酬等の 報酬等の	記直し)諮問)報酬金額)報酬金額	頁及び支給 頁及び支給 見直し方針	担当の報酬等	課名の報酬金	人事	事課
(1) 取着	且概要	業務に (日本の (日本の (日本の (日本の) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	- 見合った適正な報 - 見合った適正な報 - 別、月額制、併給制 - 別報の報酬等の - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度 - 平成30年度 - 平成31年度) の見直 ・特別直 ・非常勤 ・特別職	検討が必要 直しを行う 質及び支給 機等報酬審 か特別職の 物特別職の 機等報酬審	なことだ。 方法の 議会への 報酬等の 報酬等の	記直し ○諮問 ○報酬金名 ○諮問・ ○報酬金名	頁及び支給 頁及び支給 見直し方針 頁及び支給	担当はの報酬等	関名をの報酬金	後期	事課 正給方法
(1) 取着	且概要	業務に	見合った適正な報 別、月額制、併給制 図組内容】 動特別職の報酬等の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度]) の見直 ・特別直 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常	を計が必要う 質及び支報酬の 動特別職の 動特別職の 動特別職の	なことだ。 方法の 議定 報酬等の 報酬等の	記直し ○諮問 ○報酬金名 ○諮問・ ○報酬金名	頁及び支給 頁及び支給 見直し方針 頁及び支給	担当はの報酬等	関名をの報酬金	人	事課 正給方法
(1) 取着	且概要	業務に	- 見合った適正な報 - 見合った適正な報 - 別報制、併給制 - 以組内容】 - 動特別職の報酬等の - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度 - 平成30年度 - 平成31年度 - 平成32年度]) の見直 ・特別直 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常 ・非常	を計が必行う 質及び支報酬の 動特別職の 動特別職の 動特別職のの 動特別職のの 世界績値 実績値	な。 方 議定 報 報 報 報 報 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	記直し ○諮問 ○報酬金名 ○諮問・ ○報酬金名 ○報酬金名	頁及び支給 頁及び支給 見直し方針 頁及び支給	担当はの報酬等	課名 Fの報酬金 L直し L直し VR成30年度	後期	事課 正給方法
(1) 取着	组概要 度別取組内容	業務に (日主主常期 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	見合った適正な報 別、月額制、併給制 図組内容】 動特別職の報酬等の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	別の見を変われている。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	を計がを行う 通しをでする がお行うでする。 を対したでする。 をがしたでする。	なことだ。 方法の 議定 報酬等の 報酬等の	記直し ○諮問 ○報酬金名 ○諮問・ ○報酬金名 ○報酬金名	頁及び支給 頁及び支給 見直し方針 頁及び支給	担当はの報酬等	課名 Fの報酬金 L直し L直し VR成30年度	後期	事課 正給方法
(1)取新	组概要 度別取組内容	業務額 (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	- 見合った適正な報 - 見合った適正な報 - 別報制、併給制 - 双組内容】 - 小特別職の報酬等の - 平成27年度 - 平成28年度 - 平成29年度 - 平成30年度 - 平成31年度 - 平成31年度 - 平成32年度 - 平成32年度 - 目標指標名 - 報酬審議会への認	別の見を変われている。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	を計が必行う 質及び支報酬の 動特別職の 動特別職の 動特別職のの が関係を表する。 がは、これでは、できます。 がは、これでは、できます。 がは、これでは、できます。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これできますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できますな。 は、これでは、できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	なった 満定 報酬等 の	記直し ○諮問 ○報酬金名 ○諮問・ ○報酬金名 ○報酬金名	頁及び支給 頁及び支給 直し し方針 頁及び支給 前 平成28年度	担当 成の報酬等 方法の見 つの決定 方法の見 平成29年度	課名 Fの報酬金 L直し L直し VR成30年度	人 全額及び支 平成31年度	事課 正給方法
(1)取新	组概要 度別取組内容	業務額 取 (1 主主 常 期) (2 非 常 期) (3 期) (4 期) (5 期) (6 1	- 見合った適正な報 - 見合った適正な報 - 別職の報酬等の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度	別の見を変われている。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	を計しを行う 対しを行う がおけるです。 を対したでする。 を対したでする。 を対したでする。 を対したでする。 を対したでする。 を対したでする。 はいたでする。	な。 方 議定 報 報 報 報 報 も へ の の を を の の の の の の の の の の の の の	記直し ○諮問 ○報酬金名 ○諮問・ ○報酬金名 ○報酬金名	頁及び支給 頁及び支給 直し し方針 頁及び支給 前 平成28年度	担当 成の報酬等 方法の見 つの決定 方法の見 平成29年度	課名 Fの報酬金 L直し L直し VR成30年度	人 全額及び支 平成31年度	事課 正給方法

3	取組項目名	自動車運	- 三転業務における帰	属託、再日	E用職員の	配置				i部名 i課名		务部 け課
(1) 取糸	且概要	【主な取	削減を図るため、 双組内容】 再任用職員の配置		運転業務に	ついて明	属託、再 任	£用職員を			<u> </u>	T IIA
			平成27年度	・嘱託、	再任用職	員の配置	<u> </u>					
		前期	平成28年度	・嘱託、	再任用職	員の配置	<u> </u>					
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・嘱託、	再任用職	員の配置	<u> </u>					
			平成30年度	・嘱託、	再任用職	員の配置	<u> </u>					
		後期	平成31年度	・嘱託、	再任用職	員の配置	<u> </u>					
			平成32年度	・嘱託、	再任用職	員の配置	<u>.</u>	\(\frac{1}{2}\)			//, 440	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	
		配置され (実績値の	した嘱託・再任用職 のみ)	战員数	目標値 実績値	人	_	_	_	_	_	_
(3) 目根	覃 抬煙	(天順區、	.,,,,		達成率 目標値	%	_	<u> </u>	_	_		_
(0) H 1)	W1D.NV				実績値	0/						
					達成率	%						
					実績値							
						0/_						
4	取組項目名	適正な公	常用車台数の検討		達成率	%				i部名 i課名		务部 は課
(1) 取糸		維持管 【主な取	*用車台数の検討 ・理コストの削減を は組内容】 この使用状況の把握		達成率	に見合っ	った適正な	3公用車台	担当	i課名	管具	务部 才課
		維持管 【主な取	・理コストの削減を 双組内容】	屋、適正台	達成率	に見合っ		3公用車台	担当	i課名	管具	
		維持管 【主な取	・理コストの削減を 対組内容】 この使用状況の把握	を ・公用車	達成率 つ、業務量 計数の検討	に見合っ		3公用車台	担当	i課名	管具	
(1) 取系		維持管【主な取・公用車	で理コストの削減を 取組内容】 この使用状況の把握 平成27年度	透正台公用車公用車	達成率 つ、業務量 計数の検討 重の使用状	沈の把握	T.CG T.CG	3 公用車台	担当	i課名	管具	
(1) 取系	且概要	維持管【主な取・公用車	で理コストの削減を 取組内容】 正の使用状況の把握 平成27年度 平成28年度	公用車公用車公用車	達成率 つ、業務量 一致の検討 この使用状	に見合った。	T(s) T(s)	3 公用車台	担当	i課名	管具	
(1) 取系	且概要	維持管【主な取・公用車	F理コストの削減を R組内容】 Eの使用状況の把握 平成27年度 平成28年度 平成29年度	透正台公用車公用車公用車公用車	達成率 う、業務量 計数の検討 重の使用状 重の使用状	に見合った。 沈の把握 沈の把握		3 公用車台	担当	i課名	管具	
(1) 取系	且概要	維持管 【主な耶 ・公用車 前期	F理コストの削減を A組内容】 Eの使用状況の把握 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	・公用車 ・公用車 ・公用車 ・公用車	達成率 か、業務量 が数の検討 この使用状 この使用状	に見合った。		音数の検託	担当常数の検言	i課名	管則	才課
(1) 取系	且概要	維持管 【主な耶 ・公用車 前期	F理コストの削減を A組内容】 Eの使用状況の把握 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	・公用車 ・公用車 ・公用車 ・公用車	達成率 う、業務量 計数の検討 重の使用状 重の使用状 重の使用状	に見合った。	福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福	お数の検討 期	担当常数の検言	課名 対を行う。	管具	才課
(1) 取系	且概要	維持管 【主な耶 ・公用車 前期	F理コストの削減を R組内容】 Iの使用状況の把握 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	・公用車 ・公用車 ・公用車 ・公用車	達成率 う、業務量 う、業務量 の使用状 更の使用状 更の使用状 更の使用状 更の使用状 更の使用状 更の使用状 更の使用状	に見合っ : 況の把握 : 況の把握 : 況の把握 : 況の把握 : 況の把握 : 況の把握 道位 台	福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福 福	お数の検討 期	担当常数の検言	課名 対を行う。	管則	才課
(1) 取糸	度別取組内容	維持管 【主な用車 前期 後期	F理コストの削減を R組内容】 Iの使用状況の把握 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	・公用車 ・公用車 ・公用車 ・公用車	達成率 う、業務量 う、業務量 の使用状 更の使用状 更の使用状 更の使用状 更の使用状	に見合った。 一、沢の把握・沢の把握・沢の把握・沢の把握・沢の把握・沢の把握・アストルを表現の把握・アストルを表現の把握・アストルを表現の把握・アストルを表現の把握・アストルを表現の把握・アストルを表現の把握・アストルルを表現の把握・アストルルを表現しません。	型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	計	担当 注数の検言 計 平成29年度	課名 寸を行う。 _{平成30年度}	管則 平成31年度	才課 平成32年度

5	历 细币日夕	 	F管理経費節減に必	ノ西かか	日の松計し	宝坛			担当	部名	総系	务部
Э	取組 頃目名									課名		け課
			こおける維持管理総 に取組を検討し実施		りため、み	やぎ環境	竟交付金事	業に基づ	づくLED)照明の導	算入等の紹	E 費節減
(1)取約	組概要	・庁舎内	双組内容】 日のLED照明への 日の維持管理費の負		つ周知							
			平成27年度		ぎ環境交付 等の維持管				月への交換	į		
		前期	平成28年度	• 照明等	等の維持管	・理費の領	が減の周知	・徹底				
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	• 照明等	等の維持管	理費の領	作減の周知	・徹底				
(2) 1 2	2/31/2/14/1 1/4		平成30年度	• 照明等	等の維持管	理費の領	が減の周知	・徹底				
		後期	平成31年度	• 照明等	等の維持管	理費の領	作減の周知	・徹底				
			平成32年度	• 照明等	等の維持管	理費の領				П	(6 Ha	
			目標指標名			単位		前 期 平成28年度	平成29年度	平成30年度	後 期 平成31年度	
		7, ぬギ理	環境交付金事業に基	ŧベノ I	目標値	台	79	31	35	十成30十及	十八01十尺	十,从32,十,及
			現代的金争業にあ 日器具設置見込台数		実績値	%						
(3) 目柱	票指標	照明等の知・徹底)維持管理費の節源	載の周	目標値 実績値 達成率	- %	実施	実施	実施	実施	実施	実施
					7	70	検討					
		維持管理	世費の削減項目の 権	負討	目標値 実績値 達成率	%						
	The state of the s	<u> </u>				%			担当	部名	総矛	务部
6	取組項目名	本庁舎職	銭員駐車場のあり力	方の検討	実績値達成率				担当	課名		务部 才課
6 (1) 取給		本庁舎職 図書館 【主な取		方の検討	実績値達成率)、本庁舎			担当	課名		
		本庁舎職 図書館 【主な取	は員駐車場のありプロ おいまま は は は は は は は は は は は は は は は は は は	方の検討 適正管理を 記調査、管	実績値達成率	か、本庁会	が方針の決	. 定	担当ちり方を検	課名	管貝	
		本庁舎職 図書館 【主な取	战員駐車場のあり力 店脇職員駐車場の返 取組内容】 P職員駐車場の状況	方の検討 適正管理を 元調査、管 ・本庁名	実績値達成率を図るため	の、本庁会の検討及び	バ方針の決 元調査、管	. 定	担当ちり方を検	課名	管貝	
(1) 取着		本庁舎職 図書館 【主な耶 ・本庁舎	战員駐車場のあり力 店脇職員駐車場の返 取組内容】 P職員駐車場の状況 平成27年度	方の検討 適正管理を 元調査、管 ・本庁会	実績値 達成率 シ図るため 管理方策の 舎職員駐車	の、本庁会の検討及では場の状況に場の状況	バ方針の決 元調査、管 元調査	. 定	担当ちり方を検	課名	管貝	
(1) 取着	组概要	本庁舎職 図書館 【主な耶 ・本庁舎	裁員駐車場のあり力 京脇職員駐車場の通 対組内容】 下職員駐車場の状況 平成27年度 平成28年度	方の検討 適正管理を 記調査、管 ・本庁舎	実績値 達成率 シ図るため 管理方策の 吟職員駐車	の、本庁会 対機計及で に場の状況 に場の状況	バ方針の決 元調査、管 元調査	. 定	担当ちり方を検	課名	管貝	
(1) 取着	组概要	本庁舎職 図書館 【主な耶 ・本庁舎	表員駐車場のあり力 京脇職員駐車場の通 な組内容】 平成27年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度	方の検討 遠正管理を ・・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値 達成率 シ図るため 管理方策の き職員駐車 き職員駐車	り、本庁会の検討及び に場の状況 に場の状況	バ方針の決 元調査、管 元調査	. 定	担当ちり方を検	課名	管貝	
(1) 取着	组概要	本庁舎職 図書館 【主な取・本庁舎	議員駐車場のあり方 京脇職員駐車場の通 双組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	方の検討 適正管理を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績値を図るためで理力策の経験を開発している。	ン、本庁会の検討及で は場の状況 に場の状況	バ方針の決 元調査、管 元調査	· 定	担当かり方を検討及び	課名	空	才課
(1) 取着	组概要	本庁舎職 図書館 【主な取・本庁舎	議員駐車場のあり方 京脇職員駐車場の議 双組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	方の検討 適正管理を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績値率と図るためで理力策のを開発している。	ン、本庁会の検討及で は場の状況 に場の状況	ボ方針の決 元調査、管 元調査 元調査	荒理方策 <i>0</i>	担当のり方を検討及び	課名 討する。	*定	才課
(1) 取着	组概要	本庁舎職 図書館 【主本庁舎 前期 後期	議員駐車場のありた 部職員駐車場ので 双組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	方面でである。 一方面である。 一方面では、	実績値率と図るためで理力策のを開発している。	の、本庁会の状況で場の状況で場の状況を	ボ方針の決 元調査、管 元調査 元調査	荒理方策 <i>0</i>	担当かり方を検討及び	課名 討する。	*定	才課
(1) 取新	度別取組内容	本庁舎職 図書館 【主本庁舎 前期 後期	議員駐車場のあり 語職員駐車場の通 A組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	方面でである。 一方面である。 一方面では、	実達値を図るためで 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	の、本庁会の状況で場の状況で場の状況を	ボ方針の決 元調査、管 元調査 元調査	前 平成28年度	担当 50万を材 分検討及び 平成29年度	課名 計する。	** 管則 平成31年度	才課 平成32年度
(1) 取着	度別取組内容	本庁舎職 図書館 【主本庁舎 前期 後期	議員駐車場のありた 部職員駐車場ので 双組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	方面でである。 一方面である。 一方面では、	実達値率 と	(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)<	ボ方針の決 元調査、管 元調査 元調査	前 平成28年度	担当 50万を材 分検討及び 平成29年度	課名 計する。	** 管則 平成31年度	才課 平成32年度
(1) 取新	度別取組内容	本庁舎職 図書館 【主本庁舎 前期 後期	議員駐車場のありた 部職員駐車場ので 双組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	方面でである。 一方面である。 一方面では、	実達 (基本) と (登)	(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)(本庁会)<	ボ方針の決 元調査、管 元調査 元調査	前 平成28年度	担当 50万を材 分検討及び 平成29年度	課名 計する。	** 管則 平成31年度	才課 平成32年度
(1) 取新	度別取組内容	本庁舎職 図書館 【主本庁舎 前期 後期	議員駐車場のありた 部職員駐車場ので 双組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	方面でである。 一方面である。 一方面では、	実達 (値率) と で	(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本庁会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本院会の大きな)(本	ボ方針の決 元調査、管 元調査 元調査	前 平成28年度	担当 50万を材 分検討及び 平成29年度	課名 計する。	** 管則 平成31年度	才課

取組項目名	職員グル	ノープウェアの利活	5用の推進	隹					i部名 i課名	総務情報シス	務部 ステム課
									を有してい	いることか	ら、業
且概要	• 機能撐	操作の周知									
		平成27年度	•機能排	操作の習熟	腹向上、	利活用の)推進				
	前期	平成28年度	・機能搏	操作の習熟	度向上、	利活用の	推進				
5別取組内容		平成29年度	・機能排	操作の習熟	度向上、	利活用の	推進				
		平成30年度	・機能掛	操作の習熟	度向上、	利活用の	推進				
	後期	平成31年度	・機能排	操作の習熟	度向上、	利活用の	推進				
		平成32年度	・機能搏	操作の習熟	腹向上、	利活用の					
		目標指標名			単位	平成27年度			平成30年度		
	機能の周	別知と利活用の推進	<u> </u>	目標値 実績値 達成率	回	1	1	1	1	1	1
票指標				目標値	/0						
				達成率	%						
				実績値							
				辛苡※							
				上八十	%		ļ	担当	 郊 夕	財液	玄
取組項目名		見合った予算の編成 (株本)を提供した。				1 2 7 10	F/G A A /	担当	i部名 i課名	財務財政	
取組項目名	財政を 【主な取 ・予算編	込合った予算の編成 全健全に保つため歳 対組内容】 対組内容】 対解正予算の編成	えんに見る こうしゅう こうしゅう こうしゅう かいしょう かいしょう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅう	合った歳出	を基本と	こした予算	 編成を実	担当	i課名		
	財政を 【主な取 ・予算編	全健全に保つため歳 対組内容】 扇成方針の策定及ひ	表入に見る ド方針に基 ・予算編	合った歳出	で基本と			担当	i課名		
	財政を 【主な取 ・予算編	全健全に保つため歳 対組内容】 高成方針の策定及び 計正予算の編成	表入に見合ド方針に基・予算網・予算網・予算網	らった歳出 基づく予算 扁成方針の	記を基本 で この編成 ・策定及で で編成 ・策定及で	ド方針に基	よづく予算	担当民施している。	i課名		
且概要	財政を【主な取・予算編・適切な	を健全に保つため歳 知人容】 記成方針の策定及ひ 補正予算の編成 平成27年度	大に見合ボ方針に基・予適・予適切り・予適切り・予適切り・予算	合った歳出 基づく予算 扁成方針の は補正予算 扁成方針の	を基本で	ド方針に基 ド方針に基	をづく予算	担当に施している。この編成での編成での編成での編成での編成である。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	i課名		
	財政を【主な取・予算編・適切な	を健全に保つため歳 対組内容】 点成方針の策定及ひ 対補正予算の編成 平成27年度 平成28年度	大	合った歳出 基づく予算 扁成方針の 高成方子 扁成方子 扁成方針の 扁成方針の	を基本で 策編成 策編成 定編成 変にの 策定編成 で 策に 変に	ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基	なづく予算 なづく予算 なづく予算	担当 変施してい の編成 で編成	i課名		
且概要	財政を【主な取・予算編・適切な	上健全に保つため歳 対組内容】 扇成方針の策定及ひ は補正予算の編成 平成27年度 平成28年度 平成29年度	大	合った歳出 さづく予算 に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する	を基本成の策の策のでは、及びでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基	もづく予算 もづく予算 もづく予算	重の編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成である。	i課名		
且概要	財政を 【主な耶 ・予算編 ・適切な	上健全に保つため歳 対組内容】 高成方針の策定及ひ 本補正予算の編成 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	大方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	うった歳出 されている これでは、 にれでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	を基本成の策の策の策の策のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基	kづく予算 kづく予算 kづく予算 kづく予算	担当を施している。この編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成で	i課名	財政	女課
且概要	財政を 【主な耶 ・予算編 ・適切な	上健全に保つため歳 対組内容】 高成方針の策定及ひ 高成方針の第定及ひ 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	大方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こった 歳 に ここここここここここここここここここここここここここここここここここ	を基本成の策の策の策の策のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基	をづく予算 をづく予算 をづく予算	担当に応している。この編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成で	課名いく。	後 期	女課
且概要	財政を取る。日本のでは、	全健全に保つため 放組内容 加組内容 記成方針の策定及 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	大方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	さった歳出 さった歳出 さった。 まって、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	を基本成の策の策の策の策の策の策の策のででででである。	ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基	まづく予算 まづく予算 まづく予算 まづく予算 まづく予算	担当に応している。この編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成で	課名いく。	後 期	女課
且概要	財政を取る。日本のでは、	世全に保つため は組内容】 は組内容】 は成方針の策定及び 神正予算の編成 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	大方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	こった まった 高な 成補 成補 成補 成補 成補 成補 成 一	を基本 成 策の	ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基	まづく予算 まづく予算 まづく予算 まづく予算 まづく予算	担当に応している。この編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成で	課名いく。	後 期	女課
度別取組内容	財政を取る。日本のでは、	世全に保つため は組内容】 は組内容】 は成方針の策定及び 神正予算の編成 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	大方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	った ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここ	を基本 成 策の	ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基 ド方針に基	まづく予算 まづく予算 まづく予算 まづく予算 まづく予算	担当に応している。この編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成での編成で	課名いく。	後 期	女課
	別取組内容	職員 務の 【主 な 取 ・機 ・利 活 用 前 期 後期 機能 の 居	職員グループウェアにつ 務の高度化・効率化のため 【主な取組内容】 ・機能操作の周知 ・利活用の推進 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 目標指標名 機能の周知と利活用の推進	職員グループウェアについて、通務の高度化・効率化のためシステン 【主な取組内容】 ・機能操作の周知・利活用の推進 平成27年度 ・機能排 平成29年度 ・機能排 平成30年度 ・機能排 平成31年度 ・機能排 平成32年度 ・機能排 平成32年度 ・機能排 平成32年度 ・機能排 平成32年度 ・機能排 平成32年度 ・機能排 で成32年度 ・機能がある にない	職員グループウェアについて、通常使用さ 務の高度化・効率化のためシステムの十分な 「主な取組内容」	職員グループウェアについて、通常使用されている 務の高度化・効率化のためシステムの十分な利活用が 【主な取組内容】 ・機能操作の周知 ・利活用の推進	職員グループウェアについて、通常使用されている機能以外務の高度化・効率化のためシステムの十分な利活用がなされる 【主な取組内容】 ・機能操作の周知 ・利活用の推進	職員グループウェアについて、通常使用されている機能以外にも有多 務の高度化・効率化のためシステムの十分な利活用がなされるよう推進 「主な取組内容」 ・機能操作の周知 ・利活用の推進 平成27年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成29年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成30年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成31年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成31年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成32年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成32年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成32年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 単位 前 類 平成27年度 平成28年度 平成28年度 機能の周知と利活用の推進 目標値 実績値 上、種位 国標値 実績値 実績値 実績値 実績値	職員グループウェアについて、通常使用されている機能以外にも有効な機能を務め高度化・効率化のためシステムの十分な利活用がなされるよう推進を図る。 主な取組内容	報告 担当課名 担当課名 接続操作の高度化・効率化のためシステムの十分な利活用がなされるよう推進を図る。	職員グループウェアについて、通常使用されている機能以外にも有効な機能を有していることが 務の高度化・効率化のためシステムの十分な利活用がなされるよう推進を図る。 【主な取組内容】 ・機能操作の周知 ・利活用の推進 平成27年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成29年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成30年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成30年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成31年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成32年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 平成32年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 東級32年度 ・機能操作の習熟度向上、利活用の推進 東級60 期

9	取組項目名	地方債発	終行の抑制						担当			务部
			財政負担を軽減す	トるため.	財政措置	が生じる	るような地	也方債を発		課名	財政	文課
(1)取約	组概要	【主な取	双組内容】 建設地方債発行額 <i>0</i>				3.37		•	. 3		
			平成27年度	• 新規建	建設地方債	養行額 ∅)上限設定	<u> </u>				
		前期	平成28年度	・新規建	建設地方債	〔発行額 <i>□</i>)上限設定	₹				
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・新規建	建設地方債	₹発行額 <i>0</i>)上限設定	Ē				
(=) 12	2,337,00,111,111		平成30年度	・新規建	建設地方債	〔発行額 <i>0</i>)上限設定	₹				
		後期	平成31年度	・新規建	建設地方債	₹発行額 <i>0</i>)上限設定	₹				
			平成32年度	・新規建	■設地方債	₹発行額 <i>0</i>	上限設定		1		/d/ ++0	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期 平成28年度	平成29年度	平成30年度	後 期 平成31年度	
		新規地力	i債発行額の上限認	设定	目標値 実績値 達成率	- %	実施	実施	実施	実施	実施	実施
(3) 目核	票指標	実質公債 (3ヵ年	賃費比率 平均:実績値のみ)	目標値 実績値 達成率	%	_	_	_	_	_	_
					目標値	70						
						0/0						
10	取如西口 友	↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	の日本)化剤」)	・サベノゼ	達成率	% - A の答言	-		担当	部名	財務	务部
10	取組項目名		の見直し指針」に		達成率 通正な補助]金の算定		* * ~ * * * * * * * * * * * * * * * * *	担当	課名	財政	汝課
10 (1) 取約		補助金 助金の見 【主な取 ・予算編	©の見直し指針」に ©の適正化を図るだ L直し指針」に基で 双組内容】 高成方針における ©が発生しているE	こめ、繰越 づく補助金 「補助金の	達成率 通正な補助 成金が生じ をの算定を つ見直し指	□金の算気 こている医 ☆適正に行	団体・事業 テう。		担当	課名	財政	汝課
		補助金 助金の見 【主な取 ・予算編	の適正化を図るだれます。 記し指針」に基づ な組内容】 記成方針における	ため、繰起 づく補助金 「補助金の補 団体等の補 ・予算編	達成率 遺正な補助 域金が生じ 会の算定を り見直し指 前助金交付 属成方針に	コ金の算定 こているE に適正に行 f針」の まかける	団体・事業 テう。	E)見直し指	担当期金交付の金を付ける。	課名 額の見直	財政	汝課
		補助金 助金の見 【主な取 ・予算編	念の適正化を図るだ L直し指針」に基立 X組内容】 扇成方針における 診が発生しているE	ため、繰越 がく補助金の がは がは がは がいるが がいるが ・発越 ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・予算を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達成率 道正な補助 成金が算定を う見由金 う見かか 高成が発生し 高成が発生し 高成方針に	可金の算定 でいるE で適正に存 が動力の精査 におけるるE における	団体・事業 すう。 司知・徹底 「補助金 <i>の</i>	E)見直し指 前助金交付)見直し指	担当 前助金交付 后針」の居 合針」の居 合針」の居	課名 け額の見直 引知・徹庭	財政 Eしを行う	汝課
(1) 取翁	组概要	補助金の見ている。	をの適正化を図るだ 直し指針」に基っ 収組内容】 扇成方針における 診発生しているE 平成27年度	ため、 繰起さ 「補助金の補 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達成率 が建立ながった。 をの算したがのであるが、成が発生した。 はながりますが、成が発生が、成が発生が、成が発生が、成が発生が、成が発生が、成が発生が、は、のでは、いいは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、いいは、は、のでは、ので	団金の算分ででは、 でででは、 でででは、 でででは、 では、 では、 では、 では、 で	団体・事業 引知・徹底 「補助金の補 「補助金の補	受見直し指 対力を 対力を が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま が対しま ががいま がいま がいま がいま がいま がいま がいま が	担当 ま計の金交付 ま計の特査 ままりの精査 には、これを表現している。	課名 け額の見直 引知・徹底	財政 こしを行う	汝課
(1) 取翁		補助金の見ている。	②の適正化を図るだ ②直し指針」に基づ 図組内容】 扇成方針における ②が発生しているE 平成27年度 平成28年度	たがくがくがくがくがくがくがくがくがくがくがくがくがくがくがくがくがりませいがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがり<l>がりがりがりがりがりがり<l< td=""><td>達成率 ・ 選成を ・ 選成を ・ 選載を ・ 、 選載を ・ 、 、 ・ 、 ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>立金の算気 で適かないではない。 でではないではないできます。 ではないでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも</td><td>田体・事業 司知・徹底 同知・徹底 「補助等の補 「補助等の補 「補助の有 「補助金の補</td><td>気見直を交りり見のをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりを</td><td>担当相当を交付を対している。またのは、またのは、またのは、またのは、またのは、またのは、またのは、またのは、</td><td>課名 計額の見直 引知・徹底 引知・徹底</td><td>財政 ELしを行う</td><td>汝課</td></l<></l>	達成率 ・ 選成を ・ 選成を ・ 選載を ・ 、 選載を ・ 、 、 ・ 、 ・ 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	立金の算気 で適かないではない。 でではないではないできます。 ではないでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	田体・事業 司知・徹底 同知・徹底 「補助等の補 「補助等の補 「補助の有 「補助金の補	気見直を交りり見のをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりをりまりを	担当相当を交付を対している。またのは、またのは、またのは、またのは、またのは、またのは、またのは、またのは、	課名 計額の見直 引知・徹底 引知・徹底	財政 ELしを行う	汝課
(1) 取翁	组概要	補助金の見ている。	②の適正化を図るだ 型直し指針」に基立 図組内容】 記成方針における ごが発生しているE 平成27年度 平成28年度 平成29年度	たがく 補体 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達成 本	コ金 て適 針か おて おて おて おす おす ある るる	田体・事業 目体・事業 目知・ 御屋 日本 一番 のの 金の イー	見期見事見事したしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしたしましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましましまし	担当相助金交付のおります。 「おります」のおります。	課名 対額の見直 対知・徹底 対知・徹底	財政 正しを行う E	汝課
(1) 取翁	组概要	補助金の見ている。	をの適正化を図るだ 型面し指針」に基立 型組内容】 記成方針における ごが発生しているE 平成27年度 平成28年度 平成29年度	たう(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)<	連	立金 で	田体う。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は、 ・見動・ ・見動・ ・見動・ ・見動・ ・見動・ ・見動・ ・見動・ ・見動	担当を存在を持ちます。 ままずのを表する。	課名 対額の見直 対知・徹底 利知・徹底 利知・徹底	財政 正しを行う E	汝課 (5)等「補
(1) 取翁	组概要	補助金の見ている。	での適正化を図るだけます。 対理内容】 は成方針における が発生している 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	たう(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)(対)<	連	立金 で	田(す) ま	受けりには、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、<!--</td--><td>担当を存在を持ちます。 ままずのを表する。 ままずのを表する。</td><td>課名 計額の見直 引知・徹底 引知・徹底 引知・徹底</td><td>財 取 取 取 で 行 う に に に に に に に に に に に に に</td><td>汝課 (5) 等「補</td>	担当を存在を持ちます。 ままずのを表する。	課名 計額の見直 引知・徹底 引知・徹底 引知・徹底	財 取 取 取 で 行 う に に に に に に に に に に に に に	汝課 (5) 等「補
(1) 取翁	组概要	捕助金見取締金を見ります。	をの適正化を図るだ 型面し指針」に基本 型組内容】 扇成方針における 平成27年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	たが	達成 では、	金 て適 針の おて	田(す) ま	受けりによりでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	担当相助金交付を対している。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	課名 計額の見直 引知・徹底 引知・徹底 引知・徹底	財政を行う	汝課 (5) 等「補
(1) 取翁	度別取組内容	補助金見 電子線 前期 後期 「補助金別」 「神助金別」 「神助金別」 「神助金別」 「神助の金別が、「神助の金別が、「神物の金別が、「神神のない」」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」」「神神のない」「神神のない」「神神のない」」「神神神のない」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」」「神神のない」」「神のないない。」「神のないない」」「神のないない。」「神のないないないない。」「神のないないないないないない。」「神ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	での適正化を図るだ ではします」に基本 ではいる にはおりている における でが発生している で成27年度 で成28年度 で成29年度 で成30年度 で成31年度 で成32年度 で成32年度	たづく補体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	連	金 て	田 () () () () () () () () () (見期 見助 見動 見む 直を 直を 直を 直を 直を しを しを した <li< td=""><td>担当 担当 を</td><td>課名 計額の見正 引知・徹底 引知・徹底 引知・徹底 平成30年度 1</td><td>財政 正しを行う W</td><td>汝課 (5) 等「補</td></li<>	担当 担当 を	課名 計額の見正 引知・徹底 引知・徹底 引知・徹底 平成30年度 1	財政 正しを行う W	汝課 (5) 等「補
(1) 取給	度別取組内容	補助金見 電子線 前期 後期 「補助金別」 「神助金別」 「神助金別」 「神助金別」 「神助の金別が、「神助の金別が、「神物の金別が、「神神のない」」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」「神神のない」」「神神のない」「神神のない」「神神のない」」「神神神のない」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」「神神のない」」」「神神のない」」「神のないない。」「神のないない」」「神のないない。」「神のないないないない。」「神のないないないないないない。」「神ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	での適正化を図るだ。 では上面し指針」に基本 を図画正化を図るだ。 を図画に上述された団体及 組内容】 記が発生している医 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	たづく補体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	達	金 で で で で で で で で で	田(す) ま	受けりによりでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	担当相助金交付を対している。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	課名 計額の見直 引知・徹底 引知・徹底 引知・徹底	財 取 取 取 で 行 う に に に に に に に に に に に に に	汝課 (5) 等「補

11	取組項目名	第三セク	クター等の点検・評	平価・情幸	服公開の実	施			担当担当		財務 行政経	
			アクターの適正な過 に関する指針」に基									
(1)取約	组概要	【主な取	対組内容】 2クターに関する指									
			平成27年度	・第三t	 アクターに	.関する打	旨針」に基	基づく点検	· 評価·	情報公開	昇を実施	
		前期	平成28年度	・第三t	 2クターに	 関する排		基づく点検		情報公開	— — 昇を実施	
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・第三せ	ビ クターに	関する打	旨針」に基	基づく点検	・評価・	情報公開	骨を実施	
			平成30年度	・第三さ	ァ クターに	関する打	旨針」に基	基づく点検	· 評価·	情報公開	を実施	
		後期	平成31年度	・第三さ	- 2クターに	関する打	旨針」に基	基づく点検	・評価・	情報公開		
			平成32年度	・第三さ	ア クターに	関する打	旨針」に基	基づく点検		情報公開	昇を実施	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期 平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	平成32年度
		経営状況	この点検・評価のま	 	目標値 実績値 達成率	回 %	1	1	1	1	1	1
(3) 目核	票指標	経営状況	記に関する情報公開		目標値 実績値	□	1	1	1	1	1	1
					達成率 目標値 実績値	%						
											•	
					達成率	%						
12	取組項目名		Tの見直しの検討		達成率				担当担当	課名	財務	圣営課
12 (1) 取糸		行政活 政評価の 【主な取	所の見直しの検討 所動に関する適正な り見直しを進める。 対組内容】 呼価の見直しに関す		達成率		更なことが	から、主要	担当	課名	行政組	圣営課
		行政活 政評価の 【主な取	活動に関する適正な の見直しを進める。 対組内容】	る検討	達成率	築が必要		から、主要	担当	課名	行政組	圣営課
		行政活 政評価の 【主な取	活動に関する適正な り見直しを進める。 対組内容】 評価の見直しに関す	・行政言	達成率	「築が必要 しに関す	ナる検討	から、主要	担当	課名	行政組	圣営課
(1) 取翁		行政活政評価の 【主な取 ・行政部	所動に関する適正な)見直しを進める。 対組内容】 対組内容】 呼価の見直しに関す 平成27年度	・行政i ・行政i	達成率 出組みの構	(集が必要) した関う した関う	ける検討	から、主要	担当	課名	行政組	圣営課
(1) 取翁	组概要	行政活政評価の 【主な取 ・行政部	后動に関する適正な)見直しを進める。 対組内容】 呼価の見直しに関す 平成27年度 平成28年度	・ ・ ・ 行政 ・ ・ 行政 ・ ・ 行政 ・ ・ 行政 ・ ・ に ・ に ・ に に ・ に に に に に に に に に に に に に	達成率 上組みの構 平価の見直	集が必要 しに関す しに関す	ける検討ける検討	から、主要	担当	課名	行政組	圣営課
(1) 取翁	组概要	行政活政評価の 【主な取 ・行政部	后動に関する適正な)見直しを進める。 対組内容】 平価の見直しに関す 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・ ・ ・ ・ ・ ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で で ・ で で ・ で で で で で で で で で で で で で	達成率 上組みの構 平価の見直 平価の見直	集が必要した関す した関す した関す	ける検討 ける検討 ける検討	から、主要	担当	課名	行政組	圣営課
(1) 取翁	组概要	行政活政に対している。	后動に関する適正な う見直しを進める。 対組内容】 平価の見直しに関す 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	・行政計・行政計・行政計	達成率 上組みの構 平価の見直 平価の見直 平価の見直	集が必要した関す した関す した関す	する検討する検討する検討する検討する検討		担当な施策の	課名	行政経	経営課 なめた行
(1) 取翁	组概要	行政活政に対している。	后動に関する適正な う見直しを進める。 対組内容】 平価の見直しに関す 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	・行政計・行政計・行政計	達成率 土組みの構 平価の見直 平価の見直 平価の見直 平価の見直 平価の見直	集が必要した関す した関す した関す	ける検討 ける検討 ける検討 ける検討 ^{平成27年度}	前 期	担当 「な施策の 平成29年度	課名の成果のま	行政系 うり方を含 平成31年度	至営課 分かた行
(2)年月	度別取組内容	行政に対している。	所動に関する適正な う見直しを進める。 対組内容】 平価の見直しに関す 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	・ 行 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	達成率 上組みの	築が必要 しに関す しに関す しに関す しに関す	ける検討ける検討ける検討ける検討	前期	担当な施策の	課名の成果のお	後期後	経営課 なめた行
(1) 取翁	度別取組内容	行政に対している。	 計画に関する適正な。 対組内容】 平価の見直しに関す 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 	・ 行 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	達成率 上組みのの構 上組みのの見 見 見 見 見 慢積成標積 標積成標積値 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車 車	集が必要 しに関す しに関す しに関す しに関す 単位 ー %	ける検討 ける検討 ける検討 ける検討 ^{平成27年度}	前 期	担当 「な施策の 平成29年度	課名の成果のま	行政系 うり方を含 平成31年度	至営課 分かた行
(2)年月	度別取組内容	行政に対している。	 計画に関する適正な。 対組内容】 平価の見直しに関す 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 	・ 行 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	達成率 上組みのの構 上組みのの見 見 見 見 見 慢値値率 目実達規標 目 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直 直	集が必要 しに関す しに関す しに関す しに関す しに関す	ける検討 ける検討 ける検討 ける検討 ^{平成27年度}	前 期	担当 「な施策の 平成29年度	課名の成果のま	行政系 うり方を含 平成31年度	至営課 分かた行

13	取組項目名	防災集団]移転促進事業に』	こり取得し	した土地の	適正な	管理・活月	用の検討	担当担当		復興 明地管	
(1)取組	L概要	の検討や、【主な災気・被災気	大震災により被災 ○利用する予定のな 管理経費の縮減、 対組内容】 こ地の今後の利用 に地の売払いや貸付	ない土地の 適正な 計画の策算 け方針等の	の売払いや 管理を実施 官	貸付け	の手法等に	こついて村	倹討を行		今後の利	用方法
		•	E地の売払処分及で ア成27年度	被災力被災力	元地の今後 元地の売払 元地の売払	いや貸付	寸方針等ℓ					
		前期	平成28年度	•被災元	元地の売払	処分及で	び貸付け					
(9) 年 由	別取組内容		平成29年度	• 被災元	元地の売払	処分及で	び貸付け					
(2)年及	別取組內容		平成30年度	•被災元	元地の売払	処分及で	び貸付け					
		後期	平成31年度	•被災元	元地の売払	処分及で	び貸付け					
			平成32年度	•被災元	元地の売払	処分及で	び貸付け					
			目標指標名	•		単位		前期平成28年度			後期	
					目標値	_	実施	十成20十及	十八29十尺	千成30千及	十成31十及	十八32十尺
		被災元地	也の今後の利用計画	可の策定	実績値	%						
					目標値	-	実施					
(3)目標	指標	被災元地	の売払いや貸付方針	等の決定	実績値	%						
		被災元世	 也の売払い処分及で	ĸ	目標値	千円	_	_	_	_	_	_
			を額(実績値のみ)	,	実績値	%	_	_	_	_	_	_
		被災元世	<u></u> 也の売払い処分及び	ĸ	目標値	ha	_	_	_			_
			i積(実績値のみ)	,.	実績値	%	_	_			_	
					建成平	/0			担当	立7万万	復興事	
14	取組項目名	防災集団]移転促進事業に」	こり整備し	した宅地の	適正な	管理		担当担当			# 乗 印 管 理 課
(1)取組	上概要	整備後の 【主な取	本大震災により被災 の円滑な提供等の通 対組内容】 E地の円滑な提供等	適正な管理	里を行う。	二、防災	集団移転の	足進事業は	こより整合	備される [。]	を地につ!	く、
			平成27年度	・整備宅	三地の円滑	な提供	等の適正な	2管理				
		前期	平成28年度	• 徴収業	美務委託の	検討						
(2)年度	別取組内容		平成29年度	・収納管	ぎ理システ	ムの適	刃な運用・	検討				
(2) 1/2	(2) 1-2/2/12 1-1-1		平成30年度	• 収納管	管理システ	ムの適	刃な運用・	・検討				
		後期	平成31年度	• 収納管	管理システ	ムの適	刃な運用・	検討				
			平成32年度	収納管	管理システ	ムの適	切な運用・					
			目標指標名			単位		前期平成28年度			後期 平成31年度	
								1				
		整備宅地	の円滑な提供等の適	正な管理	目標値 実績値 達成率	- %	実施					
(3)目標	括標		の円滑な提供等の適	正な管理		- %	美施	実施				

15	取組項目名	市民課窓	ボロ業務の民間委託	モの検討					担当担当	部名		環境部 民課
(1)取約	且概要	【主な取 ・委託カ	と窓口業務の効率化 対組内容】 が可能な業務の検言 にい実施		こめ、業務	多の一部は	こついて、	民間委託				-Quin
			平成27年度	業務委	ぎ託可能な	事務の相	食 討					
		前期	平成28年度	• 委託か	ぶ可能な業	務の検討	寸					
(9) 年 日	度別取組内容		平成29年度	・民間委	奈託の課題	[等の現場	犬調査及び	が委託可能	とな業務の	の検討		
(2) 4/3	文 为 1 以 州 1 个 1 个 1		平成30年度	・委託業	美者選定							
		後期	平成31年度	・委託契 ・窓口業	契約 美務の一部	民間委訂	モの実施					
			平成32年度	・窓口業	美務の一部	民間委訂	モの実施					
			目標指標名			単位				平成30年度	後 期 平成31年度	平成32年度
		業務委託	可能な事務の検討		目標値 実績値	_	実施	実施		実施	実施	実施
(3)目標	票指標	民間委託	業務数		達成率 目標値 実績値	%				0	5	5
		正職員数	の削減		達成率 目標値 実績値 達成率	<u>%</u> 人 %				0	2	3
		非正規職	員数の削減		程成率 目標値 実績値 達成率	<u>%</u> 人 %				0	18	0
16	取組項目名	人間に、	ク及び脳ドック	写業のなり		•			担当	部名	健原	東部
10	₩₩·只日·1	特定領	き診やがん検診等名	§ 香検診∅	り総合検診	化によ			利用する		便性が向	年金課 上する
(1)取約	且概要	【主な取 ・一部地 ・総合領	、これまで実施し 双組内容】 地域で実施している 書診の全市への拡大 、ック及び脳ドック	る総合検診 に向けた	参の導入参 こ各健診団	カ果等に]体との	関する状況 熟議、調整	兄調査と 整		て検討を	行う。	
			平成27年度		地域で実施 建診の全市							検証
		前期	平成28年度		建診の全市 ドック及び	***						
(2)年月	度別取組内容		平成29年度		区の総合領ツク事業の						合健診を	実施
(2) 2	C/3-14/VIIII 1-11		平成30年度									
		後期	平成31年度									
			平成32年度									
			目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度	平成29年度	平成30年度	後 期 平成31年度	平成32年度
		総合検診 況調査と	の導入効果等に 検証	関する状	目標値 実績値 達成率	- %	実施		実施			
(3) 目材	票指標		・ク及び脳ドック いての検討、方針		目標値実績値達成率	- %		実施	実施			
			・ク及び脳ドックの 『の増加(前年比)	保健指	目標値 実績値 達成率	%	40	50	60			

17	斯如 酒日夕	サ 今 行 か	上協議会への委託業	5数比索每	か東亜				担当	部名	福祉	止部
17	取租·垻目行									課名		総務課
			音祉協議会への新た こし、委託業務や選				きれること	:から、同	別協議会と	この関わり	について	検討す
(1)取約	组概要	・委託業	双組内容】 終務及び運営費補助 1括ケアシステム権			検討						
			平成27年度	• 委託業	美務及び運	営費補助	か金の整理	1				
		前期	平成28年度	・地域包	且括ケアシ	⁄ステム棒	構築におけ	る役割の	検討			
(9) 左 F	在 则历知内宏		平成29年度	・地域包	1括ケアシ	⁄ステム棒	構築におけ	る役割の)検討			
(2)年)	度別取組内容		平成30年度		が おおお おお おお おお お お お お り り り り り り り り り							
		後期	平成31年度		が おおお おお おお おお お お お お り た り り り り り り り							
			平成32年度		が おおき おおき おおき おおき おおき おいます かれる はいます のれる はいます にいます のれる はいます にいま にいます にいま にいます にいます にいま にいま にいま にいま にいま にいま にいま にいま							
			目標指標名	•		単位		前期	/	平成30年度	後 期 平成31年度	
					目標値		実施	実施	平成29年度	実施	実施	実施
		委託事業	美の整理 アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アン・アン アン・アン・ アン・アン・ アン・アン・ アン・アン・ アン・アン・ アン・アン・ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア		実績値	%						
(3)目標	票指標	運営費補	前助金の整理		目標値 実績値 達成率	- %	実施	実施		実施	実施	実施
		나나 누는 는 남	こんマンコニ)排放		目標値	/0		実施				
		地域包括 る役割の	5ケアシステム構領 0検討	色におけ	実績値	0/2						
				終におけ 		<u>-</u> %			担出	立区夕	垣士	1. 並(
18	取組項目名	る役割の			実績値達成率	<u> </u>				部名		业部 総務課
18	取組項目名	生きがい介護保	対応デイサービス 関の非適用者に対	ス事業の見	実績値 達成率 L直し Eきがい対		ナービス」	について	担当	課名	福祉絲	総務課
18 (1) 取約		を担めて、 生きがい 介実施 【主な護係 ・介護係)検討 	ス事業の見 対する「生 見直しを図 る状況把握	実績値 達成率 見直し きがい対 る。 を対応方	r 広デイサ が法の検診	- 	について	担当	課名	福祉絲	総務課
		を担めて、 生きがい 介実施 【主な護係 ・介護係	の検討 対応デイサービス 関係の非適用者に対 関係の非適所、回数等の 取組内容 関係制度改正に係る	マ事業の見 対する「生 見直しを図 5 状況中超 で ・ 介護係	実績値 達成率 見直し きがい対 る。 を対応方	対応デイサ が法の検診 が針の決定 で正に係る	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	と対応力	担当 こ、介護係 が法の検討	課名 R條制度 <i>0</i>	福祉絲	総務課
		を担めて、 生きがい 介実施 【主な護係 ・介護係	か検討 対応デイサービン は険の非適用者に対 を箇所、回数等の な組内容 はい対応デイサーと にい対応デイサーと	本事業の見 すするしを が するし、 記述 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値 達成率 直し これが対 である。 これが対 になった方 に対 になった方 に対 になった方 に対 になった方 になった方 には、	r 法の検言 針の決定 で正に係る イサービ で正に係る	寸 三 5 状況把握 ごス内容の 5 状況把握	量と対応力 検討と力 量と対応力	担当 、介護係 可法の検言 可針の決定 可法の検言	課名 R険制度の 対 ご	福祉絲	総務課
(1) 取希	组概要	を	の検討 対応デイサービス は険の非適用者に対 を適所、回数等の な組内容 と検制度改正に係る い対応デイサート 平成27年度	本事業の すす直し 状ス内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績値を達成率と直しがい対している。と対対との対したがいた方と対対との対対との対対との対対との対対との対対との対対との対対との対対との対対	r 法の検討 が 正に係る で て て て て て て て に く に く に く て く て く て く て	対 5 状況把握 ごス内容の 5 状況把握 ごス内容の 5 状況把握 が 5 が、 5 が、 5 が、 7 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	を対応方 検討と力 を対応方 検討と力 を対応方	担当 元、介護係 元法の検示 元法の検示 元法の検示 元法の検示 元法の検示 元子の 元子の 元子の 元子の 元子の 元子の 元子の 元子の	課名 保険制度の	福祉絲	総務課
(1) 取希		を	の検討 対応デイサービス は の非適用者に対 は 面箇所、回数等の な 組内容 は の対応デイサーと で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	事業 るし 沢内 介生 介生 が生 で 接き 護き で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	実績値率と直しがいる。と対対した。と対対したのでは、対対は、対対には、対対には、対対には、対対には、対対には、対対には、対対に	が が が が が が が が で に に に に に に に に に に に に に	対定 が状況把握 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	と対応力 検討と対応力 検討と対応力 検討と対応力 と対応力	担当 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	課名 R険制度 の けご けご	福祉絲	総務課
(1) 取希	组概要	を	の検討 対応デイサービス は険の非適用者に対 な組内容 は決しては、 はい対応デイサーと 平成27年度 平成28年度 平成29年度	事 す 1	実績値率 上直をある。 と対対制度応度が、 はいいが、 はいいが、 と対対制度が、 はいいが、 はいがいが、 はいがいが、 はいいが、 はいいがはいが、 はいいがはいがいが、 はいいがはいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	ボディザ が法の検示 が子が、 でイナにナーにナーにナーにイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でイーに、 でいる。 でい。 でいる。 でい	対定 が状況把握の が 状況内容の が 状況 把握の が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	を対応された。 を対応と対応と対応と対応と対応と対応と対応と対応と対応と対応と対対に応えまた。 を対し対対による対応と対対による。 を対し対対による。	担当(の) (担当) (担当) (担当) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	課名 R険制度 <i>の</i>	福祉絲	総務課
(1) 取希	组概要	る役割の 生き介、 実な護き で、 主介と ・・生 前期	の検討 対応デイサービス は の 非適用者に対 は の 数等の を は の 数等の を は い 対応 ディサー は で な 27年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	事 す直 状ス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実達値を対した。 対対 しまる とと とない はない はない はない はない はない はない はない はない はない は	応デイサー 「法のの決定」 「正子 に	対と が状況把握の がズス内容の がズス内容の がズス内容の がズス内容の がズス内容の がズス内容の がズス内容の がズス内容の がズストストをである。 がズストである。 がズストである。 がズストである。 がズストである。 がズストである。 がズストである。 が、ストでなる。 が、ストである。 が、ストでなる。 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	を対応された方式を対応と対応と対応と がまる がまる かまり かまり かまり がまり かまり かまり かまり かまり かまり かまり かまり かまり かまり か	担当の介護の行法のの検決を表示がある。一方はのの検決を表示がある。一方が表のの検決を表示がある。一方が表のを表示がある。	課名 R険制度 <i>の</i>	福祉絲	総務課
(1) 取希	组概要	る役割の 生き介、 実な護き で、 主介と ・・生 前期	の検討 対応デイサービス は	事 す直 状ス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実達直さる。と検験い験い験が験が機がした。 対対 制対 制対 制対 制対 制対 関応 度応 の で 改デ	応デイサー 「法のの決定」 「正子 に	対に対し、大いのでは、は、いいのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を 対応 対応 対応 対応 対対 対対 対対 対対 対対 対対	担護係 介護係 かき	課名 R険制度 の サビー サビー サビー サビー サビー サビー サビー サビー	後期	念務課 なまえ
(1) 取希	组概要	会と で (まか) を (まか) を	対応デイサービス 保険の非適用者に対 を関係の非適用者に対 を関係が対応でイナーに では、対応でイナーに では、27年度 では、27年	事 す直 状ス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実達 直 きる と検 険い 険い 険い 機い 機い 機い 機が	応	対に対し、大いのでは、は、いいのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、大いのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を 対応 対応 対応 対応 対対 対対 対対 対対 対対 対対	担護係 介護係 かき	課名 R険制度 <i>の</i>	後期	念務課 なまえ
(1) 取希	度別取組内容	を 生 で 生 か で で ま 介、 主 介、 主 介、 主 介・生 前 期 後 数 の の の の の の の の の の の の の	対応デイサービス 保険の非 画用者に対 経験の非 画数等の 経験の所を	本 す	実達 直 きる と検 険い 大学 種種成値率 対 は 一 大き	広	対 対 ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	を検した。大きない。 を検した。 を使した。	担当係 対法のの 検決 検決 大子針の が法のの が法のの が決めた。 ではいる では、 ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる では、 ではいる では、 ではいる ではいる では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	課名	福祉系)改正を路 平成31年度 実施	総務課当まえ平成32年度実施
(1)取組(2)年度	度別取組内容	を 生 で 【・・ を 介、 主介生 前 期 後 横	対応デイサービス 保険の非適用者に対 を関係の非適用者に対 を関係が対応でイナーに では、対応でイナーに では、27年度 では、27年	本 す	実達 直 きる と検 険い 険い 険い 険い 険い 険い 険い 大郎 国実達目実績成 し が。 対討 制対	応デイサー 「法のの 「法の にサー にサー にサー にサー にサー にサー にサー にサー はー がー にサー	対記が状況把握の が大人内容の が大人内容の がであれて、 がであるが、 がでするが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 ができるが、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が	を 対応 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大力	担護係 (課名 R険制度 の サミー サミー サミー サミー サミー サミー サミー サミー	福祉系)改正を路 平成31年度	総務課 当まえ 平成32年度
(1) 取組(2) 年月	度別取組内容	を 生 で 【・・ を 介、 主介生 前 期 後 横	対応デイサービス 保険の非 回数等の 別組内制度でディサービス 経験の所、回数等の 別組内制度でディナー に 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	本 す	実達 直 きる と検 険い 大学 目実達目値率 めん 一度応 度応 度	応	対 対 ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	を検した。大きない。 を検した。 を使した。	担当係 対法のの 検決 検決 大子針の が法のの が法のの が決めた。 ではいる では、 ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる では、 ではいる では、 ではいる ではいる では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	課名	福祉系)改正を路 平成31年度 実施	総務課当まえ平成32年度実施

19	取組項目名	身体・知	コ的障害者相談員 <i>の</i>	見直し					担当担当			业部 畐祉課
(1) III-	a tures	務委託や	知的障害者への相 申相談支援の中核的 委嘱により設置し	Jな役割を	と担う基幹	相談支持	受センター	-が設置さ	いる障害	序者相談 オ 状況を踏	て援事業所	fへの業
(1)取約	出		双組内容】 知的障害者相談員	について	て見直しに	係る検討	付と見直し	ン内容の実	E施			
			平成27年度	・身体・	知的障害	者相談員	員について	て見直しに	係る検討	けと見直し	/内容の実	季施
		前期	平成28年度		知的障害							
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・次期相 害者団体	目談員は、 なに推薦を	名誉職的 依頼し、	的立場とな 相談員の	よっている)新陳代謝	前例を路	襲するこ	ことはせず	*、各障
			平成30年度	・相談員	員に相談員	業務の理	見状につい	て協議				
		後期	平成31年度	• 相談員	員と各障害	者団体に	二対し、村	目談員の今	後のあり	方につい	で実施。	
			平成32年度								<i>,,</i> ,	
			目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度		平成30年度	後期 平成31年度	
			的障害者相談員に		目標値	_	実施	実施	実施	実施	実施	
		見直しに 実施	任る検討と見直し	/円谷の	実績値 達成率	%						
(3) 目相	票指標				目標値	•						
					実績値 達成率	%						
					目標値 実績値							
		I			2 N/25 III					1	1	
		<u> </u>			達成率	%		<u> </u>	<u> </u>			
20	取組項目名		S灯へのLED灯の導						担当担当	課名	建設	
20 (1) 取絹		道路に	が が が が が が が が が が が が が が	トの縮洞			ED灯型街	「路灯への	担当	課名		
		道路に	孫る維持管理コス 双組内容】	、トの縮減 計		Ø, LI			担当)交換を図	課名		
		道路に	係る維持管理コス (組内容】) 灯型街路灯の設置	、トの縮減 ・ LEI	載を図るた	め、LI 灯の設置	_{】、総合言}	十画への位	担当)交換を図 ご置づけ	課名		
(1) 取消		道路に 【主な耶 ・LED	係る維持管理コス 2組内容】 対型街路灯の設置 平成27年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	成を図るた の大型街路	め、LI 灯の設量 LED#	量、総合言 丁型街路火	十画への位 丁への交換	担当)交換を図 ご置づけ	課名		
(1) 取消	组概要	道路に 【主な耶 ・LED	係る維持管理コス 組内容】 灯型街路灯の設置 平成27年度 平成28年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	対を図るた ○灯型街路 ↑画による	め、LE 灯の設置 LED# LED#	量、総合言 「型街路火 「型街路火	十画への位 丁への交換 丁への交換	担当)交換を図 ご置づけ i.	課名		
(1) 取消	组概要	道路に 【主な耶 ・LED	係る維持管理コス 組内容】 灯型街路灯の設置 平成27年度 平成28年度 平成29年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	成を図るた) 灯型街路 十画による	め、LE 灯の設置 LED# LED#	量、総合言 「型街路火 「型街路火	十画への位 丁への交換 丁への交換	担当)交換を図 ご置づけ i.	課名		
(1) 取消	组概要	道路に【主な耶・LED	係る維持管理コス 組内容】 灯型街路灯の設置 平成27年度 平成28年度 平成29年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	成を図るた) 灯型街路 十画による	め、LE 灯の設置 LED# LED#	量、総合言 「型街路火 「型街路火	+画への位	担当の交換を図	課名	道路	各課
(1) 取消	组概要	道路に【主な耶・LED	- 係る維持管理コス (組内容】 - 灯型街路灯の設置 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	成を図るた) 灯型街路 十画による	め、LE 灯の設置 LED# LED#	型、総合計 「型街路火」 「型街路火」 「型街路火	十画への位 丁への交換 丁への交換	担当の交換を図	課名	道路	各課
(1) 取消	组概要	道路に【主な耶・LED	係る維持管理コス (組内容】 が大型街路灯の設置 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	成を図るた) 灯型街路 十画による	め、LE 灯の設置 LED# LED#	型、総合計 「型街路火」 「型街路火」 「型街路火	+画への位 丁への交換 丁への交換 丁への交換	担当の交換を図	課名	道路	各課
(1) 取消	组概要	道路に【主な耶・LED	係る維持管理コス 組内容】 // 型街路灯の設置 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	域を図るた り灯型による 十画によよる 目標績成幅 目標値 連標値	め、LE 灯の設置 LEDが LEDが 上EDが 単位	置、総合書 丁型街路火 丁型街路火	+画への位 丁への交換 丁への交換 丁への交換 「への交換	担当)交換を図 で換を図 で は に に で で は に に に に に に に に に に に に に	課名 る。 平成30年度	道路	各課
(1) 取組(2) 年月	组概要	道路に【主な耶・LED	係る維持管理コス 組内容】 // 型街路灯の設置 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	域を図るた か灯型にによる 上画にによる 目実達成標績 直 に は は は は は は は は は は は は は	め、LE 灯の設置 LEDが LEDが 上EDが 単位	置、総合書 丁型街路火 丁型街路火	+画への位 丁への交換 丁への交換 丁への交換 「への交換	担当)交換を図 で換を図 で は に に で で は に に に に に に に に に に に に に	課名 る。 平成30年度	道路	各課
(1) 取組(2) 年月	组概要	道路に【主な耶・LED	係る維持管理コス 組内容】 // 型街路灯の設置 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	トの縮減 ・ L E I ・ 総合言	域を図るた り灯 型 に よ よ は 標値 を 車 実達 目 実績 値 に と ま で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が、LE 灯の設置 LEDが LEDが 単位 灯	置、総合書 丁型街路火 丁型街路火	+画への位 丁への交換 丁への交換 丁への交換 「への交換	担当)交換を図 で換を図 で は に に で で は に に に に に に に に に に に に に	課名 る。 平成30年度	道路	各課

21	取組項目名	公共下水	ば事業等有収率 <i>0</i>	D向上					担当担当			没部 管理課
(1)取約	组概要	【主な取 ・震災に ・有収外	域下水道負担額の 取組内容】 よる下水管等の値 、汚水調査 、対策方法の確立に	冬繕)、公共	下水道事	業等有収率	率の向上:	を図る。		
			平成27年度		こよる下水 ×対策方法			食 討				
		前期	平成28年度		こよる下水 ×対策方法			食 討				
(9) 年』	度別取組内容		平成29年度	・震災に	こよる下水	管等の値	多繕					
(2) 41	文力,以从社下了台		平成30年度	・有収タ	卜汚水調査							
		後期	平成31年度	・有収タ	卜汚水調査							
			平成32年度	・有収タ	卜汚水調査							
			目標指標名			単位		前 期 平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	
			t on later lette		目標値	k m	20.0	15. 1	4.4	4. 4	17794-1752	1794102
		下水管等	の修繕		実績値	%						
(3)目标	票指標	有収率			目標値 実績値 達成率	%	66. 0	71.0	76.0	81.0	83.0	85. 0
			策方法の確立に向		接放率 目標値 実績値		実施	実施				
		討			達成率	%						
22	取組項目名	スポーツ	'推進委員の定員数	数の見直 l	_				担当担当			委員会 長興課
(1)取約	组概要	【主な取・定員数・定員数・変員の	ツ推進委員の定員通 2組内容】 2の見直しに係るを 2の見直し 0確保に向けた検言 2の適正人数の検言 1確保	食討 寸	るため、 <i>></i> 	スポーツ打	推進委員の	適正数を	検討して気	官員数の見	上直しを実	施する。
			平成27年度	・定員数	女の見直し	に係る机	倹 討					
		前期	平成28年度	・定員数	女の見直し							
(9) 年1	度別取組内容		平成29年度	・委員 <i>の</i>)確保に向	けた検討	计					
(2) 12	2/3/14/14/11/11		平成30年度	委員の)確保に向	けた検討	対及び定員	員数の適〕	E人数の植	食 討		
		後期	平成31年度	委員の	確保及び	定員数の	の適正人数	めの検討				
			平成32年度	・定員数	女の見直し					•		
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	
		定員数の 開催回数)見直しに係る検言	付会議の	目標値 実績値 達成率	回 %	実施	実施	1	1	1	1
						/ U	1	実施				
(3)目标	票指標	定員数の)見直しの実施		目標値 実績値 達成率	- 0/ _c		天旭				
(3)目标	票指標)見直しの実施)推進委員の定員数	数(実績	実績値 達成率 目標値 実績値	— % 人		_				
(3)目标	票指標	スポーツ 値のみ)		数(実績 	実績値 達成率 目標値	_						

23 取組項目名	市立病院	これ おおり おり おり おり おり おり とう おり とう							部名課名		巻市立病院 企画室
(1)取組概要	まえた多 を図る。	病院の病床利用率、 5角的な経営分析や 放組内容】						安定経営の	のため、	事業収支	計画を踏
	・事業計	 画の策定 折と対策の実施									
		平成27年度	・事業計	十画策定作	羊						
	前期	平成28年度	・事業収・病院開	又支計画第 開設	定						
(2)年度別取組内容		平成29年度	・経営分	分析							
(2) 干汉州城市1日		平成30年度	・経営分	分析・対策	美実施						
	後期	平成31年度	経営分	分析・対策	美実施						
		平成32年度	経営分	分析・対策	美実施						
		目標指標名			単位	平成27年度	前 平成28年度		平成30年度	後 平成31年度	平成32年度
	病床利用			目標値 実績値	%		68. 3	79.4	86.1	85.6	88. 3
				達成率	%		07 070	F0 000	FC 100	C1 400	CE C10
(3)目標指標	外来患者			目標値 実績値	人		27, 870	50, 020	56, 120	61, 488	65, 610
(O) H MIH M	医業収支	比率		達成率 目標値 実績値	%		43. 3	57. 5	63. 0	67. 0	72. 4
				達成率 目標値	%		114. 1	97.8	94. 0	97. 9	102. 3
	総収支比	率		実績値	%						
	総収支比	率			%			担当	部夕	全計	答理者
24 取組項目名	公金収納	hデータ処理業務 <i>0</i>		実績値 達成率	%				課名		管理者計課
24 取組項目名 (1)取組概要	公金収納 公金収 【主な取 ・会計調		・図るた。 ・図るたる ・図るたる	実績値 達成率 氏 め、公金収	% 又納デー と業務 ()	OCR読取、	客を外部 ³	担当 委託する。 .力等) の	課名	会	
	公金収納 公金収 【主な取 ・会計調	内データ処理業務の 双納事務の効率化を 対組項目】 限が実施する納入液	と図るため	実績値を成率という。 公金のでいる という とれる という	双納デー と業務((・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ る納入	OCR読取、 ータとの紀 斉通知書 <i>の</i>	察を外部。 パンチ入 充合業務の Oデータイ	担当 委託する。 力等)の の外部委員 と業務(0	課名 外部委託 託 CR読取、	会	計課力等)の
	公金収納 公金収 【主な取 ・会計調	内データ処理業務の 反納事務の効率化を 対組項目】 最が実施する納入を ビニエンスストアル	と図るため	実績値 達成率 モカ、公金収 のデータイジ 果が実施す	双納デー と業務((・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ る納入	OCR読取、 ータとの紀 斉通知書 <i>の</i>	察を外部。 パンチ入 充合業務の Oデータイ	担当 委託する。 力等)の の外部委員 と業務(0	課名 外部委託 託 CR読取、	会	計課力等)の
(1)取組概要	公金収解公金収制公金収制・会計書・コンヒ	内データ処理業務の 対制事務の効率化を 対組項目】 関が実施する納入を デニエンスストアル 平成27年度	と図るため	実績値を成率という。 公金のでいる という とれる という	双納デー と業務((・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ る納入	OCR読取、 ータとの紀 斉通知書 <i>の</i>	察を外部。 パンチ入 充合業務の Oデータイ	担当 委託する。 力等)の の外部委員 と業務(0	課名 外部委託 託 CR読取、	会	計課力等)の
	公金収解公金収制公金収制・会計書・コンヒ	内データ処理業務の 対 納事務の効率化を 対 組項目】 よが実施する納入が デニエンスストアル 平成27年度 平成28年度	と図るため	実績値を成率という。 公金のでいる という とれる という	双納デー と業務((・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ る納入	OCR読取、 ータとの紀 斉通知書 <i>の</i>	察を外部。 パンチ入 充合業務の Oデータイ	担当 委託する。 力等)の の外部委員 と業務(0	課名 外部委託 託 CR読取、	会	計課力等)の
(1)取組概要	公金収解公金収制公金収制・会計書・コンヒ	内データ処理業務の 反納事務の効率化を 対組項目】 繋が実施する納入が ビニエンスストアル 平成27年度 平成28年度 平成29年度	と図るため	実績値を成率という。 公金のでいる という とれる という	双納デー と業務((・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ る納入	OCR読取、 ータとの紀 斉通知書 <i>の</i>	察を外部。 パンチ入 充合業務の Oデータイ	担当 委託する。 力等)の の外部委員 と業務(0	課名 外部委託 託 CR読取、	会	計課力等)の
(1)取組概要	公金収納公金収利・金融のでは、金配をのでは、金配をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	内データ処理業務の 対象の効率化を 対象は項目】 繋が実施する納入が デニエンスストアル 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	と図るため	実績値を成率という。 公金のでいる という とれる という	双納デー と業務((・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ る納入	OCR読取、 ータとの紀 斉通知書 <i>の</i>	察を外部。 パンチ入 充合業務の Oデータイ	担当 委託する。 力等)の の外部委員 と業務(0	課名 外部委託 託 CR読取、	会	計課力等)の
(1)取組概要	公金収納公金収利・金融のでは、金配をのでは、金配をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	内データ処理業務の 対制項目】 製が実施する納入が でニエンスストアル 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	と図るため	実績値を成率という。 公金のでいる という とれる という	双納デー と業務((・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ る納入	OCR読取、 一タとの á 斉通知書 <i>o</i> 又納データ	務を外部す パンチ入 充合業務の データイ アと納入る	担当委託する。力等)の外部委託	課名 外部委託 氏 CR読取、 ータとの糸	会業務の	計課 力等)の の外部委
(1)取組概要	公金収和公金収和の公金収をは、またのでは、「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内データ処理業務の (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	を図るため 書の から 会談 から 会談 から	実績値率 ・ おいからとが、エエン・ 目標績値を は、 のなりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	% 又納デー と業務(デー る納入) 、ストアル 単位	OCR読取、 一タとの á 斉通知書 <i>o</i> 又納データ	務を外部す パンチ入 充合業務の データイ アと納入る	担当委託する。 力等)の 分部委託 と業務(の	課名 外部委託 氏 CR読取、 ータとの糸	会業務の	計課 力等)の の外部委
(1)取組概要	公金公主会コー前期 後期 「一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部	内データ処理業務の (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	と図 通知 ・外・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実産値を出ている。 またが、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	% Q納デー L*業務 こる A トアリー 単位 - % 人	OCR読取、 一タとの希 斉通知書の 収納データ	務を外部す パンチ入 充合業務の データイ アと納入る	担当委託する。 力等)の 分部委託 と業務(の	課名 外部委託 氏 CR読取、 ータとの糸	会業務の	計課 力等)の の外部委
(1)取組概要	公金公主会コー前期 後期 「一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部一部	カデータ処理業務の 交納事務の効率化を 対組項目】 よが実施でニエンンストアル 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度 平成32年度 1 標 指 標 名 ごニエンンストアル	と図 通知 ・外・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実達 そりのタ またご 世裏達目実績値率 の のな タス が ニ	% 又納デー と業務が こる納入 ストアリ 単位 一 %	OCR読取、 一タとの希 斉通知書の 又納データ 平成27年度 実施	第を外部るパンチ入充合業務のデータイプと納入る	担当 委託する。 力等)の の外部委言 と業務 (0 ・ ・ ・ ・ ・ で ・ が ・ ・ ・ で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	課名 外部委託 氏 CR読取、 ータとの糸	会業務の	計課 力等)の の外部委

25	取組項目名	古力州田	 病院の経営安定化						担当	部名	病	院局
20	以旭秀日石									課名		管理課
(1) 取約	且概要	踏まえた 【主な取	:鹿病院の経常収支 経営分析や原価計 組内容】 析と対策の実施						る安定経	営のため、	、事業収	支計画を
			平成27年度									
		前期	平成28年度									
(2)年	度別取組内容		平成29年度									
(2) 12	X/J/12/X/1111 1/1		平成30年度	・経営分	祈							
		後期	平成31年度	•経営分	が析・対策	実施						
			平成32年度	・経営分	がが対策	実施						
			目標指標名			単位	亚成97年度	前 期		亚成30年度	後 其	平成32年度
		経常収支.	 比率		目標値 実績値 達成率	%	一	一个风20年度	十八之5千尺	92. 3	97. 7	100. 2
(3)目标	票指標	医業収支.	比率		程成率 目標値 実績値 達成率	%				61.8	67. 9	71. 2
		病床利用			目標値 実績値 達成率	%				45. 0	75. 0	85. 0



基本目標4

公共施設の適正な管理・運営

	取 組 項 目 名	担当部	掲載ページ
1	中央二丁目4番地区に保有する市有財産の利活用の検討	復興政策部・総務部	43
2	本庁舎一階の利活用の検討	総務部	43
3	防災センターの適正な管理・運営の検討	総務部	44
4	集会所的施設の譲渡の推進	財務部	44
5	公共施設等総合管理計画の策定	財務部	45
6	南浜シンボル公園の適正な管理・運営の検討	復興事業部	45
7	中瀬公園の適正な整備計画及び管理・運営の検討	復興事業部	46
8	雄勝伊勢畑地区に整備する公共施設の適正な管理・運営方 法の検討	雄勝総合支所	46
9	北上地区物販施設の適正な管理・運営の検討	北上総合支所	47
1 0	牡鹿鮎川地区拠点施設の適正な管理・運営の検討	牡鹿総合支所	47
1 1	おしか家族旅行村オートキャンフ場への指定管理者制度の 道入	牡鹿総合支所	48
1 2	旧深谷病院の施設等市有財産譲渡の検討	健康部	48
1 3	介護関係施設のあり方の検討	福祉部	49
1 4	老人福祉センター寿楽荘の適正な管理・運営の検討	福祉部	49
1 5	ささえあいセンターの適正な管理・運営の検討	福祉部	50
1 6	再配置計画に基づく保育所の統廃合	福祉部	50
1 7	観光交流施設の適正な管理・運営の検討	産業部	51
1 8	マンガアイランドの適正な管理・運営の検討	産業部	51
1 9	石ノ森萬画館指定管理料のあり方の検討	産業部	52
2 0	水産物地方即売市場の維持管理経費の縮減と運営形態の見直し	産業部	52
2 1	水産物地方卸売市場多機能施設の適正な管理・運営の検討	産業部	53
2 2	既存・新規市営住宅の管理の外部委託	建設部	53
2 3	防災マリーナの適正な管理・運営の検討	建設部	54
2 4	水辺のプロムナードの適正な管理・運営の検討	建設部	54
2 5	小・中学校の学区再編計画に基づく学校施設の統廃合	教育委員会	55
2 6	市立高校の統合	教育委員会	55
2 7	字校給食センターの統廃台及び調埋業務の民間委託等の検 計	教育委員会	56
2 8	社会教育施設のあり方の検討	教育委員会	56
2 9	旧石巻ハリストス正教会教会堂の適正な管理・運営の検討	教育委員会	57
3 0	陶芸丸寿かんけい丸の利活用の検討	教育委員会	57
3 1	複合文化施設の適正な管理・運営の検討	教育委員会	58
3 2	体育施設のあり方の検討	教育委員会	58
3 3	総合運動公園への指定管理者制度の導入	教育委員会	59
3 4	追波川河川運動公園への指定管理者制度の導入	教育委員会	59
3 5	牡鹿交流センターの機能及び運営方法の見直し	教育委員会	60
3 6	図書館における指定管理者制度の導入の検討	教育委員会	60
3 7	公民館における指定管理者制度の導入の検討	教育委員会	61
3 8	牡鹿病院のあり方の検討	病院局	61

	- 4				·	D 1	A = 1		担当	部名	復興政策部	部・総務部
1	取組項目名	中央二丁	一目4番地区に保有	すする市有	す財産の利	活用の			担当	課名	復興政策調	課・管財課
		中央二	二丁目4番地区に係	R有する i	方有財産の	利活用第	策を検討す	-る。				
		「ナナン形	対組内容 】									
(1) 取約	且概要		開い合力									
			77 + 07 F #	ポルオ ロ	□ ##: か ! \\ =	L						
			平成27年度	• 利活月	用策の検討	Ī						
			— 6	4154								
		前期	平成28年度	• 利活月	用策の検討	・決定						
			平成29年度	• 優良廷	建築物等整	:備事業に	に係る市有	「地の払下	「げ			
(2)年月	度別取組内容											
			平成30年度									
		後期	平成31年度									
			平成32年度									
								前 期			後期	
			目標指標名			単位				平成30年度	平成31年度	
		イルイ ロゲ	T = 14 = 1		目標値	_	実施	実施	実施			
		利活用第	まの検討 ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		実績値達成率	%				\rightarrow	$\overline{}$	
(3) 目相	票指標				目標値	70						
					実績値達成率	%						
						%	1					
					日標値							
					目標値 実績値	0/						
					実績値	%						
2	取組項目名	本庁舎一	-階の利活用の検討		実績値	%				部名		多部
2	取組項目名				実績値達成率		カー行政制	*産の貸付	担当	課名	管見	け課 しゅうしゅ
2	取組項目名	魅力的	一階の利活用の検診 内な庁舎や市民が自 力更新に伴う貸付に	慢できる	実績値 達成率 る市役所を	・作るたと		産の貸付	担当	課名	管見	け課 しゅうしゅ
		魅力的 次期契約	的な庁舎や市民が自 対更新に伴う貸付け	慢できる	実績値 達成率 る市役所を	・作るたと		才産の貸付	担当	課名	管見	け課 しゅうしゅ
2 (1) 取新		魅力的 次期契約 【主な耶	的な庁舎や市民が自	自慢できる けのあり力	実績値達成率	·作るたと 検討する		す産の貸 付	担当	課名	管見	け課 しゅうしゅ
		魅力的 次期契約 【主な耶	的な庁舎や市民が自 対更新に伴う貸付け 対組内容】	自慢できる けのあり力	実績値達成率	·作るたと 検討する		才産の貸 付	担当	課名	管見	け課 しゅうしゅ
		魅力的 次期契約 【主な耶	かな庁舎や市民が自 対観内容】 対組内容】 計一階の次期契約更	自慢できるけのありた	実績値達成率 る市役所を方について	·作るたる 検討する ·の検討	5.		担当け契約を行	課名	管見	け課 しゅうしゅ
		魅力的 次期契約 【主な耶	的な庁舎や市民が自 対更新に伴う貸付け 対組内容】	自慢できるけのありた	実績値達成率	·作るたる 検討する ·の検討	5.		担当け契約を行	課名	管見	け課 しゅうしゅ
		魅力的 次期契約 【主な耶	かな庁舎や市民が自 対観内容】 対組内容】 計一階の次期契約更	自慢できるけのありた	実績値達成率 る市役所を方について	·作るたる 検討する ·の検討	5.		担当け契約を行	課名	管見	け課 しゅうしゅ
		魅力的 次期契約 【主な耶	かな庁舎や市民が自 対観内容】 対組内容】 計一階の次期契約更	i慢できる けのあり力 更新に伴う ・本庁 a	実績値達成率 る市役所を方について	作るたと 検討する の検討 期契約5	る。 更新に伴う	貸付方金	担当け契約を行	課名	管見	け課 しゅうしゅ
		魅力的次期契約【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を	i慢できる けのあり力 更新に伴う ・本庁 a	実績値達成率 る市役所を方について う貸付方針	作るたと 検討する の検討 期契約5	る。 更新に伴う	貸付方金	担当け契約を行	課名	管見	け課 しゅうしゅ
		魅力的次期契約【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を	自慢できる けのあり力 更新に伴う ・本庁舎	実績値達成率 る市役所を方について う貸付方針	作るたとの検討・の検討・期契約り	る。 更新に伴う 更新に伴う	貸付方金	担当け契約を行	課名	管見	け課 しゅうしゅ
(1) 取着		魅力的次期契約【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を がある。 対象を 対象を がある。 対象を がある。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 で	自慢できる けのあり力 更新に伴う ・本庁舎	実績値 達成率 る市役所を 方について う貸付方針 合一階の次	作るたとの検討・の検討・期契約り	る。 更新に伴う 更新に伴う	貸付方金	担当け契約を行	課名	管見	け課 しゅうしゅ
(1) 取着	组概要	魅力的次期契約【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を がある。 対象を 対象を がある。 対象を がある。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 で	自慢できる けのありす 更新に伴う ・本庁舎 ・本庁舎	実績値 達成率 る市役所を 方について う貸付方針 合一階の次	作るたとかける。	る。 更新に伴う 更新に伴う 式による事	貸付方金 貸付方金 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名	6 庁舎一階	け課 しゅうしゅ
(1) 取着	组概要	魅力的次期契約【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象のでは 対象のでする。 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 が変数である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	自慢できる けのありす 更新に伴う ・本庁舎 ・本庁舎	実績値 達成率 る市役所を 方について う貸付方針 合一階の次	作るたとかける。	る。 更新に伴う 更新に伴う 式による事	貸付方金 貸付方金 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名	6 庁舎一階	け課 しゅうしゅ
(1) 取着	组概要	魅力的次期契約【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象のでは 対象のでする。 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 が変数である。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	国慢のあり 対 できり 対 できり 対 できり 対 できり 対 できり 対 できり が 不	実績値 達成率 る市役所を 方について う貸付方針 合一階の次	作るたと 検討する の検討 期契約 期契約 ザル方	更新に伴う 更新に伴う 式による事 式による事	貸付方金 貸付方金 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名	6 庁舎一階	け課 しゅうしゅ
(1) 取着	组概要	魅力的次期契約 【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象のでは 対象のでする。 対象のでは 対象のでは 対象のでは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	国慢のあり 対 できり 対 できり 対 できり 対 できり 対 できり 対 できり が 不	実績値を対応であった。対象のでは、の	作るたと 検討する の検討 期契約 期契約 ザル方	更新に伴う 更新に伴う 式による事 式による事	貸付方金 貸付方金 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名	6 庁舎一階	け課 しゅうしゅ
(1) 取着	组概要	魅力的次期契約 【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象のでは 対象のでする。 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	国慢のあい 伴う できり かん できり かん できり かん に伴う かん 本 本	実績値を対応であった。一階の次の次の次のでは、まずのの次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の	作るたとがあり、一の検討が、期契約・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・カー・サルカラ・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	更新に伴う 更新に伴う 式による事 なによる事	貸付方金 貸付方金 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名	6 庁舎一階	け課 しゅうしゅ
(1) 取着	组概要	魅力的次期契約 【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象のでは 対象のでする。 対象のでは 対象のでは 対象のでは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	国慢のあい 伴う できり かん できり かん できり かん に伴う かん 本 本	実績値を対応であった。対象のでは、の	作るたとがあり、一の検討が、期契約・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・カー・サルカラ・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	更新に伴う 更新に伴う 式による事 なによる事	貸付方金 貸付方金 「業者の選 「業者の選	担当け契約を行けの検討・の策定を定となび負	課名	管原 方庁舎一階 の検討	対課
(1) 取着	组概要	魅力的次期契約 【主な取・本庁舎	かな庁舎や市民が自 対象のでは 対象のでする。 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	国慢のあい 伴う できり かん できり かん できり かん に伴う かん 本 本	実績値を対応であった。一階の次の次の次のでは、まずのの次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の次の	作るたとがあり、一の検討が、期契約・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・サルカラ・カー・サルカラ・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	る。 更新に伴う 更新に伴う まによる。 で実施	貸付方金 貸付方金 「業者の選 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名 テっている	(大)	が課います。
(1) 取着	组概要	魅力的次 大期契 は主な庁舎 前期 後期	中 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	国慢のあい 伴う できり かい できり かい に 本 本 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値率を行っている方に、貸付をでいたが、ののでは、一下でののでは、一下でののでは、これでは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	作るためでは、一の検討が、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	る。 更新に伴う 更新に伴う まによる。 で実施	貸付方金 貸付方金 「業者の選 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名 テっている	管原 方庁舎一階 の検討	が課います。
(1) 取着	组概要	魅力的次 大期契 は主な庁舎 前期 後期	中 対 対 は は は は は は は は は は は は は	国慢のあい 伴う できり かい できり かい に 本 本 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値率を行っている方には、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番で	作者が対対があり、おりでは、一の大きなができます。 おいま おいま おいま かん かん はい	五 更新に伴う 更新に伴う 式による事 で実施 で実施 で実施	貸付方金 貸付方金 「業者の選 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名 テっている	(大)	が課います。
(1) 取着	度別取組内容	魅力的次 大力的次 大力的次 大力的次 大力的次 大力的次 大力的次 大力的次 大	中 対 対 は は は は は は は は は は は は は	国慢のあい 伴う できり かい できり かい に 本 本 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値率を行っている方に、貸付をでいたが、ののでは、一下でののでは、一下でののでは、これでは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	作るためでは、一の検討が、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	五 更新に伴う 更新に伴う 式による事 で実施 で実施 で実施	貸付方金 貸付方金 「業者の選 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名 テっている	(大)	が課います。
(1) 取新	度別取組内容	魅力的 次期契を取る ・本本庁舎 前期 後期 本貸	中 対 対 は は は は は は は は は は は は は	慢の 新に本本公公公貸付付 一手に 一手に	実達値率を行うには、一番を対して、一番を対して、一番を対して、一番を対して、一番を対して、一番を対して、一番を対して、一番を対して、一番を対して、一番を対して、一番を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	作 () 作 (五 更新に伴う 更新に伴う 式による事 で実施 で実施 で実施	貸付方金 貸付方金 「業者の選 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名 テっている 子付方針の 平成30年度	(大)	が課います。
(1) 取新	度別取組内容	魅力的 次期契を取る ・本本庁舎 前期 後期 本貸	中 京更新に伴う貸付け 対組内容】 会一階の次期契約更 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度	慢の 新に本本公公公貸付付 一手に 一手に	実達 複字 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	作者が対対があり、おりでは、一の大きなができます。 おいま おいま おいま かん はい はい かん はい	五 更新に伴う 更新に伴う 式による事 で実施 で実施 で実施	貸付方金 貸付方金 「業者の選 「業者の選	担当け契約を行けの検討	課名 テっている 子付方針の 平成30年度	(大)	
(1) 取新	度別取組内容	魅力的 次期契を取る ・本本庁舎 前期 後期 本貸	中 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京	慢の 新に本本公公公貸付付 一手に 一手に	実達値率をできる方に、貸付の下でであった。「貸付の下ででする方に、賃付の下ででする方でです。」では、「は、「は、「は、「は、「は、」では、「は、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、」では、「は、「は、」では、「は、」は、は、は、は、	作 () 作 (五 更新に伴う 更新に伴う 式による事 で実施 で実施 で実施	貸付方金 貸付方金 「業者の選 「業者の選	担当け契約を行けの検討・サの策定を定及び貸	課名 テっている 子付方針の 平成30年度	(大)	が課います。

3	取組項目名	防災セン	/ターの適正な管理	里・運営の)検討				担当担当		総務	
			2に整備される防災 公要な検討を行う。	シセンター	-について	、稼働後	後の管理経	圣費の縮洞				
(1) 取約	組概要	【主な取	対組内容】 な管理・運営方法の)検討								
			平成27年度	・適正な	よ管理・運	営方法の)検討					
		前期	平成28年度	・適正な	でで理・運	営方法の)検討					
(2)年	度別取組内容		平成29年度	・取組事	写項の方針	策定						
(2) +13	交加机机门石		平成30年度	・防災巻	枚育・研修	に対する	積極的な	や利用の促	進			
		後期	平成31年度	・防災拳	汝育・研修	に対する	積極的な	*利用の仮	進			
			平成32年度	・恒例事	事業の構築	と実施計	画の策定					
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期 平成28年度		平成30年度	後期 平成31年度	
		適正な管	· 理・運営方法の検	計	目標値 実績値	_	実施	実施	T MADO T IX	1 19400 1 12	1 //// 1 / /	T MOST IX
(a) E +		222 0 0		(4.1	達成率	%			歩			
(3) 目相	宗拒悰	取組事項	頁の方針の策定		目標値 実績値 達成率	%			策定			
		研修会等	デの開催		目標値	70				6	10	12
						%						
4	取組項目名	集会所的	力施設の譲渡の推進	<u>É</u>	達成率	%			担当		財務	
4	取組項目名	「老人	力施設の譲渡の推進 、憩いの家、コミュ の利便性を向上する	ニティも	達成率	等の公の			担当	課名	行政組	圣営課
4 (1) 取着		「老人 域住民の 【主な取	、憩いの家、コミュ	ュニティセ らため、比	達成率 マンター」 也元町内会	等の公の			担当	課名	行政組	圣営課
_		「老人 域住民の 【主な取	、憩いの家、コミュ の利便性を向上する 対組内容】	ユニティセ うため、地 三引の作成 ・無償請	達成率 マンター」 也元町内会	等の公の等地域へ	、の譲渡を 	と進める。 え	担当	課名	行政組	圣営課
_		「老人 域住民の 【主な取	、憩いの家、コミュ)利便性を向上する 対組内容】 譲渡に関する事務手	ユニティセ うため、地 三引の作成 ・無償調	達成率 マンター」 也元町内会 は	等の公の等地域へ	への譲渡を 一 一 ら 庁 内 周 気	:進める。 	担当	課名	行政組	圣営課
(1) 取消	組概要	「老人域住民の 【主な耶・無償譲	、憩いの家、コミュ の利便性を向上する 対組内容】 譲渡に関する事務手 平成27年度	ニティtb ため、 地 ・ 無 償 ・ 無 償 ・ 無 償	達成率 コンター」 也元町内会 対 譲渡に関す 譲渡の推進	等の公の 等地域へ る事務月 に関する	への譲渡を 手引の作成 ら庁内周知 ら庁内周知	注 進める。	担当	課名	行政組	圣営課
(1) 取消		「老人域住民の 【主な耶・無償譲	、憩いの家、コミュ の利便性を向上する 対組内容】 譲渡に関する事務手 平成27年度 平成28年度	ニティ は ティ は ・ ま ・ 無 (賞語) ・ 無 (賞語)	達成率 ニンター」 也元町内会 対 護渡に関す進 譲渡の推進	等の公の等地域へる事務する。に関する	への譲渡を 手引の作成 5 庁内周知 5 庁内周知	た進める。	担当	課名	行政組	圣営課
(1) 取消	組概要	「老人域住民の 【主な耶・無償譲	、憩いの家、コミュ の利便性を向上する 対組内容】 譲渡に関する事務手 平成27年度 平成28年度 平成29年度	ニティ、 ニティ、 ニティ、 ニティ、 ・ 無 (に 無 (に) ・ に 無 (に) ・ に 無 (に) ・ に に (に) ・ に も に は (に) ・ に も に も に は (に) ・ に も に も に は (に) ・ に も に も に も に は (に) ・ に も に も に も に も に は (に) に も に も に も に も に も に も に も に も に も	達成率 マンター」 也元町内会 は 護渡に推進 譲渡の推進 譲渡の推進	等の公の 等地域へ る事務する に関する に関する	への譲渡を ・引の作成知 ・庁内周知 ・庁内周知	さ進める。	担当	課名	行政組	圣営課
(1) 取消	組概要	「老人域住民の【主な取・無償額	、憩いの家、コミコ の利便性を向上する 対組内容】 強進に関する事務手 平成27年度 平成28年度 平成29年度	ニテン、 ・	達成率 マンター」 也元町内会 域に推進 譲渡の推進 譲渡の推進 譲渡の推進	等の公の 等地域へ るに関する に関する に関する に関する	への譲渡を 引の作用知 の庁内 周知 の庁内 周知	さ進める。	担当	課名の料金に柔	行政経	至営課作たせ地
(1) 取消	組概要	「老人域住民の【主な取・無償額	、憩いの家、コミコ 対側性を向上する 対組内容】 減渡に関する事務 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	ニテン、 ・	達成率 マンター 大	等の公の 等地域へ るに関する に関する に関する に関する	への譲渡を 引の内内 内	注進める。	担当	課名の料金に柔	行政組	全営課 注たせ地
(1) 取消	組概要	「老人の域とは、	 憩いの家、コミコスター 対組内容】 資機に関する事務手 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 まされた公の施設 	ニテン ・	達成率 マンター」会 対 でである。 では、ことでもである。 では、ことでもでもでもできなでもでは、ことでもでもでもできなでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	等等地域への域に関するにに関する。	への譲渡を 引の内内 内	注進める。	担当	課名の料金に柔	後期後	全営課 注たせ地
(1) 取消	組概要 度別取組 内容	「老人の域」 (主なな) (主なな) (主なな) (主なな) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が	 憩いの家、コミコスター 対組内容】 資機に関する事務手 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 まされた公の施設 	ニテン ・	達成 で	等の公の 等地域 あに はに 関すする に に 関すする に に 関すする に 関すする に 関すする に 関すする に 関すする に 関すする に 関すする に に に に に に に に に に に に に	への譲渡を 引の内内 内	注進める。	担当	課名の料金に柔	後期後	経営課 注たせ地
(1) 取約	組概要 度別取組 内容	「老人の域」 (主なな) (主なな) (主なな) (主なな) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が	 憩いの家、コミコスター 対組内容】 資機に関する事務手 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 まされた公の施設 	ニテン ・	達成 で	等等地域への域に関するにに関する。	への譲渡を 引の内内 内	注進める。	担当	課名の料金に柔	後期後	経営課 注たせ地
(1) 取約	組概要 度別取組 内容	「老人の域」 (主なな) (主なな) (主なな) (主なな) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が) (事が	 憩いの家、コミコスター 対組内容】 資機に関する事務手 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 まされた公の施設 	- ニーテン	達達 では では では では では では では	等等 の な の な の な の な の な の な の で に に に に に に に に に に に に に	への譲渡を 引の内内 内	注進める。	担当	課名の料金に柔	後期後	経営課 注たせ地

人口様子や渡しり形数吹きを踏まえ、公共議院等の全体の異菌質用の部計や保険を作用し、長期的な関 等・部窓を、支持金化などまが制的に実施するとまがあることから、公共施設や成型に圧発を保護化の 対する作文でものの公共施設等を含を運計前の第定 ・公共施設等を含を運計前の第定 ・ 公共施設等を含を運計前の第定 ・ 平成29年度 ・ 前減日保に向けた進行管理の実施	5	取組項目名	公共施設	よ は 等総合管理計画 の	策定					担当			务部
(2) 年度別取組内容			新•統廃	至合・長寿命化なと	を計画的	りに実施す	る必要な	があること	こから、グ		に 況を把握 類型別に	とし、長期 上更新や耐	明的な更 対震化の
平成29年度 - 公共施設等総合管理計画の策定 中成29年度 - 削減日標に向けた進行管理の実施 甲成29年度 - 削減日標に向けた進行管理の実施 甲成20年度 - 削減日標に向けた進行管理の実施 甲成20年度 - 削減日標に向けた進行管理の実施 甲成20年度 - 削減日標に向けた進行管理の実施 甲成20年度 - 削減日標に向けた進行管理の実施 日標 指 標 名 中枢 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単	(1)取約	组概要	【主な取 ・公共施	双組内容】 函設等総合管理計画	面の策定		, , _ , , ,	, , , , , ,					
平成30年度 ・削減日標に向けた進行管理の実施			4,71%				·管理計画	画の策定					
(3) 日標指標			前期	平成28年度	・削減目	目標に向け	た進行管	管理の実施	<u>iti</u>				
中成30年度	(2) 年1			平成29年度	・削減目	目標に向け	た進行管	管理の実施	<u>. ti</u>				
平成32年度	(2) +1	文力,以配下了台		平成30年度	・削減目	目標に向け	た進行管	管理の実施	<u>ti</u>				
日標指標名 単位 単位 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一			後期	平成31年度	・削減目	目標に向け	た進行管	管理の実施	<u>h</u>				
日標 日 標 名				平成32年度	・削減目	目標に向け	た進行管	管理の実施	<u>ti</u>				
(3)目標指標 公共施設等総合管理計画の策定 12億億				目標指標名			単位	亚色2年			亚代20年度		
(3) 目標指標 1							_	•	十灰20千灰	十八25千尺	干灰30年及	干灰31千尺	十灰32千尺
日標指標 日報館 11			公共施設	と 等総合管理計画の	策定	実績値	0/_						
門域個類 (美術種のみ) 大成個 上級値 上級値 上級値 上級値 上級値 上級値 上級値 上級値 上級値 上級 上級	(3) 目村	票指標				目標値		_		_	_	_	_
日標値 実態値 接極 担当部名 後興事業部 担当部名 接級事業部 担当部名 接級事業部 担当部名 接級事業部 担当部名 接級事業部 担当課名 基盤整備課 門脇地区に整備される南浜シンボル公園について、国・県との役割分担や整備後の管理経費の縮減等、適正な管理・運営方法の検討 ・適正な管理・運営方法の検討 平成27年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成28年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成29年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成30年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成30年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成30年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成32年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成32年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成32年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成32年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成32年度 ・適正な管理・運営方法の検討 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東			削減面積	賃(実績値のみ)				_	_	_		_	
達成率 % 担当都名 復興事業部 担当都名 復興事業部 担当都名 復興事業部 担当都名 担当都名 複興事業部 担当都名 担当郡名 基盤整備課 四脇地区に整備される南浜シンボル公園について、国・県との役割分担や整備後の管理経費の縮減等、適正な管理・運営を実施するための必要な検討を行う。 (1)取組概要 「主な取組内容」 適正な管理・運営方法の検討 平成27年度 適正な管理・運営方法の検討 平成29年度 適正な管理・運営方法の検討 平成29年度 適正な管理・運営方法の検討 平成30年度 適正な管理・運営方法の検討 平成31年度 適正な管理・運営方法の検討 平成31年度 適正な管理・運営方法の検討 平成32年度 適正な管理・運営方法の検討 平成32年度 適正な管理・運営方法の検討 東級2年度 東級2年度						目標値	/0						
超異日名 南浜シンボル公園の適正な管理・運営の検討 担当部名 復興事業部 担当課名 基盤整備課 理論を実施するための必要な検討を行う。						H-4+ I							
取組項目名							%						
適正な管理・運営を実施するための必要な検討を行う。 【主な取組内容】 ・適正な管理・運営方法の検討			l.v.a		foto	達成率				担当	部名	復興事	事業部
(1) 取組機要 【主な取組内容】 ・適正な管理・運営方法の検討 平成27年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成28年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成29年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成30年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成31年度 ・適正な管理・運営方法の検討 平成32年度 ・適正な管理・運営方法の検討 日標指標名 単位 ・適正な管理・成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成32年度 連成3年度 東流 実施	6	取組項目名				達成率 運営の検討	t			担当	課名	基盤	整備課
(2) 年度別取組内容	6	取組項目名	門脇地	区に整備される南	万浜シン オ	達成率 重営の検討 ボル公園に	ついて、		この役割分	担当	課名	基盤	整備課
平成29年度 ・適正な管理・運営方法の検討			門脇地 適正な管 【主な取	他区に整備される南 野理・運営を実施す 双組内容】	所浜シンカーるため <i>の</i>	達成率 重営の検討 ボル公園に	ついて、		この役割分	担当	課名	基盤	整備課
(2)年度別取組内容			門脇地 適正な管 【主な取	他区に整備される南 ・理・運営を実施す な組内容】 ・管理・運営方法の	i浜シンホーるための か検討	達成率 運営の検討 ボル公園に ひ必要な検	† -ついて、 :討を行う		この役割分	担当	課名	基盤	整備課
(3) 目標指標 (3) 目標指標 で成30年度 ・適正な管理・運営方法の検討 (3) 目標指標 日標値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 中成27年度 平成28年度 平成29年度 平成31年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度 平成31年度 平成32年度 平成31年度 平成32年度 平成31年度 平成32年度 平成31年度 平成32年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度 平成32年度 平成32年度 平成31年度 平成32年度 平成3			門脇地適正な管【主な取・適正な	他区に整備される南 序理・運営を実施す 対組内容】 全管理・運営方法の 平成27年度	所 (((((((((((((((((((達成率 運営の検討 ボル公園に の必要な検 は管理・運	ついて、計を行う計を行う	う。 D検討	この役割分	担当	課名	基盤	整備課
(3) 目標指標 (3) 目標指標 1 標 指 標 名 単位 前 期 後 期 平成27年度 平成29年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度 事成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 事成率 % 事施 実施 実施 実施 実施 実施 実施 実施 実施 実施 事務	(1) 取渝	组概要	門脇地適正な管【主な取・適正な	他区に整備される南 ・理・運営を実施す な組内容】 ・管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度	所浜シンボーるための 検討 ・適正な ・適正な	達成率 運営の検討 ボル公園に か必要な検 な管理・運 な管理・運	一ついて、計を行う対象を行うできます。 対象を行うできません。 対象を行うできません。	う。 り検討 り検討	この役割分	担当	課名	基盤	整備課
目標指標名 単位 前 期	(1) 取渝	组概要	門脇地適正な管【主な取・適正な	他区に整備される南 中理・運営を実施す 別組内容】 全管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度	所 (((((((((((((((((((達成率 建営の検討 ボルン要な検 で 管理 ・ ・ 運 で 管理・・ 運	一ついて、計を行う対象を行う対象を行うできます。	う。 り検討 り検討 り検討	この役割分	担当	課名	基盤	整備課
日 標 指 標 名	(1) 取渝	组概要	門脇地適正な管・適正な	型区に整備される南 ・理・運営を実施す を組内容】 ・管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	所 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	達成率 達成率 東営の (一ついて、計を行う対象を行う法のでは、対象を行う法のでは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	分 り検討 り検討 り検討	この役割分	担当	課名	基盤	整備課
日標値 実施 実施 実施 実施 実施 実施 実施 実	(1) 取渝	组概要	門脇地適正な管・適正な	型区に整備される南 ・理・運営を実施す が理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	所 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	達成率 運営の (一ついて、計を行う対象を行う法のでは、対象を行う法のでは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	D () D <td></td> <td>担当</td> <td>課名の管理</td> <td>基盤生</td> <td>整備課</td>		担当	課名の管理	基盤生	整備課
(3) 目標指標 目標値 実績値 達成率 1 目標値 実績値 1 目標値 実績値	(1) 取渝	组概要	門脇地適正な管・適正な	世区に整備される南 下理・運営を実施す 別組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	所 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	達成率 運営の (一ついて、計を行う対象のでは、対象の	D D D </td <td>前期</td> <td>担当</td> <td>課名の管理</td> <td>基盤型経費の締</td> <td>整備課</td>	前期	担当	課名の管理	基盤型経費の締	整備課
実績値 達成率 % 目標値 実績値	(1) 取渝	组概要	門脇地管主ななり、一部のでは、一語のでは、一語のは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは	世区に整備される南 中理・運営を実施す 取組内容】 管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	所 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	重 ボウ は は は は は は は は は は は は は は は は は は	一つ計画を行うになる。 対象 は 対象	う。 り検討 り検討 り検討 り検討 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 期 平成28年度	担当 7担 个整備 平成29年度	課名 背後の管理 平成30年度	基盤型 経費の締 平成31年度	を備課 落減等、
<u>目標値</u>	(1) 取新	度別取組内容	門脇地管主ななり、一部のでは、一語のでは、一語のは、一語のでは、一語のでは、一語のは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは	世区に整備される南 中理・運営を実施す 取組内容】 管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	所 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	重 ボルン で で で で で で で で で で で で で で で で で で	一つ計画を行うになる。 対象 は 対象	う。 り検討 り検討 り検討 り検討 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 期 平成28年度	担当 7担 个整備 平成29年度	課名 背後の管理 平成30年度	基盤型 経費の締 平成31年度	を備課 落減等、
実績値	(1) 取新	度別取組内容	門脇地管主ななり、一部のでは、一語のでは、一語のは、一語のでは、一語のでは、一語のは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは	世区に整備される南 中理・運営を実施す 取組内容】 管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	所 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	重 ボウ な な な な な な な な な な な な な な な な な な	一つ計画を行う 対象の	う。 り検討 り検討 り検討 り検討 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 期 平成28年度	担当 7担 个整備 平成29年度	課名 背後の管理 平成30年度	基盤型 経費の締 平成31年度	を備課 落減等、
$\mapsto a_{k} \rightarrow a_{k} \rightarrow a_{k}$	(1) 取新	度別取組内容	門脇地管主ななり、一部のでは、一語のでは、一語のは、一語のでは、一語のでは、一語のは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは、一語のでは	世区に整備される南 中理・運営を実施す 取組内容】 管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	所 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	重 ボウ な な な な な な な な な な な な な な な な な な	一つ計画を行う 対象の	う。 り検討 り検討 り検討 り検討 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	前 期 平成28年度	担当 7担 个整備 平成29年度	課名 背後の管理 平成30年度	基盤型 経費の締 平成31年度	を備課 落減等、

7	取組項目名	中瀬公園	図の適正な整備計画	1及び管理	里・運営の	検討			担当担当		復興事	
			大震災により被災 十画の策定及び管理						設費及び	管理経費	骨の縮減等	、適正
(1)取約	組概要	適正な	対組内容】 本整備計画の策定 管理・運営方法の)検討								
			平成27年度	・適正な	な整備計画	及び管理	里・運営力	方法の検討	ţ			
		前期	平成28年度	・適正な	企整備計画	及び管理	里・運営力	が法の検討	ţ			
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・適正な	な整備計画	及び管理	里・運営力	方法の検討	ţ			
(2) +1	Z J J J Z K MILL J CH		平成30年度	・適正な	な整備計画	及び管理	里・運営力	方法の検討	t			
		後期	平成31年度	・適正な	な整備計画	及び管理	里・運営力	が法の検討	t			
			平成32年度	・適正な	な整備計画	及び管理	里・運営力		•			
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期平成28年度		平成30年度	後期 平成31年度	平成32年度
		適正な整法の検討	を備計画及び管理・ け	運営方	目標値 実績値 達成率	- %	実施	実施	実施	実施	実施	実施
(3) 目柱	票指標				登成學 目標值 実績値	<u> %</u> 0						
					達成率	%						
					目標値							
					実績値	0/.						
	医如 素目力	<i>₩</i> ₽// /⊐ ≯	h lan ((la l=2) = ±la (+ - }= ¬	· v 11.46=3	達成率	% ************************************	E 324 de 34e or	14-21	担当	部名	雄勝総	合支所
8	取組項目名		今畑地区に整備する 1番畑地区に整備する		達成率	管理・道			担当	課名	地域扱	長興課
8 (1) 取新		雄勝伊設につい 【主な取	労畑地区に整備する → 労畑地区に整備する ・ で、適正な管理・ 対組内容】 は管理・運営方法の	「る、雄朋 運営方法	達成率 せい	管理・道			担当	課名	地域扱	長興課
		雄勝伊設につい 【主な取	**勢畑地区に整備すいて、適正な管理・ 対組内容】	である。 では では では である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	達成率 せい	管理・道 、雄勝 ² る。	公民館、体		担当	課名	地域扱	長興課
		雄勝伊設につい 【主な取	中勢畑地区に整備す いて、適正な管理・ 対組内容】 な管理・運営方法の	る、雄勝運営方法の検討・適正な	達成率 受の適正な 券総合支所 法を検討す	管理・道:、雄勝2~る。 営方法の	公民館、依		担当	課名	地域扱	長興課
(1) 取着	組概要	雄勝伊設につい 【主な耶・適正な	中勢畑地区に整備す いて、適正な管理・ 収組内容】 で管理・運営方法の 平成27年度	- る、雄服 運営方法 - 検討 - 適正な - 適正な	達成率 设の適正な 券総合支所 法を検討す	管理・道 、雄勝公 る。 営方法の	公民館、依 り検討 り検討		担当	課名	地域扱	長興課
(1) 取着		雄勝伊設につい 【主な耶・適正な	中勢畑地区に整備す いて、適正な管理・ 対組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度	- る、雄服 運営方法 - ・適正な - ・適正な	達成率 设の適正な 券総合支所す 大を検討す な管理・運	管理・道 、雄勝2 一る。 一首方法0 一首方法0	公民館、依 り検討 り検討		担当	課名	地域扱	長興課
(1) 取着	組概要	雄勝伊設につい 【主な耶・適正な	中勢畑地区に整備す マス・適正な管理・ 対組内容】 全管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度	- る、雄服 - 雄服 - 神 - 神 - 神 - 神 - 神 - 神 - 神 - 神 - 神 - 神	達成率 设の適正な 券総合支所す 管理・運 で管理・運	管理・道 、	公民館、依り検討り検討り検討		担当	課名	地域扱	長興課
(1) 取着	組概要	雄勝伊設につい 【主な取・適正な 前期	中勢畑地区に整備す で、適正な管理・ 対組内容】 全管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	る、雄形 雄勝 検討 ・ 適正な ・ 適正な ・ 適正な	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	管理・道 強勝な。 一 営 方法の 一 営 方法の 一 対 方法の 一 対 方法の	公民館、依 2) 検討 2) 検討 2) 検討 3) 検討 4) 対検討 5) 検討 6) 対検討 7) 検討 8) 対域 9) 検討 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 19 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 18 19 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 18 19 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 18 19 10	大 育館、艇	担当	課名	地域扱	長興課
(1) 取着	組概要	雄勝伊設につい 【主な取・適正な 前期	中勢畑地区に整備すって、適正な管理・ 対組内容】 全管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	る、雄形 雄勝 検討 ・ 適正な ・ 適正な ・ 適正な	を	管理・道 強勝な。 一 営 方法の 一 営 方法の 一 対 方法の 一 対 方法の	公民館、依 20 検 20 検 30 検 40 K 40		担当	課名	地域扱	長興課 - ン ト 施
(1) 取着	組概要	雄勝伊V は主なよう ・適正な 前期	中勢畑地区に整備す で、適正な管理・ 対組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	る、 運営方法 検討 ・ 適 正 た。 ・ 適 正 た。 ・ 適 正 た。	達成 で	管理・資産 対 対 対 対 は の は の は の は の は の は の は の は の	公民館、依 20 検 20 検 30 検 40 K 40	前期	担当	課名	地域扱	長興課 - ン ト 施
(1) 取着	組概要 度別取組 内容	雄勝伊V は主なよう ・適正な 前期	中勢畑地区に整備すって、適正な管理・ 対組内容】 で管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	る、 運営方法 検討 ・ 適 正 た。 ・ 適 正 た。 ・ 適 正 た。	達	管理・ 道営 営 営	公民館、依 20 検 20 検 30 検 40 検 40 検 50 検 60 検 60 検 60 検 70 検 80 大 90 検 10 大 10 大 </td <td>前 期 平成28年度</td> <td>担当医庫、観光</td> <td>課名 施設、商</td> <td>世域協 所業者テナ 平成31年度</td> <td>受興課ント施平成32年度</td>	前 期 平成28年度	担当医庫、観光	課名 施設、商	世域協 所業者テナ 平成31年度	受興課ント施平成32年度
(2)年月	組概要 度別取組 内容	雄勝伊V は主なよう ・適正な 前期	中勢畑地区に整備すって、適正な管理・ 対組内容】 で管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	る、 運営方法 検討 ・ 適 正 た。 ・ 適 正 た。 ・ 適 正 た。	さから	管理・資産 対 対 対 対 は の は の は の は の は の は の は の は の	公民館、依 20 検 20 検 30 検 40 検 40 検 50 検 60 検 60 検 60 検 70 検 80 大 90 検 10 大 10 大 </td <td>前 期 平成28年度</td> <td>担当医庫、観光</td> <td>課名 施設、商</td> <td>世域協 所業者テナ 平成31年度</td> <td>要興課ント施平成32年度</td>	前 期 平成28年度	担当医庫、観光	課名 施設、商	世域協 所業者テナ 平成31年度	要興課ント施平成32年度
(2)年月	組概要 度別取組 内容	雄勝伊V は主なよう ・適正な 前期	中勢畑地区に整備すって、適正な管理・ 対組内容】 で管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	る、 運営方法 検討 ・ 適 正 た。 ・ 適 正 た。 ・ 適 正 た。	達	管理・ 道営 営 営	公民館、依 20 検 20 検 30 検 40 検 40 検 50 検 60 検 60 検 60 検 70 検 80 大 90 検 10 大 10 大 </td <td>前 期 平成28年度</td> <td>担当医庫、観光</td> <td>課名 施設、商</td> <td>世域協 所業者テナ 平成31年度</td> <td>受興課ント施平成32年度</td>	前 期 平成28年度	担当医庫、観光	課名 施設、商	世域協 所業者テナ 平成31年度	受興課ント施平成32年度

0	历如话口夕		7 地に歩きの 含ても	_ ΔΔ:τπ . YE	日出の 松子	L			担当	部名	北上総	:合支所
9	拟組 垻 目 名	北上地区	区物販施設の適正な	「官理・ほ	世呂 の使む	J			担当	課名	地域技	長興課
		環境省 討する。	育が整備するビジタ	7ーセンタ	7一内に設	置を検言	寸する物則	反施設につ	ついて、通	値正な管理	里・運営力	が法を検
(1)取約	且概要		対組内容】 ☆管理・運営方法の)検討								
			平成27年度	・適正な	でで理・運	営方法0)検討					
		前期	平成28年度	・適正な	:管理・運	営方法∂)検討					
(9) 年	度別取組内容		平成29年度	・指定管	デ理を導入							
(2) +1	文为,以称此门石		平成30年度									
		後期	平成31年度									
			平成32年度									
			目標指標名			単位		前 期 平成28年度		亚成30年度	後期	
					目標値	_	実施	実施	実施	1 1000 1 152	1 101 1 12	1 1000 1 100
		適正な管	デ理・運営方法の検	討	実績値	%				\rightarrow	$\overline{}$	\sim
(3) 目相	票指標				目標値	/0						
					実績値	%						
					目標値	/0						
					実績値 達成率	%						
									担当	立 夕	州南総	会支訴
10	取組項目名	牡鹿鮎川	地区拠点施設の適	通正な管理			1			部名。		合支所 長興課
10	取組項目名	牡鹿魚	地区拠点施設の適 加地区に整備する		里・運営の	検討	商業者テナ	トントにつ	担当	課名	地域抗	長興課
10 (1) 取新		牡鹿鮎 討する。 【主な耶		おしかオ	里・運営の	検討	エ	ナントにつ	担当	課名	地域抗	長興課
		牡鹿鮎 討する。 【主な耶	は川地区に整備する 対組内容】	らおしか ^は か検討	里・運営の	シ検討・ンド、雨		ナントにつ	担当	課名	地域抗	長興課
		牡鹿鮎 討する。 【主な耶	5川地区に整備する 対組内容】 な管理・運営方法の	がおしかな か検討 ・適正な	里・運営の	か検討・ンド、南)検討	ナントにつ	担当	課名	地域抗	長興課
(1) 取着	且概要	牡鹿斛討する。 【主な耶・適正な	は川地区に整備する 対組内容】 ☆管理・運営方法の 平成27年度	が 検討 ・ 適正 ・ 適正 ・ 適正 ・ 適正 ・ 適正	単・運営の □ エールラ □ で理・運	が検討 シド、南 道営方法の 運営方法の)検討		担当 DVVで、道	課名	地域抗	長興課
(1) 取着		牡鹿斛討する。 【主な耶・適正な	は川地区に整備する 対組内容】 全管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度	が 検討 ・ 適正な ・ 適正な	型・運営の Rエールラ は管理・運 は管理・運	が検討 シンド、南 連営方法の 連営方法の	O検討 O検討 O検討(#	度導入等	担当のいて、遊	課名 適正な管理 決定)	地域法	長興課
(1) 取着	且概要	牡鹿斛討する。 【主な耶・適正な	は川地区に整備する 対組内容】 ・管理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度	が 検討 ・ 適正な ・ 適正な ・ 適正な	型・運営の (*管理・運 (*管理・運 (*管理・運	が検討 シンド、南 で営方法の で営方法の で営方法の	O検討 O検討 O検討(\$)	川度導入等 条例制定、	担当のいて、道の検討・管理運営	課名 適正な管理 決定)	地域法	長興課
(1) 取着	且概要	牡鹿無討する。 【主な耶・適正な	は川地区に整備する 対組内容】 で選・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度	が 検討 ・ 適正な ・ 適正な ・ 適正な	型・運営のスエールラ な管理・運 な管理・運 な管理・運	が検討 シンド、南 で営方法の で営方法の で営方法の)検討)検討)検討)検討)検討とま	川度導入等 条例制定、 	担当のいて、道	課名 適正な管理 決定) 方法等の 開業)	地域が建・運営を	長興課で法を検
(1) 取着	且概要	牡鹿無討する。 【主な耶・適正な	大川地区に整備する 対組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	が 検討 ・ 適正な ・ 適正な ・ 適正な	型・運営のスエールラ な管理・運 な管理・運 な管理・運	が検討 シンド、南 で営方法の で営方法の で営方法の	D検討 D検討 D検討(集 D検討と実	度導入等 ←例制定、 下施(予第 前 期	担当のいて、道 の検討・管理運営 重措置等、	課名 適正な管理 決定) 含方法等の 開業)	地域は上・運営を入り、決定)	長興課で法を検
(1) 取着	且概要	、 ・ ・ ・ ・ 適 正 な ・ う が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	大川地区に整備する 対組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	おしかな 検討 ・適正な ・適正な ・適正な	型・エール で 管理 理 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が検討 ジンド、南 道営方法の 道営方法の 道営方法の 道営方法の	D検討 D検討 D検討(集 D検討と実	川度導入等 条例制定、 	担当のいて、道 の検討・管理運営 重措置等、	課名 適正な管理 決定) 含方法等の 開業)	地域は上・運営を入り、決定)	長興課で法を検
(1) 取着	度別取組内容	、 ・ ・ ・ ・ 適 正 な ・ う が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	大川地区に整備する 文組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	おしかな 検討 ・適正な ・適正な ・適正な	型・運営のラーマック で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が検討 シド、南 道営方法の 道営方法の 道営方法の	D検討 D検討 D検討(#D)検討(#D)検討とま WRITE TRANSPORTER WRI	 	担当 かで、 がで、 を 管理運営 手 番 番 番 番 番 で で の 検 割・ で の で の で の の で の の の の の の の の の の の	課名 適正な管理 決定) 方法等の 開業)	地域 理·運営力)決定)	辰興課 万法を検
(1) 取新	度別取組内容	、 ・ ・ ・ ・ 適 正 な ・ う が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	大川地区に整備する 文組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	おしかな 検討 ・適正な ・適正な ・適正な	・ 本管 管 で で で で で で で で で で で で で で で で で	が検討 シド、南 道営方法の 道営方法の 道営方法の 道営方法の 道営方法の	D検討 D検討 D検討(#D)検討(#D)検討とま WRITE TRANSPORTER WRI	 	担当 かで、 がで、 を 管理運営 手 番 番 番 番 番 で で の 検 割・ で の で の で の の で の の の の の の の の の の の	課名 適正な管理 決定) 方法等の 開業)	地域 理·運営力)決定)	長興課で法を検
(1) 取新	度別取組内容	、 ・ ・ ・ ・ 適 正 な ・ う が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	大川地区に整備する 文組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	おしかな 検討 ・適正な ・適正な ・適正な	型・エス 管管管理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理 理	が検討 ジンド、南 道営方法の 道営方法の 道営方法の 道営方法の	D検討 D検討 D検討(#D)検討(#D)検討とま WRITE TRANSPORTER WRI	 	担当 かで、 がで、 を 管理運営 手 番 番 番 番 番 で で の 検 割・ で の で の で の の で の の の の の の の の の の の	課名 適正な管理 決定) 方法等の 開業)	地域 理·運営力)決定)	辰興課 万法を検
(1) 取新	度別取組内容	、 ・ ・ ・ ・ 適 正 な ・ う が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	大川地区に整備する 文組内容】 で理・運営方法の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	おしかな 検討 ・適正な ・適正な ・適正な	・ 本管 管 で で で で で で で で で で で で で で で で で	が検討 シド、南 道営方法の 道営方法の 道営方法の 道営方法の 道営方法の	D検討 D検討 D検討(#D)検討(#D)検討とま WRITE TRANSPORTER WRI	 	担当 かで、 がで、 を 管理運営 手 番 番 番 番 番 で で の 検 割・ で の で の で の の で の の の の の の の の の の の	課名 適正な管理 決定) 方法等の 開業)	地域 理·運営力)決定)	長興課で法を検

11 取組項目名	おしか家	で族旅行村オートキ	テャンプ場	易への指定	管理者制	制度の導力		担当担当			合支所 長興課
	おしか	家族旅行村オート	・キャンプ	プ場の適正	な施設の	つ管理・追	1営を図る			,	
(1)取組概要	・指定管	双組内容】 F理業務内容の検討 F理者の公募・選定									
		平成27年度	・指定管 ・指定管	管理業務内 管理者の公	容の検診	寸 론					
	前期	平成28年度	・指定管	管理者によ	る管理の)開始					
(2)年度別取組内容		平成29年度									
		平成30年度									
	後期	平成31年度									
		平成32年度					÷ #0			☆ ₩	
		目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度			後 期 平成31年度	
	指定管理	里者の公募・選定		目標値 実績値 達成率	- %	実施				$/\!/\!/$	
(3)目標指標		理者制度導入に伴う 関の削減人数	j)	目標値 実績値 達成率	人 %		6			$/\!/\!/$	
				目標値							
				達成率	%						
10 5/1075 17	ID NOT AN E		المراجعة الم	達成率	%			担当	部名	健原	東部
12 取組項目名		院の施設等市有財		分検討			- LA = 1 L - v	担当			表部 推進課
12 取組項目名 (1)取組概要	地域医 【主な取 ・市有則 ・法人と	院の施設等市有財 療充実のため、旧 対組内容】 対産の譲渡に係る格 の協議、調整 賃償還に係る東北財	日深谷病院	分検討	市有財産	をの譲渡る	と検討する	担当			
	地域医 【主な取 ・市有則 ・法人と	至療充実のため、旧 取組内容】 対産の譲渡に係る検 ・の協議、調整	日深谷病院 (計) オ務局との ・・法人と	の検討 たの施設等 の協議・調 対産の議、	市有財産整に係るも	食討、方金	十の決定	担当			
	地域医 【主な取 ・市有則 ・法人と	医療充実のため、旧 双組内容】 計産の譲渡に係る核 の協議、調整 賃償還に係る東北則	日深谷病院 (計) おろう は、 おろう は、 おろう は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、)検討 たの施設等)協議・調 対産の譲渡	市有財産 整 に調る 根 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	食討、方釒 才務局との	十の決定)協議・調	担当)。]整			
(1) 取組概要	地域医 【主な耶 ・市有 ・法人と ・地方債	藤充実のため、旧 対組内容】 対経の譲渡に係る格 の協議、調整 賃償還に係る東北則 平成27年度	日深谷病院 (計) おろう は、 おろう は、 おろう は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、)検討 たの施設等 ・協議・譲渡、 を関環に係 をの協議、係	市有財産 整 に調る 根 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	食討、方釒 才務局との	十の決定)協議・調	担当)。]整			
	地域医 【主な耶 ・市有 ・法人と ・地方債	藤充実のため、旧 対組内容】 対産の譲渡に係る検 の協議、調整 賃還に係る東北東 平成27年度 平成28年度	日深谷病院 (計) おろう は、 おろう は、 おろう は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、)検討 たの施設等 ・協議・譲渡、 を関環に係 をの協議、係	市有財産 整 に調る 根 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	食討、方釒 才務局との	十の決定)協議・調	担当)。]整			
(1)取組概要	地域医 【主な耶 ・市有 ・法人と ・地方債	展売実のため、旧 対理の譲渡に係る材 対産の譲渡に係る板 で協議、調整 で関選に係る東北東 平成27年度 平成28年度 平成29年度	日深谷病院 (計) おろう は、 おろう は、 おろう は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の検討 たの施設等 は産の協議・譲渡、係 で関環に係	市有財産 整 に調る 根 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	食討、方釒 才務局との	十の決定)協議・調	担当)。]整			
(1) 取組概要	地域医【主な取・法方信・地域方法	展売実のため、旧 対組内容】 対産の譲渡に係る核 の協議、調整 で関還に係る東北則 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	日深谷病院 (計) おろう は、 おろう は、 おろう は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の検討 たの施設等 は産の協議・譲渡、係 で関環に係	市有財産 整 に調る 根 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	食討、方釒 才務局との	か決定の協議・調の協議・調	型当)。	課名	健康打	住進課
(1) 取組概要	地域医【主な取・法方信・地域方法	展売実のため、旧 対解の 対定の 譲渡に係る核 の協議、調整 賃償還に係る東北則 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	日深谷病院 (計) おろう は、 おろう は、 おろう は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	か検討 たの施設・調 を協議・譲議に を賃貸協議に を賃貸場に	市有財産 整 に調る 根 の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	食討、方金 才務局との 才務局との 平成27年度	十の決定 D協議・調 D協議・調 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 の 可 の	型 整 整	課名		住進課
(1)取組概要	地域医は主な有人と情である。地域を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	展売実のため、旧 対理の譲渡に係る権 が認識、調整 が関連に係る東北東 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	日深 育 務 ・・・ と 有人方 人方 しまり まましま と ままま と ままま ままま ままま ままま ままま きょう おいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅう	の検討 たの施設等 は産の協議・譲渡、係 で関環に係	市有財産に調る調る調るをは、調のでは、関係を実出。関係を主は、関係を主は、関係を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	検討、方金 才務局との 才務局との	+の決定)協議・調)協議・調 前 期	型 整 整	課名	健康打	住進課
(1)取組概要	地域を取りた債をである。地域を有人を債がある。	京和内容】 「A Manage of A Manage	日深 育 務 ・・・ と 有人方 人方 しまり まましま と ままま と ままま ままま ままま ままま ままま きょう おいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はいしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅう	が を が が が が が が が が が が が が が	市有財産 に調る 調る 調る 単 位 一	食討、方金 才務局との 才務局との 平成27年度	十の決定 D協議・調 D協議・調 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 の 可 の	型 整 整	課名	健康打	住進課

13	取組項目名	介護関係	施設のあり方の検	討					担当担当		健原 介護(
(1) 取糸	且概要	ンター) が整備さ 廃止な 尾主な 取 ・介護関	福祉を目的に、公については、地域にか、行政で実施すか、行政で実施す介護関係施設のあり、		マンター Eが低下し いて検討	や民間の たことか する。	デイサー	-ビスセン	護支援セ ターなど	ンター・ の介護サ	デイサー ービス事	ビスセ 業所等
		・民間事	業者との協議・調 平成27年度	• 介護関	 係施設の 業者との			き 計				
		前期	平成28年度	・介護関	保施設の 野業者との	あり方に	こついての	方針の決	:定			
() ()			平成29年度		関係施設の 事業者との			方針の決	:定			
(2)年月	度別取組内容		平成30年度		地域福祉 「の移転に							
		後期	平成31年度	雄勝ラ	デイサービ	スセンタ	/ 一・雄勝	券在宅介護	支援セン	⁄ターの譲	乗渡につい	て検討
			平成32年度	・北上在	宅介護支	援センタ	′ーの廃止					
			目標指標名			単位	TI -boz /r nt	前期平成28年度		TF =boots the	後期	₩ -12 00 /F 195
		介護関係	施設のあり方につ	いて検	目標値実績値	_	実施	平成28年度	実施	平成30年度	平成31年度	1施設
(3) 目標	更指揮				達成率 目標値	%	1	実施		1 施設		
(3) 11/5	内1日(水	介護関係 方針の決	:施設のあり方につ :空	いいての	実績値	_		大旭		1 旭政		
		77 11 07 17			達成率	%	中华	中长		1 施設	0 +/c=n	
		民間事業	者との協議・調整	<u> </u>	目標値 実績値 達成率	<u>-</u> %	実施	実施		1 施設	2施設	
14	取組項目名	老人福祉	センター寿楽荘の	適正な管	7理・運営	の検討			担当担当		福祉	
(1)取約	且概要	要な検討 【主な取・ 適正な	[祉センター寿楽荘 を行う。また、受 組項目】 管理・運営方法の 徴収についての格	を益者負担 ()検討	日の観点か					ÆB C.A		
			平成27年度	適正な使用料	*管理・運 徴収につ	営方法の)検討 (討、方針	決定				
		前期	平成28年度									
(9) 年日	度別取組内容		平成29年度									
(4) 4/3	之则以船门台		平成30年度		や 管理・運 が利用者数			利用料金	:収入			
		後期	平成31年度		や で で で で で で で で で で で で で で で で の で の			利用料金	収入			
			平成32年度		や で理・運 が利用者数			利用料金				
			目標指標名			単位	亚成97年库	前期平成28年度		亚战30年库	後 期 平成31年度	
		適正な管	理・運営方法の検	·計	目標値 実績値 達成率	- %	実施	実施	1 8040年及	実施	実施	実施
(3)目標	票指標	使用料徵	収についての検討、	方針決定	目標値 実績値	_	実施					実施
		入浴利用	者数の増		達成率 目標値 実績値	人 %	_	_	8,000	8, 300	8,600	8,900
					達成率 目標値	<u>%</u> m	-	 _	910, 000	940, 000	970, 000	1,000,000
		利用料金	収入		実績値	円 0/						
		L			達成率	%	_	_				

15	取組項目名	ささえあ	いセンターの適正	Eな管理・	運営の検	討			担当担当		福祉	止部 総務課
(1)取約	组概要	実施する	R前に設置されるされための必要な検討 X組内容】 管理・運営方法の	付を行う。	・センター	について	て、稼働 ^後	後の管理経			-	
			平成27年度	・適正な	は管理・運	営方法0	検討					
		前期	平成28年度	・適正な	(管理・運	営方法0)検討					
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・適正な	は管理・運	営方法の	検討					
			平成30年度	・適正な	(管理・運	営方法の)検討					
		後期	平成31年度	・適正な	(管理・運	営方法の)検討・決	た定				
			平成32年度	・適正な	き管理・運	営の実施	歯および見	見直しの実	E 施			
			目標指標名	•		単位	亚成97年度	前 期平成28年度		亚成30年度	後期	
		適正な答	 で理・運営方法の格	<u>├</u> 章┼	目標値実績値	_	実施	実施	実施	実施	実施	実施
(a) [7]	ar like lari	週上なり	1年 建省为仏》	K 11 1	達成率	%						
(3) 目相	票指標				目標値 実績値							
					達成率 目標値	%						
					実績値							
					達成家	0/0						
1.0	斯如西口 力	±±1 m ≥1	一声にせ さんりたつ	「の仕屋/	達成率	%			担当	部名	福祉	止部
16	取組項目名		十画に基づく保育所 3過を待機児童への		À) 本宝レガ	小家的か	担当	課名	子ども	保育課
16		定員起 置計画を 【主な取 ・保育所	十画に基づく保育的 図過や待機児童への 策定し、計画的な 図組内容】 行再配置計画の見 行再配置計画の策定)対応等を k保育所の IU	含め、保	育環境の			担当	課名	子ども	保育課
		定員起 置計画を 【主な取 ・保育所	超過や待機児童への ・策定し、計画的な 対組内容】 「再配置計画の見値)対応等を (保育所の (((((((((((((((((((含め、保	育環境の実施する	5 .	か率的な保	担当	課名	子ども	保育課
		定員起 置計画を 【主な取 ・保育所	図過や待機児童への 策定し、計画的な 双組内容】 「再配置計画の見正 「再配置計画の策定)対応等を 保育所の IL E ・保育列	を含め、保 と含め、保 の統廃合を	育環境の実施する	í.	か率的な保	担当	課名	子ども	保育課
(1) 取希	组概要	定員起 置計画を 【主な耶 ・保育所 ・保育所	超過や待機児童への 策定し、計画的な 対組内容】 所再配置計画の見直 所再配置計画の策定 平成27年度)対応等を 保育所の で保育所の で保育所の ・保育所の ・保育所の	を含め、保 と含め、保 の統廃合を 所再配置計	育環境の実施する	が。 ゴレ E	か率的な保	担当	課名	子ども	保育課
(1) 取希		定員起 置計画を 【主な耶 ・保育所 ・保育所	超過や待機児童への 策定し、計画的な 対組内容】 「再配置計画の見直 「再配置計画の策定 平成27年度 平成28年度	○対応等を は保育所の ・保存所の ・保存の ・保存の	会め、保 の統廃合を 所再配置計	育環境の実施する	io	小率的な保	担当	課名	子ども	保育課
(1) 取希	组概要	定員起 置計画を 【主な耶 ・保育所 ・保育所	超過や待機児童への 策定し、計画的な 対組内容】 行再配置計画の見直 行再配置計画の策定 平成27年度 平成28年度 平成29年度	対応等の 保育所の ・保育所 ・保育所 ・保育所 ・保育所	会め、保みの統廃合を	育環境の 実施する 画の見面 画の策気	il E) 本的な保	担当	課名	子ども	保育課
(1) 取希	组概要	定員重を取ける。	図過や待機児童への 策定し、計画的な 別組内容】 再配置計画の見直 再配置計画の策定 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	対応保証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会め、保か、保かの、保かののでは、日本のでは、日	育環境の 実施する の見面 の第気 のの実行			担当	課名	子ども	保育課所再配
(1) 取希	组概要	定員重を取ける。	図過や待機児童への 策定し、計画的な 対組内容】 行再配置計画の見に 下再配置計画の策定 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	対応保証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会め、保をから、保をから、保をから、作用配置計で、「再配置計で、「再配置計で、」で、「再配置計で、」で、「再配置計で、」で、「「一」で、「一」で、「一」で、「一」で、「一」で、「一」で、「一」で	育環境の 実施する の見面 の第気 のの実行	近し 正 丁 丁 平成27年度	前 期 平成28年度	担当	課名	子ども	保育課所再配
(1)取組(2)年月	度別取組内容	定計を記されています。 定計を記されています ままま ままま ままま 前期 後期	図過や待機児童への 実定し、計画的な 対組内容】 行再配置計画の見に 下再配置計画の策定 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	対保育 ・	会め、保を 一会の統廃合を 「一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一	育環境できる。		前 期 平成28年度 実施	担当 子育の実践 平成29年度	課名	子と保育	保育課所再配
(1) 取希	度別取組内容	定計を発える。 「世界」を表示では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	四級では の の を を を を を を を を を を を を を	対保育 ・	会 か、 保 を か 、 保 を か 、 保 を か 、 保 を が 、	育実施する	近し 正 丁 丁 平成27年度	前 期 平成28年度	担当	課名	子と保育	保育課所再配

17	取組項目名	観光交流	で施設の適正な管理	!・運営の)検討					部名課名	産業商コ	
(1)取約	组概要	を目的と ための必 【主な取	所 活 は は で を が 要な検討を行う。 は は は は は は は の 管理経費の縮減		品の販路	各回復、匍	L 見光客の集	客増加				
			平成27年度	稼働後	後の管理経	費の縮減	或等、適 正		運営方法	この検討 これの		
		前期	平成28年度	稼働後	後の管理経	費の縮減	域等、適 正	Eな管理・	運営方法	この検討		
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・稼働後	後の管理経	費の縮減	或等、適正	こな管理・	運営方法	この検討		
			平成30年度									
		後期	平成31年度									
			平成32年度					>4 Hn			///	
			目標指標名			単位		前 期		平成30年度	後期 平成31年度	平成39年度
)管理経費の縮減等 運営方法の検討	· 適正	目標値 実績値 達成率	- %	実施	実施	実施		+ M, 31 + Ig	
(3) 目相	票指標				目標値	·						
					達成率 目標値	%						
					実績値							
					達成率	%						
18	取組項目名		イランドの適正な		達成率 運営の検討					課名	産業観光	
18		マンカ 【主な耶	イランドの適正な ボアイランドの管理 対組内容】 な管理・運営のあり	里・運営の	達成率 運営の検討 の適正なあ	り方をネ		_め必要 <i>な</i>	担当	課名		
		マンカ 【主な耶	ブアイランドの管理 対組内容】	里・運営の 方と利用	達成率 運営の検討 の適正なあ	り方を約対策の概	余計		担当	課名		
		マンカ 【主な耶	ずアイランドの管理 対組内容】 ☆管理・運営のあり	里・運営の 方と利用 ・適正な	達成率 運営の検討)適正なあ 引件数増加	り方を注対策の材	検討) 方の検討	,	担当	課名		
(1) 取納	组概要	マンカ 【主な取 ・適正な	がアイランドの管理 対組内容】 で管理・運営のあり 平成27年度	・運営の方と利用・適正な・適正な	達成率 運営の検討 の適正なあ 引件数増加 な管理・運	り方を? 対策の材 営のあり	検討) 方の検討) 方の検討	t t	担当	課名		
(1) 取納		マンカ 【主な取 ・適正な	がアイランドの管理 対組内容】 で管理・運営のあり 平成27年度 平成28年度	連営の方と利用・適正な・適正な・適正な	達成率 運営の検討 の適正なあ 引件数増加 は管理・運 は管理・運	り方を? 対策の材 営のあり 営のあり	() 方の検) 方の検) 方の検) 方の検) 方の検	t t	担当検討を実	課名		
(1) 取納	组概要	マンカ 【主な取 ・適正な	対アイランドの管理 対組内容】 ・管理・運営のあり 平成27年度 平成28年度 平成29年度	連営の方と利用・適正な・適正な・適正な	達成率 運営の検討 の適正なあ 同件数増加 は管理・運 は管理・運	り方を? 対策の村 営のあり 営のあり	検討) 方の検) 方の検) 方の検) 方の検) 方と利用	寸 寸 件数増加 ^対	担当検討を実	課名。		
(1) 取納	组概要	マンズ 【主な取 ・適正な 前期	マイランドの管理 対組内容】 で理・運営のあり 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	連営の方と利用・適正な・適正な・適正な・適正な・適正な	達成率 運営の検討 の適正なあ 同件数増加 全管理・運 全管理・運 全管理・運	り方をを対策の村営のあり 営のあり 営のあり	検討) 方の検) 方の検) 方の検) 方と利用) 方と利用	け け 件数増加な 引件数増加 対策の実施	担当検討を実対策の検診	課名。	観光	七 課
(1) 取納	组概要	マンズ 【主な取 ・適正な 前期	でイランドの管理 対組内容】 で管理・運営のあり 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	連営の方と利用・適正な・適正な・適正な・適正な・適正な	達成率 対	り方をを対策の村営のあり 営のあり 営のあり	検討) 方の検) 方の検) 方の検) 方と利用) 方と利用] 件数増加	け け 件数増加な 対策の実施 前 期	担当検討を実対策の検診	課名 「注解する。		七課
(1) 取納	组概要	マンス 【主な取り ・適正な 前期 後期	対アイランドの管理 対組内容】 ・管理・運営のあり 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	連営の方と利用・適正な・適正な・適正な・適正な・適正な・適正な	達成率 では では では では では では では で	り方を注対策の材質のあるののある。 対し 位 一	検討) 方の検) 方の検) 方の検) 方と利用) 方と利用] 件数増加	け け 件数増加な 対策の実施 前 期	担当検討を実対策の検診	課名 「注解する。	後期	七課
(1) 取納	组概要 度別取組内容	マンス 【主な取り ・適正な 前期 後期	マイランドの管理 対組内容】 で理・運営のあり 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名	連営の方と利用・適正な・適正な・適正な・適正な・適正な・適正な	達 連 連 連 連 連 連 連	り方を注 対策の 営の あい のの のの のの あい と 利 位 一 %	検討) 方の検) 方の検) 方の検) 方の検) 方と利用) 方と利用]件数増加 。 平成27年度	寸 件数増加対 対策の実施 前 野成28年度	担当 検討をす 対策の検言 1対策の格	課名 注施する。 計 で成30年度	後 数 数 数	平成32年度
(2)年月	组概要 度別取組内容	マンス 【主な取り ・適正な管 適正な管	マイランドの管理 対組内容】 で理・運営のあり 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名	連営の方と利用・適正な・適正な・適正な・適正な・適正な・適正な	達成 で	り方を注対策の材質のあるののある。 対し 位 一	検討) 方の検) 方の検) 方の検) 方の検) 方と利用) 方と利用 中数増加 平成27年度	け け 件数増加な 対策の実施 前 取 平成28年度	担当 検討をす 対策の検記 コ対策の検証 実施	課名 注施する。	後 _{平成31年度} 実施	平成32年度

19	取組項目名	石ノ森萬	高面館指定管理料 <i>0</i>)あり方の	検討					部名課名		業部 ・ 商工課
(1) 压火	·n +uri ====	援のあり	系萬画館と株式会社) 方を明確にするた						が地の活性	性化に対す		
(1)取約	组燃安	石ノ森	対組内容】 系萬画館の指定管理 ☆社街づくりまんほ						トの算定			
			平成27年度		≨萬画館の ☆社街づく							∤の算定
		前期	平成28年度		系萬画館の 会社街づく							∤の算定
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・株式会	系萬画館の 会社街づく	りまんに	ぼうへの運	営費補助	全のあり			トの算定
			平成30年度	• 物販事	会社街づく 事業を指定	管理事業	きに含めた	場合の指	定管理料	∤の算定		
		後期	平成31年度	・物販事	会社街づく 事業を指定	管理事業	とに含めた	場合の指	定管理料	∤の算定		
			平成32年度		☆社街づく 耳業を指定					∤の算定		
			目標指標名	1		単位	亚成97年度	前期平成28年度			後期	
		/#!/クニ ご /	・ルナノボミしの村	力学	目標値	□	5	1	1	1	1	1
		(株)街つく	りまんぼうとの協	施譲	実績値 達成率	%						
(3) 目相	票指標				目標値 実績値							
					達成率	%						
					実績値							
		1			達成率	%			扣水	立口夕	本为	<u> </u>
20	取組項目名		也方卸売市場の維持		骨の縮減と	運営形態			担当	部名課名	水產	業部 全課
(1) 取約		水産物形態につ	加地方卸売市場のタ ついて、指定管理制 対組内容】	動率的な遺 側度等を含	骨の縮減と 国営を目的 含めた検討	運営形態 とし、約 を実施で	推持管理費 ける。	が ない かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	担当	課名	水產	全課
		水産物 形態につ 【主な耶 ・維持管	が地方卸売市場の家 いて、指定管理制	加率的な追 削度等を含 :実績調査	骨の縮減と 配営を目的 含めた検討 でに基づく	運営形態 とし、終 を実施で 経費縮減	推持管理費 ける。 域策の検系	景縮減策の 対と実施	担当	課名	水產	全課
		水産物 形態につ 【主な耶 ・維持管	加地方卸売市場の郊 ついて、指定管理制 対組内容】 管理経費実績調査と	か率的な追引度等を含まれる。	骨の縮減と 配営を目的 含めた検討 でに基づく	運営形態 とし、終 を実施で 経費結び 実績調査	推持管理費 ける。 或策の検診 方向性の決 至と経費術	操縮減策の 対と実施 決定 諸減策の検	担当の実施と無法計・策定	課名	水產	全課
		水産物 形態につ 【主な耶 ・維持管	加地方卸売市場の郊 かいて、指定管理制 対組内容】 管理経費実績調査と 場・超低温施設の過	かなを言れている。	では ででは でである。 でのに をはまづくの では でのいての では では では では では でいての では では でいての	運営形態とし、Aできたを実施では発費によるという。 経費計と対象を表現では、経費がある。 経費がある。 経費がある。 には、Aできたできた。 を実施できた。 を実施できた。 を実施できた。 を実施できた。 を実施できた。 を実施できた。 を実施できた。 を実施できた。 を表現できた。 を表してもた。 を表してもた。 を表してもた。 を表してもた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をま	維持管理費 域策の検診 対方向性の検診 を経費網に では、経費網に では、経費網に によびで、 によびで、 にまびで、 によびで、 にまびで、 にまびで、 にまびで、 にまびで、 にまびで、 にまびで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで、 にまでで にまでで にまで にま	操縮減策の 対と実施 定 高減策の検 こついての	担当)実施と魚 討・策定 検討 で実施と	課名 市場・起	水產	全課
(1) 取翁	组概要	水産物形態について、土土を取り、土を取り、	加地方卸売市場の努 ついて、指定管理制 放組内容】 管理経費実績調査と ・超低温施設の選 平成27年度	か	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	運 と を と と と と を と と を と と を と と と と と と	推持管理 表示の性の を経済の性の を経済でいる。 を選挙が、といる。 を選挙が、は、経済である。 を表示して、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、これには、というでは、これには、というでは、これには、というでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	骨縮減策の 対と実施 法定 を費縮減策の検 での を費縮減策 を費縮減策	担当の実施と対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	課名 表市場・起 検証	水區低温施設	全課
(1) 取翁		水産物形態について、土土を取り、土を取り、	加地方卸売市場の努力いて、指定管理制 対組内容】 管理経費実績調査と ・超低温施設の通 平成27年度 平成28年度	か	では、	運とを経検 実施 績施 績形 策が になる 経検 実施 満瀬の 査に になる では になる は になる こう は になる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	推持る。 様方の性の機能に経営を選挙を対して、 を選挙を対して、 を選挙を対して、 を選挙を対して、 を選挙を対して、 を選挙を対して、 を選挙を対して、 を選挙を対して、 を選挙を対して、 を選挙を対して、 を認め、 の含む、 の含む、 の言で、 のででで、 のでで、 、	操縮減策の 対と実施 法に を を を と を と を を を を を を を を を を を を を	担当の実施と無意味を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	課名 計場・起 対	水産の低温施設を持ち	全課
(1) 取翁	组概要	水産物形態について、土土を取り、土を取り、	加地方卸売市場の努 ついて、指定管理制 対組内容】 計理経費実績調査と ・超低温施設の通 平成27年度 平成28年度 平成29年度	本	情の縮減と的計では、 ではないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	運とを 経検 実施 績施 績形 画曲計 計 が かっぱん 変な	推持る。 策向 と対して である である である である である とばれ がった のまま は まず の とが の のまま かった で に しん いん	操縮減策の 対と実施 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	担当またの実施と対する。または、実施を対する。または、実施を対する。またのでは、できない。またのでは、できない。このでは、できない。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	課名 計場・起 対	水産の低温施設を持ち	全課
(1) 取翁	组概要	水産物形態になります。水産なり、土土の水産が、水産物では、土土の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の	加地方卸売市場の努力いて、指定管理制 対組内容】 管理経費実績調査と ・超低温施設の通 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	本度 実営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を関する。 との との では、 との できます。 という にんしゃ しゅう はいい いっぱい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい は	運とを経検 実施 績施 績形 計営 計覧 とを 経検 実施 績施 績形 無計 計営 計順の 査の 査 (定指の 実画) の 変換 の 変	は持る。 策向 と対して という では とばいる では とばいる とがらいる とがらいる はいい とがらいる はいい とがらいる はいい とがらいる はいい とがらいる はい とがらいる はい という はい とい という はい とい という はい という はい はい という はい	操縮減策の 対と定 が表した を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	担当無対し、地域の実施とは、策策を対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	課名・表情に 検証 で の調査・ を	水 B 低温施設 を 検討 検討	を課 との運営
(1) 取翁	组概要	水産物形態になります。水産なり、土土の水産が、水産物では、土土の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の	加地方卸売市場の家 かいて、指定管理制 対組内容】 管理経費実績調査と ・超低温施設の通 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	本度 実営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と 的計 くの の温 実温 実営 言言 営運	運とを経検 実施 績施 績形 計営 計覧 とを 経検 実施 績施 績形 無計 計営 計順の 査の 査 (定指の 実画) の 変換 の 変	は 大	操縮減策の 対と定 がでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	担当無対し、地域の実施とは、策定は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	課名・表情に 検証 で の調査・ を	水 B 水 B 化 A M A M A M A M A M A M A M A M A M A	室課 の運営
(1) 取翁	组概要	水態になりでは、水態になりでは、水態になりでは、水態になりでは、水質には、水質では、水質では、水質では、水質では、水質では、水質では、水質では、水質で	加地方卸売市場の努力 が地方卸売市場の努力 が組内容】 管理経費実績調査と では27年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	本	を と 的計 くの の温 実温 実営 言言 営運	運とを経検 実施 績施 績形 計営 計営 とま を と 調の を で を で を で を で を で を で を で を で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で と で で と で に か ま で と で と で と で と で と で と で と で と で と で	# 持る	操縮減策の 対と定 がでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	担当 (課名 ・ ・ ・ ・ ・ 検証 ・ が向性の調 ・ ・ の調査・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	水産 経低温施設 後 期度 要成31年度 実施	室課 の運営
(1) 取翁	度別取組内容	*** **	加地方卸売市場の努力 が地方卸売市場の努力 が組内容】 第理経費 理経費に超低温施設の 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度	本	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	運とを経検 実施 績施 績形 画画計 計営 計営 し実 費討 績設 調設 調態 策(画 画計 画計 単 一 順 条 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	# は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	操縮減策の 対と定 がでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	担当 () () () () () () () () () (課名 ・検証 ・検証 ・検証・の調査・・ ・の調査・・	水 B 水 B 化 A M A M A M A M A M A M A M A M A M A	室課 の運営

21	取組項目名	水産物料	2方卸売市場多機能	(施設の通	新正か答用	· 潘学 //	の給計		担当	部名	産	業部
21	以他沒日石									課名		全課
			地方卸売市場石巻売 移行後の管理経費の									て、指定
(1)取約	组概要	・指定管	組内容】 管理・運営方法のを 理制度移行後の管理 間終了後の使用料(経費の縮	減等、指定			び適正な管	管理・運営	方法等の	協議・検言	1
			平成27年度	・適正な	は管理・運	営方法0)検討					
		前期	平成28年度	・適正な	な管理・運	■営方法の)実施/実	尾施方法 σ	検証・見	直直し		
(2)年	度別取組内容		平成29年度	・適正な	は管理・運	■営方法の)実施/実	≅施方法⊄	検証・見	直し		
(2) 2	₹ //14 // ////		平成30年度	・指定管	管理者への)指導及で	バ適正な 管	き理・運営	方法等の)協議・検	討	
		後期	平成31年度	・指定管 見直し	管理者への	指導及び	が適正な 管	で理・運営	方法等⊄)実施/実	尾施方法 σ	検証・
			平成32年度		斗(利用料 旨定管理者			が指定手続		ドに基本協		
			目標指標名			単位	亚出97年度	前 期 平成28年度		亚出20年度	後期	
					■目標値		実施	実施	実施	平成30年度	平成31年度	平成32年及
		適正な管	理・運営方法の検	討	実績値	- 0/						
(3) 目相	雲指標	华宁答理	計制度移行後の管理経費	もの統領	達成率 目標値	%				6	6	6
(-)	A14 11 12 1	等、指定管	『理者への指導及び適』	Eな管理・	実績値	回						
		連宮万法等	をの協議・検討		達成率	%						実施
			(利用料金) 減免規	見定の見	目標値 実績値	_						
		直し			達成率	%						
22	元如元日 4											
22		呼 左。	: 相古労仕宅の答用	の外部を	永 武				担当	部名	建調	没部
	取組埧目名		T規市営住宅の管理						担当	課名	住宅管	管理課
	取組埧目名	既存住	宅と合わせ、新た	に建設を	と進めてい	る復興な	公営住宅の)効率的か	担当	課名	住宅管	管理課
(1)取約		既存住 び新規市 【主な耶		に建設を	と進めてい	る復興な	公営住宅の	の効率的が	担当	課名	住宅管	管理課
(1)取約		既存住 び新規市 【主な耶	至と合わせ、新た 可営住宅の管理の外 な組内容】	に建設を計画を記述	と進めてい				担当つ適正な	課名	住宅管	管理課
(1) 取組		既存住 び新規市 【主な耶	宅と合わせ、新た 対性宅の管理の外 対は内容】 宅の管理の外部委	に建設をおっています。	を進めていた行う。	管理委訂	その開始	(建設完了	担当いつ適正な	課名	住宅管	管理課
	组概要	既存住 び新規市 【主な耶・市営住	注字と合わせ、新た 対対に字の管理の外 は組内容】 注字の管理の外部委 平成27年度	に建設を記る	を進めてい を行う。 公営住宅の)管理委言	その開始 その開始	(建設完了	担当つ適正な	課名	住宅管	管理課
		既存住 び新規市 【主な耶・市営住	空と合わせ、新た 対象組内容】 対象組内容】 空宅の管理の外部委 平成27年度 平成28年度	に建設を記る	を進めていた行う。 公営住宅の 公営住宅の	管理委託	Eの開始 Eの開始 Eの開始	(建設完了	担当公面正方	課名	住宅管	管理課
	组概要	既存住 び新規市 【主な耶・市営住	定宅と合わせ、新た 対営住宅の管理の外 別組内容】 空の管理の外部委 平成27年度 平成28年度 平成29年度	に建設を記る	を進めていた行う。 公営住宅の公営住宅の	管理委託	Eの開始 Eの開始 Eの開始	(建設完了	担当公面正方	課名	住宅管	管理課
	组概要	既存住び新規市【主な取・市営住	定宅と合わせ、新た 対営住宅の管理の外 対組内容】 空の管理の外部委 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	に建設を記る	を進めていた行う。 公営住宅の公営住宅の	管理委託	Eの開始 Eの開始 Eの開始	(建設完了 (建設完了 (建設完了 で理の完全	担当 一後順次) 一後順次) 一後順次)	課名	住宅行るため、	管理課 既存及
	组概要	既存住び新規市【主な取・市営住	定宅と合わせ、新た 対営住宅の管理の外 対組内容】 空の管理の外部委 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	に建設を記る	を進めていた行う。 公営住宅の公営住宅の	管理委託	Eの開始 Eの開始 Eの開始 Cに伴い管	(建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了	担当 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次)	課名は管理を図	後期	管理課 既存及
	组概要	既存住び新規市【主な取・市営住	定宅と合わせ、新た 所営住宅の管理の外 別組内容】 空宅の管理の外部委 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	に建設を記る	と進めていた。 学性宅の 公営住宅の 公営住宅の 公営住宅の	管理委託 管理委託 整備完 単位	Eの開始 Eの開始 Eの開始 Cに伴い管	(建設完了 (建設完了 (建設完了 で理の完全	担当 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次)	課名は管理を図	後期	管理課 既存及
	组概要	既存住び新規市【主な取・市営住	 宅と合わせ、新た 対 対 対	に建設を記る	と進めていた。 学性宅の 公営住宅の 公営住宅の 公営住宅の 公営住宅の	管理委託 管理委託 管理委託 整備完工	Eの開始 Eの開始 Eの開始 Tに伴い管	(建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了	担当 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次)	課名 は管理を図 平成30年度	住宅行 るため、 平成31年度	管理課 既存及
	度別取組内容	既存住でいます。 既存住では、 ままでは、 ままでは、 前期 後期	 宅と合わせ、新た 対 対 対	に建設を記る	と進めていた と行う。 営住宅の 公営住宅の 公営住宅の	管理委託 管理委託 整備完 単位	Eの開始 Eの開始 Eの開始 Tに伴い管	(建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了	担当 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次)	課名 は管理を図 平成30年度	住宅行 るため、 平成31年度	管理課 既存及
(2)年月	度別取組内容	既存住でいます。 既存住では、 ままでは、 ままでは、 前期 後期	 宅と合わせ、新た 対 対 対	に建設を記る	と進う。 と進行う。 営住宅の 会営住宅の 会営住宅をの は関連では、 は値値率値値をでする。 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは)管理委託)管理委託)管理委託)整備完) 単位 戸 %	Eの開始 Eの開始 Eの開始 Tに伴い管	(建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了	担当 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次)	課名 は管理を図 平成30年度	住宅行 るため、 平成31年度	管理課 既存及
(2)年月	度別取組内容	既存住でいます。 既存住では、 ままでは、 ままでは、 前期 後期	 宅と合わせ、新た 対 対 対	に建設を記る	と進かていた。 学性をの 会営性をの 会営性をの 会営性をの は関連では、 は値値を値値をで は値値率値値率をの はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは	管理委託 管理委託 管理委託 整備完工	Eの開始 Eの開始 Eの開始 Tに伴い管	(建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了	担当 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次)	課名 は管理を図 平成30年度	住宅行 るため、 平成31年度	管理課 既存及
(2)年月	度別取組内容	既存住でいます。 既存住では、 ままでは、 ままでは、 前期 後期	 宅と合わせ、新た 対 対 対	に建設を記る	と進う。 と進行う。 営住宅の 会営住宅の 会営住宅をの は関連では、 は値値率値値をでする。 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは)管理委託)管理委託)管理委託)整備完) 単位 戸 %	Eの開始 Eの開始 Eの開始 Tに伴い管	(建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了 (建設完了	担当 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次) 一後順次)	課名 は管理を図 平成30年度	住宅行 るため、 平成31年度	管理課 既存及

23 取組項目名	防災マリーナの適正な管理・運営の検討 旧北上川河口部に整備される防災マリーナについて、稼働後の管理							担当担当			建設部	
				シマリーナ	について	て、稼働後	後の管理経					
(1)取組概要	【主な取	ための必要な検言 Q組内容】 Eな管理・運営方法										
		平成27年度	・適正な	ご管理・運	営方法の)検討						
	前期	平成28年度	・適正な	でで理・運	営方法の	つ検討、オ	×面利用者	との意見	.交換会 第	尾施		
(2)年度別取組内容		平成29年度		は管理・運 ら防災マリ					.交換会第	尾施、船船	所有者	
		平成30年度	・適正な行	管理・運営力	方法の検討	大水面利用	者等との意	見交換会実	尾施、指定 ⁶	管理者制度	設計	
	後期	平成31年度	・指定管	育理条例 策	定、指定	官管理者選	選定手続き					
		平成32年度	・指定管	管理開始								
		目標指標名			単位	亚成97年度	前期平成28年度	亚成90年度	亚成30年度	後期		
	適正な管	・運営方法の検	食討	目標値実績値	- 0/	実施	実施	検討	検討	検討	実施	
(3)目標指標				達成率 目標値 実績値	<u>%</u>							
				達成率	%							
				目標値								
				目標値 実績値 達成率	%							
24 取組項目名	水辺のフ	『ロムナードの適』	Eな管理・	実績値達成率				担当担当				
24 取組項目名 (1) 取組概要	北上川 を実施す 【主な取	プロムナードの適コ 川岸に整備される るための必要な核 取組内容】 	る水辺のフ 倹討を行う	実績値 達成率 運営の検 プロムナー	討	いて、整備	帯後の管理	担当	課名	河川港	港湾室	
	北上川 を実施す 【主な取	川岸に整備される ⁻ るための必要な核 	る水辺のフ 検討を行う 生の検討	実績値 達成率 運営の検 プロムナー	計・ドについ		帯後の管理	担当	課名	河川港	港湾室	
	北上川 を実施す 【主な取	川岸に整備されることの必要な校 るための必要な校 	る水辺のフ 検討を行う 生の検討 ・適正な	実績値達成率運営の検プロムナー	討 ドについ 営方法 <i>0</i>)検討		担当経費の締	課名	河川港	港湾室	
	北上川を実施す	川岸に整備される一るための必要な材 対組内容】 Eな管理・運営方法 平成27年度	る水辺のつき 検討を行き との検討 ・適正な ・適正な	実績値 達成率 運営の検 プロムナー う。 管理・運	討 ドについ 営方法の 営のたる)検討	一体の協議	担当 経費の締 会設立を	課名 議議等、道	河川港	港湾室	
(1) 取組概要	北上川を実施す	川岸に整備される一るための必要な格 対組内容】 Eな管理・運営方法 平成27年度 平成28年度	5 水辺のつき 検討を行き との検討 ・ 適正な ・ 適正な	実績値 達成率 運営の検 プロムナー 。 、管理・運	討 ドについ 営方法の 営のたる	O検討 り、官民- り、官民-	-体の協議	担当 経費の締 会設立を 会を設立を	課名 活減等、道 檢討。	河川湾	世湾室 里・運営	
(1) 取組概要	北上川を実施す	川岸に整備されることの必要な格別組内容】 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	水辺のつき大の検討・適正な・協議会	実績値を達成率を運営のがあった。	討 ドについ 営方法の 営のたる 営のたる) (対 (対 (対 (対 (対 (対 (対 (対 (対 (対	ー体の協議 一体の協議 そや民間事	担当 経費の統 会設立を 会を設立 業者等、	課名 活減等、道 檢討。	河川湾	世湾室 里・運営	
(1) 取組概要	北上川を実施す	川岸に整備されることのの必要な格別組内容】 日本ででは、100円	水辺の行き 大砂を行き ・ 適 ・ 適 ・ 協議 ・ 都市・	実績値率運営のかった管理・運運でででででででできます。	討 ドについ 営方法の 営のた。 学 区域の)検討 り、官民 地元住 り指定に	-体の協議 -体の協議 -体や民間事 ついて企画 5用による	担当 経費の統 会設立を 会を設立 業者等、 「・検討。	課名 飛動。 検討。 地域との	河川洋道正な管理の合意形成	港湾室 ・運営 ・	
(1) 取組概要	北上川を実施す	川岸に整備される つまための必要な格 2組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	水辺の行き 大砂を行き ・ 適 ・ 適 ・ 協議 ・ 都市・	実績値率と連ばののようでででは、管理・運動をできます。	討 ドについ 営方法の 営のた。 学 区域の)検討 り、官民 地元 定に つ指定に、 上 で成27年度	-体の協議 -体の協議 -体の協議 -体の協議 - や民間事 - いて企画 -	担当 経費の統 会設立を 会を設立 業者等、 i・検討。 適正な維 平成29年度	課名 減等、道 検討。 地域との 平成30年度	河川淳 通正な管理 う合意形成 で成31年度	港湾室 【上・運営 「 下成32年度	
(1)取組概要	北上川を実施する。	川岸に整備される つまための必要な格 2組内容】 正な管理・運営方法 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	水辺を から から から から から から がら がら がら がら がら がら がらい。 から から から から から から から から から から から から から	実績値率では、管理・運運では、管理・運運・運運・運運・運運・運車・運車・運車・運車・運車・運車・運車・運車・運車・	対 ドについ 営方法のため 学 医域の) 検討 り、官 民一 り、 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-体の協議 -体の協議 -体の協議 -体の協議 - で企画 - による 前 期	担当経費の統会を設立会を設立業者等、	課名 減等、道 検討。 地域との 持管理。	河川ネ 通正な管理 合意形成 後 期	港湾室 ・運営 ・	
(1) 取組概要	北上川を実施する。	川岸に整備される つための必要な格 取組内容】 正な管理・運営方法 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	水辺を から から から から から から がら がら がら がら がら がら がらい。 から から から から から から から から から から から から から	実績値率を検えている。 ででできる。 では、 できます。 できまずる できます できます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はい	討 対 対 対 が 対 (の 大 (の () () () () () () () () () ()検討 り、官民 地元 定に つ指定に、 上 で成27年度	-体の協議 -体の協議 -体の協議 -体の協議 - や民間事 - いて企画 -	担当 経費の統 会設立を 会を設立 業者等、 i・検討。 適正な維 平成29年度	課名 減等、道 検討。 地域との 平成30年度	河川淳 通正な管理 う合意形成 で成31年度	港湾室 【上・運営 「 下成32年度	
(1)取組概要	北上川を実施する。	川岸に整備される つための必要な格 取組内容】 正な管理・運営方法 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	水辺を から から から から から から がら がら がら がら がら がら がらい。 から から から から から から から から から から から から から	実達 運 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選	対につい営方法のためでは、等区域の単位)検討 り、官民 地元 定に つ指定に、 上 で成27年度	-体の協議 -体の協議 -体の協議 -体の協議 - や民間事 - いて企画 -	担当 経費の統 会設立を 会を設立 業者等、 i・検討。 適正な維 平成29年度	課名 減等、道 検討。 地域との 平成30年度	河川淳 通正な管理 う合意形成 で成31年度	港湾室 【上・運営 「 下成32年度	
(1)取組概要	北上川を実施する。	川岸に整備される つための必要な格 取組内容】 正な管理・運営方法 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	水辺を から から から から から から がら がら がら がら がら がら がらい。 から から から から から から から から から から から から から	実産 運 エー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	討 対 対 対 が 対 (の 大 (の () () () () () () () () () ()検討 り、官民 地元 定に つ指定に、 上 で成27年度	-体の協議 -体の協議 -体の協議 -体の協議 - や民間事 - いて企画 -	担当 経費の統 会設立を 会を設立 業者等、 i・検討。 適正な維 平成29年度	課名 減等、道 検討。 地域との 平成30年度	河川淳 通正な管理 う合意形成 で成31年度	港湾室 【上・運営 「 下成32年度	

25	取組項目名	小・中学	校の学区再編計画	iに基づく	学校施設	の統廃さ	<u> </u>			部名		委員会
	70/14 7/11		における均等な教					4.去が田で	,	課名		総務課
			にねりる均等な数 画を策定し、学校				ン週上なる	以目別未り	が確保を区	するため、	小•甲3	と区の子
(1) 取約	组概要)組内容】 [編計画素案策定									
			平成27年度	• 庁内検	討委員会	での検討	寸					
		前期	平成28年度		計委員会 編計画素		卜検討委員	員会、住民	説明会の	実施		
(9) 年1	度別取組内容		平成29年度		計委員会 採編計画策		卜検討委員	会、住民	説明会の	実施		
(2) +1	文加拉州山下了石		平成30年度	計画に	「沿った小	中学校の	の統廃合に	に向けた住	三民説明会	の実施と	: 準備	
		後期	平成31年度	計画に	「沿った小	中学校0	の統廃合に	に向けた住	三民説明会	の実施と	準備	
			平成32年度		- 沿った小 応廃合実施		の統廃合に	,		の実施と		
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期 平成28年度		平成30年度	後期	
		W 17 47 45			目標値	_	実施	実施	1777-152	1774-1752	1774150	1774 100
		字区再編	計画素案の策定		実績値	%						
(3) 目标	票指標	/n =# =#. T	78U444 0 33	四人安长	目標値	, ,			実施	実施	実施	実施
		保護有及	び地域住民への説	明宏美施	実績値	%						
		25 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	記去の体点		目標値	,			策定			
		子区丹神	計画の策定		実績値達成率	%						
0.6	市 如1百日夕	七	の体へ						担当	部名	教育	委員会
26	取組項目名	市立高校		夕梓ル	田七北兴	いたのと生々	二 、	温田の亦川	担当	課名	桜坂高等学村	交開設準備室
(1) 取締		少子化 造りと教 【主な取	その統合 二、生徒の価値観の で育環境を充実させ は組内容】 が校統廃合の実施						担当	課名 状況の中	桜坂高等学村	交開設準備室
		少子化 造りと教 【主な取	乙、生徒の価値観の 育環境を充実させ x組内容】	こ、かつ刻		校運営			担当	課名 状況の中	桜坂高等学村	交開設準備室
		少子化 造りと教 【主な取	え、生徒の価値観の で育環境を充実させ な組内容】 5校統廃合の実施	こ、かつ刻	か率的な学	校運営			担当	課名 状況の中	桜坂高等学村	交開設準備室
(1) 取着	组概要	少子化 造りと教 【主な取 ・市立高	は、生徒の価値観の 対育環境を充実させ 対組内容】 対税廃合の実施 平成27年度	こ、かつ刻	か率的な学	校運営			担当	課名 状況の中	桜坂高等学村	交開設準備室
(1) 取着		少子化 造りと教 【主な取 ・市立高	は、生徒の価値観の 京育環境を充実させ 取組内容】 京校統廃合の実施 平成27年度 平成28年度	こ、かつ刻	か率的な学	校運営			担当	課名 状況の中	桜坂高等学村	交開設準備室
(1) 取着	组概要	少子化 造りと教 【主な取 ・市立高	は、生徒の価値観の 京育環境を充実させ 取組内容】 応校統廃合の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度	こ、かつ刻	か率的な学	校運営			担当	課名 状況の中	桜坂高等学村	交開設準備室
(1) 取着	组概要	少子化造りと教 【主な取・市立高	ス、生徒の価値観の 対育環境を充実させ 対象組内容】 が校統廃合の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度	こ、かつ刻	か率的な学	校運営		か市立高杉	担当と等がある。	課名 状況の中	桜坂高等学村	交開設準備室
(1) 取着	组概要	少子化造りと教 【主な取・市立高	ス、生徒の価値観の 対育環境を充実させ 対解境を充実させ 対解療合の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	こ、かつ刻	か率的な学	校運営	を行うため	前期	担当と等がある。	課名の状況の中である。	桜坂高等学村の大阪を担ける。地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、	交開設準備室
(1) 取着	组概要	少りとなった。	は、生徒の価値観の 京育環境を充実させ 取組内容】 京校統廃合の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	・市立高	か率的な学 「校統廃合」 「標値値」	単位	を行うため	か市立高杉	担当と等がある。	課名の状況の中である。	桜坂高等学村	交開設準備室
(1) 取着	度別取組内容	少りとなった。	 大生徒の価値観の 京環境を充実させる 収組内容】 校統廃合の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 	・市立高	か率的な学 「「「「「「「「「「」」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「	の実施	を行うため	前期	担当と等がある。	課名の状況の中である。	桜坂高等学村の大阪を担ける。地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、	交開設準備室
(2)年月	度別取組内容	少りとなった。	 大生徒の価値観の 京環境を充実させる 収組内容】 校統廃合の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 	・市立高	h率的な学	校運営をの実施単位の%	を行うため	前期	担当と等がある。	課名の状況の中である。	桜坂高等学村の大阪を担ける。地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、	交開設準備室
(2)年月	度別取組内容	少りとなった。	 大生徒の価値観の 京環境を充実させる 収組内容】 校統廃合の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 	・市立高	か率的な学 「「「「「「「「「「」」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「	単位	を行うため	前期	担当と等がある。	課名の状況の中である。	桜坂高等学村の大阪を担ける。地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、地方では、	交開設準備室

	取組項目名	学校給食	センターの統廃台	予及び調理	黒業務の民	:間委託等	等の検討			部名 二		委員会
			食センターの効率						-	á課名 開設後の学		管理課 アンター
(1) H ₂ ½	組概要		↑及び調理業務のE	、間安託等	まを含めた	こめり力を	(検討する	Ö .				
(1) 均义市	阻ొ	・学校糸	組内台』 食センター及び調 食センター及び調				‡★播相∂) 笛定				
		于风机	 						10 - 1			
			平成27年度		合食センタ合食センタ					基本構想 の	策定	
		前期	平成28年度		合食センタ 合食センタ					基本構想の	策定	
(2)年月	度別取組内容		平成29年度		合食センタ 合食センタ					基本構想の	策定	
(2) 2	Z/3-14X/III. 17-1		平成30年度	・「石巻 の統廃	巻市学校給 軽合及び調	食センタ 理業務の	マー整備基)民間委託	基本構想」 近移行のた	に基づき ぬの検記	き、学校系 寸・準備	食センタ	' —
		後期	平成31年度		ど校給食セ ど校給食セ			め 民間委	き託を実加	包		
			平成32年度	学校系 を継続	合食センタ き	一の統序	を合及び 訓	間理業務 <i>の</i>)民間委請	毛移行のた	上めの検討	け・準備
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期 平成28年度		平成30年度	後期平成31年度	
		学校給食	センター及び調理	単業務の	目標値	_	実施	一	T //X23 T/X	実施	実施	実施
		あり方の		L)(1))	実績値達成率	%						
(3) 目柱	票指標		センター及び調理 関する基本構想の		目標値 実績値 達成率	- %	実施					
			センターの今後の		目標値	-/0				実施	実施	実施
		画と調理	業務の民間委託に	一向けた						II		
			準備・実施	- 円 () /こ	実績値 達成率	%						
28		検討及び	、準備・実施			%				首部名		委員会
28	取組項目名	検討及び 社会教育	が準備・実施 所施設のあり方の格	è計	達成率		= 150	1.田十分	担当	課名	生涯等	学習課
28	取組項目名	検討及び 社会教育	、準備・実施	è計	達成率		字廃、利活	5用方法、	担当	課名	生涯等	学習課
28		検討及び 社会教育 社会教育 する。 【主な耶	が準備・実施 所施設のあり方の格	計 ⁻ るため、	達成率 社会教育	施設の存			担当	課名	生涯等	学習課
		検討及び 社会教育 社会教育 する。 【主な耶	び準備・実施 所施設のあり方の検 対育施設を利活用す 収組内容】	計 ⁻ るため、	達成率 社会教育	施設の存			担当	課名	生涯等	学習課
		検討及び 社会教育 社会教育 する。 【主な耶	び準備・実施 所施設のあり方の検 対育施設を利活用す 収組内容】	i計 -るため、 こついての	達成率 社会教育	施設の存金議の記	2置及び核	食 計	担当 運営方法	4課名 去等のあり	生涯 ^を う方につい	学習課
		検討及び 社会教育 社会教育 する。 【主な耶	び準備・実施 施設のあり方の検 で育施設を利活用す な育施設のあり方に で育施設のあり方に	i計 -るため、 こついての ・社会奉	達成率 社会教育)庁内検討	施設の存金議の記	设置及び桁	食討)庁内検討	担当運営方法	音課名 去等のあり と と と と と で あ り あ り と と と と と と と と と と と と と	生涯 ^を う方につい	学習課
(1) 取着	組概要	検討及び 社会教育 社会教育 する。 【主な取・社会教	び準備・実施 が施設のあり方の検 で育施設を利活用す 収組内容】 で育施設のあり方に 平成27年度	i計 -るため、 こついての ・社会奉	達成率 社会教育 か テハ検討 か 育施設の	施設の存金議の記	设置及び桁	食討)庁内検討	担当運営方法	音課名 去等のあり と と と と と で あ り あ り と と と と と と と と と と と と と	生涯 ^を う方につい	学習課
(1) 取着		検討及び 社会教育 社会教育 する。 【主な取・社会教	び準備・実施 が施設のあり方の検 で育施設を利活用す 取組内容】 で育施設のあり方に 平成27年度 平成28年度	計るため、・社会者・社会者・庁内権	達成率 社会教育 か テハ検討 か 育施設の	施設の存金議の記 会議の記 あり方に の設置及	设置及び格 こついての こついて方	食討 の庁内検討会 下内検討会 本系につい	担当運営方法が会議の記録での根拠での根拠である。	音課名 去等のあり 全置及び検 食計	生涯 ^を う方につV	学習課いて検討
(1) 取着	組概要	検討及び 社会教育 社会教育 する。 【主な取・社会教	び準備・実施 が施設のあり方の検 で育施設を利活用する な育施設のあり方に で育施設のあり方に 平成27年度 平成28年度 平成29年度	き さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ	達成率 社会教育 か方内検討 対方施設の 対方 対方 対方施設の 対方 対方 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	施設の存金議の記念 あり方に あり方に あり方に を変える。	全置及びを こついての こついて方 とついて方 とでいて方 とでいて をこついて に していて に こついて の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	検討 つ庁内検討 テ内検討会 本系に長寿の可能 任等の可能	担当運営方法を議の記録でのなって、は、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	音課名 去等のあり 登置及び検 会計 について	生涯等の方についる。	学習課いて検討を検討を検討
(1) 取着	組概要	検討及び社会教育社会を表する。	び準備・実施 が施設のあり方の検 で育施設を利活用する を利活用する を利益のあり方に ででである。 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、	i 計 る た め 、	達成率 社会教育 社会教育 対方を対する 対方を対する 対対のののの 対対ののののの 対対ののののの 対対ののののの 対対ののののの 対対ののののの 対対のののののの	施設の存 会議の記 あり方 であり 理 であり 理 方 た で た り 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方	全置及び格 こついての こついて月 なごして とこうで とこうで とこうで とこうで とこうで とこうで とこうで とこうで	検討 「方内検討会」 「下内検討会」 「本系に長寿の可能 「長寿命化計	担当運営方法を議の記念でのおります。 は、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	音課名 会議等のあり とここで 会計 をここで にここで にここで にここで にここで にここで にここで にここで	生涯等 方につい 診計 を合計画」 を合計画」 を発	学習課 で 検討 を検討 を 検討 に を 検討 に を を 検討 に を を を を を を を を を を を を を を を を を を
(1) 取着	組概要	検討及び社会教育社会を表する。	び準備・実施 が施設のあり方の検 で育施設を利活用する。 経済を利活用する。 経済を利活用する。 経済を利活用する。 経済を利活用する。 経済を利活用する。 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	i 計 る た め 、	達成率 社会教育 対合の対対のの対対のの対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対の対対	施設の存 会議の記 あり方 であり 理 であり 理 方 た で た り 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方 方	全置及び格 こついての こついて月 なごして とこうで とこうで とこうで とこうで とこうで とこうで とこうで とこうで	検討 「方内検討会」 「下内検討会」 「下内検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の表すが、できる。 「「下の表すが、できる。」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」 「「「「「「	担当運営方法を議のでは、では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では	音課名 会議等のあり とここで 会計 をここで にここで にここで にここで にここで にここで にここで にここで	生涯等 方につい 計画」 を合計画」 を合計画」 を発 期	学習課 で 検討 を検討 に を検討 を を検討 に を を しまる を しまる かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた
(1) 取着	組概要	検討及び 社会教育 社会会。 は会会 で は会教育 を もる。 な会会 が り り り り り り り し の も り り り り り り り り り り り り り り り り り り	 (準備・実施) (重施設のあり方の核で育施設を利活用する) (電力を利活用する) (電力を) (電力を)	i 計 る	達成率 育 計 の か 検対 で 検 音 に あ を で 検 音 に あ か に で か で か で か で か で か で か で か で か で か	施設の存 会議の ありり であり であり であり でに でに でに でした でした でした でした でした。 でした。 でした。 でした。 でした	は置及びを こついての こついで でで でで につい での での での での でで して での でで で で で で で で で で で で で で で で で で	検討 「方内検討会」 「下内検討会」 「下内検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の表すが、できる。 「「下の表すが、できる。」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」 「「「「「「	担当運営方法を議のでは、では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では	音課名 会議等のあり を置及びが をで、、につ、統 をで、、統 につ、統 を言い、統 につ、統 を言い、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につい、統 につい、 にのい、 につい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっ、 にっい、 にっ、 にっい、 にっ、 にっ、 にっ、 にっ、 にっ、 にっい、 にっい、	生涯等 方につい 計画」 を合計画」 を合計画」 を発 期	学習課 で 検討 を検討 に を検討 を を検討 に を を を を を を を を を を を を を を を を を を
(1) 取着	組概要	検討 社会 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。 なる。	下海 (本)	計 - る - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達 社 庁 育 前 の の 第の し の つり 値値率値	施設の存 会議の記 あり方 であり 理 であり でに かった であり でに かった	は置及びを こついての こついて ででででいての ででいてがでする。 こついででは、 でででする。 こついででは、 ででいてが、 ででいてが、 ででいてが、 ででいてが、 でいいでは、 でいなでは、 でい	検討 「方内検討会」 「下内検討会」 「下内検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の検討会」 「下の表すが、できる。 「「下の表すが、できる。」 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」 「「「「「「	担当運営方法を議のでは、では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では	音課名 会議等のあり を置及びが をで、、につ、統 をで、、統 につ、統 を言い、統 につ、統 を言い、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につい、統 につい、 にのい、 につい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっ、 にっい、 にっ、 にっい、 にっ、 にっ、 にっ、 にっ、 にっ、 にっい、 にっい、	生涯等 方につい 計 を合計画」 を合計画」 を強31年度	学習課 で 検討 を検討 に を検討 を を検討 に を を を を を を を を を を を を を を を を を を
(1) 取新	組概要	検討社会大会社会社会社会社会本会教検教検教検教検教育教育社会社会	 (準備・実施) (施設のあり方の検え育施設を利活用する) (本育施設を利活用する) (本育施設のあり方に本現 27年度) 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名 「施設のあり方になる」 	計 - る - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達 社 庁 育 前 会 育 前 の の 第の し の つり 値値値率	施設の存 会議の ありり であり であり であり でに でに でに でした でした でした でした でした。 でした。 でした。 でした。 でした	な置及び格 こついて で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	検討 方 方 方 方 方 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	担当運営方法を議のでは、では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では	音課名 会議等のあり を置及びが をで、、につ、統 をで、、統 につ、統 を言い、統 につ、統 を言い、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につい、統 につい、 にのい、 につい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっ、 にっい、 にっ、 にっい、 にっ、 にっ、 にっ、 にっ、 にっ、 にっい、 にっい、	生涯等 方につい 計 を合計画」 を合計画」 を分計画」 を分割を第 で成31年度 平成31年度	学習課 で検討 を検討 対会議に を検討 変定
(1) 取新	組概要	検社すせ社会	 (準備・実施) (本産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産産	計 っ さ さ さ さ こ つ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	達 社 庁 育 前 の の 等の しの つり 値値率値値率値	施設の を あ り か で で で で で で で で で で で で で で で で で で	な置及び格 こついて で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	検討 方 方 方 方 方 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	担当運営方法を議のでは、では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では	音課名 会議等のあり を置及びが をで、、につ、統 をで、、統 につ、統 を言い、統 につ、統 を言い、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につ、統 につい、統 につい、 にのい、 につい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっい、 にっ、 にっい、 にっ、 にっい、 にっ、 にっ、 にっ、 にっ、 にっ、 にっい、 にっい、	生涯等 方につい 計 を合計画」 を合計画」 を分計画」 を分割を第 で成31年度 平成31年度	学習課 で検討 を検討 対会議に を検討 変定

29	取組項目名	旧石巻/	、リストス正教会教	女会堂の通	適正な管理	・運営の)検討		担当担当	部名課名	教育 生涯学	委員会 学習課
			テハリストス正教会 な検討を行う。	会教会堂は	こついて、	復元後の	つ管理経費	骨の縮減等				
(1)取約	組概要	【主な取	な傾的を行う。 双組内容】 全管理・運営方法の)検討								
			平成27年度	・適正な	は管理・運	営方法の)検討					
		前期	平成28年度	・適正な	は管理・運	営方法の)検討					
(2)年	度別取組内容		平成29年度	・適正な	(管理・運	営方法の)検討					
(2) +1	交加机机门石		平成30年度	・適正な	よ管理運営							
		後期	平成31年度									
			平成32年度					V.			//	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期平成28年度		平成30年度	後期 平成31年度	
		適で かべ	で理・運営方法の検	<u>}</u>	目標値実績値	_	実施	実施	実施	, , ,		
		適工な目	1年 连音为仏》	411	達成率	%						
(3) 目柱	票指標	適正な管	で理・運営の実施		目標値 実績値	_				実施		
					達成率 目標値	%						
					実績値							
						0/	1					
		<u> </u>			達成率	%			4n W	40 D	***	£ =
30	取組項目名		かんけい丸の利潤		達成率				担当担当	課名		学習課
(1) 取着		平成25 な管理力 【主な耶	手かんけい丸の利記 5年度に寄贈された 5法等を含めた利記 な組内容】 日策の検討	_陶芸丸寿	達成率 	丸につい	いて適正な	4財産管理	担当	課名	生涯等	学習課
		平成25 な管理力 【主な耶	5年度に寄贈された 7法等を含めた利活 双組内容】	上陶芸丸美 6用策の権	達成率 	丸につい。	いて適正な	4財産管理	担当	課名	生涯等	学習課
		平成25 な管理力 【主な耶	5年度に寄贈された 万法等を含めた利沼 双組内容】 引策の検討	- 陶芸丸美 活用策の材 ・ 利活月	達成率 対 手かんけい 食討を行う	丸につい。	で適正な	¢財産管理	担当	課名	生涯等	学習課
(1) 取渝	組概要	平成2: な管理力 【主な取 ・利活用	5年度に寄贈された 万法等を含めた利記 収組内容】 引策の検討 平成27年度	・ 利活月 ・ 利活月	達成率 対	丸につい。			担当を行う必	課名	生涯等	学習課
(1) 取渝		平成2: な管理力 【主な取 ・利活用	5年度に寄贈された 万法等を含めた利記 対組内容】 引策の検討 平成27年度 平成28年度	・ 利活月 ・ 利活月	達成率 対 手かんけい 検討を行う 目策の検討	丸につい。			担当を行う必	課名	生涯等	学習課
(1) 取渝	組概要	平成2: な管理力 【主な取 ・利活用	5年度に寄贈された 方法等を含めた利記 対組内容】 引策の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・ 利活月 ・ 利活月	達成率 対 手かんけい 検討を行う 目策の検討	丸につい。			担当を行う必	課名	生涯等	学習課
(1) 取渝	組概要	平成2:な管理力 【主な取・利活用 前期	5年度に寄贈された 万法等を含めた利沼 双組内容】 引策の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・ 利活月 ・ 利活月	達成率 対 手かんけい 検討を行う 目策の検討	丸につい。		や定及び選	担当を行う必	課名	生涯学	学習課
(1) 取渝	組概要	平成2:な管理力 【主な取・利活用 前期	5年度に寄贈された 5法等を含めた利沼 2組内容】 3策の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	・ 利活月 ・ 利活月	達成率 対 手かんけい 検討を行う 目策の検討	丸につい。	里の方針〉		担当を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能	課名公要がある	生涯学のことから	学習課
(1) 取渝	組概要	平成2:な管理力 【主な取・利活用 前期	5年度に寄贈された 万法等を含めた利記 収組内容】 引策の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	・ 利活月 ・ 利活月	達成率 対 手かんけい 検討を行う 目策の検討	丸につい。	里の方針〉	で 定及び選	担当を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能	課名公要がある	生涯学のことから	学習課
(1) 取渝	組概要 度別取組 内容	平成2:な 2: 本第 1 主 1 主 2 末 3 末 4 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5	5年度に寄贈された 万法等を含めた利記 収組内容】 引策の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	・ 利活月 ・ 利活月	達成率 対	丸につい。	里の方針汐	前 期 _{平成28年度}	担当を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能を行う必能	課名公要がある	生涯学のことから	学習課
(1) 取新	組概要 度別取組 内容	平成2:な 2: 本第 1 主 1 主 2 末 3 末 4 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5 末 5	5年度に寄贈された 万法等を含めた利記 取組内容】 可能の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 平成32年度	・ 利活月 ・ 利活月	達成 対	丸につい。 単位 一 %	里の方針汐	前 期 _{平成28年度}	担当 を行う必 定の実施 平成29年度	課名公要がある	生涯学のことから	学習課

31	取組項目名	複合文化	だ施設の適正な管理	里・運営の)検討				担当担当			委員会 設開設準備室
			建設される石巻市		公施設につ	いては、	稼働後0)管理経費				
(1) 取約	且概要	【主な取	:めの必要な検討を 組内容】 管理・運営方法の									
			平成27年度	・適正な	*管理・運	営方法の)検討					
		前期	平成28年度	・適正な	でで理・運	営方法の)検討					
(2) 年	度別取組内容		平成29年度	・適正な	:管理・運	営方法の)方針決定	<u> </u>				
(2) 2	ZWIAVIII I II		平成30年度	・指定管	管理者の選	定						
		後期	平成31年度	・指定管	管理者の決	定/ネー	ーミングラ	テイツの募	集			
			平成32年度	・ネーミ	ングライ	ツの導力						
			目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	
		適正な管	。 理・運営方法の検	討	目標値実績値	-	実施	実施	実施	実施	実施	1777-102
(3) 目核	票指標	ネーミン	·グライツの検討・	導入	達成率 目標値 実績値	%					検討	実施
					達成率 目標値 実績値	%						
					達成率	%			lm xle	-Los 60	401 -4	r. D ^
32	取組項目名		のあり方の検討						担当担当	課名	体育技	委員会 辰興課
32 (1) 取糸		体育施 【主な取	さのあり方の検討 i設を利活用するた x組内容】 i設のあり方につい		育施設の存	廃、利活		運営方法	担当	課名	体育技	長興課
		体育施 【主な取	i設を利活用するた	いての庁内	育施設の存	廃、利活の設置及	なび検討		担当等のあり	課名 方につい	体育技	長興課
		体育施 【主な取	で設を利活用するた 2組内容】 1設のあり方につい	、ての庁/ ・体育が	育施設の存 対検討会議	廃、利益の設置及	なび検討 \ての庁	7検討会議	担当等のあり	課名 方につい び検討	体育技	長興課
(1) 取翁	且概要	体育施 【主な耶・体育施	設を利活用するた 対組内容】 設のあり方につい 平成27年度	ての庁グ・体育が・体育が	育施設の存 対検討会議 面設のあり	廃、利活の設置が 方につい 方につい	なび検討 いての庁 いての庁 いての庁 いての	N検討会議 N検討会議	担当等のあり	課名 方につい び検討	体育技	長興課
(1) 取希		体育施 【主な耶・体育施	i設を利活用するた 対組内容】 i設のあり方につい 平成27年度 平成28年度	・ 体育が・ 体育が・ 体育が	育施設の存 対検討会議 直設のあり 直設のあり	廃、利活の設置が 方につい 方につい	なび検討 いての庁 いての庁 いての方向	N検討会議 N検討会議 可性を再検	担当等のあり	課名 方につい び検討	体育技	長興課 - る。
(1) 取希	且概要	体育施 【主な耶・体育施	設を利活用するた 取組内容】 設のあり方につい 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・ 体育 が ・ 体育 が ・ 体育 が ・ 体育 が	育施設の存 対検討会議 正設のあり 正設のあり	廃、利活の設置が 方につい 方につい 方につい	なび検討 いての庁が いての方に	N検討会議 N検討会議 可性を再検 長寿命化計	担当等のあり	悪名方について検討で検討を発育されて	体育技	長興課一る。
(1) 取希	且概要	体育施・体育施・神神	設を利活用するた 取組内容】 設のあり方につい 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	・ 体育 が ・ 体育 が ・ 体育 が ・ 体育 が	育施設の存 対検討会議 正設のあり 正設のあり	廃、利活の設置が 方につい 方につい 方につい	なび検討 いての庁がいての方向 いての「長	内検討会議 内検討会議 可性を再検 長寿命化計 長寿命化計	担当等のありの設置及の設置及の設置及で設置及で設置及で設置及で設置及であり、「一画」、「一画」、「	悪名方について検討で検討を統廃合言	体育技 いて検討す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	長興 計 計 定
(1) 取希	且概要	体育施・体育施・加速・体育施・体育施・前期	設を利活用するた 取組内容】 設のあり方につい 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	・ 体育 が ・ 体育 が ・ 体育 が ・ 体育 が	育施設の存 対検討会議 正設のあり 正設のあり 正設のあり	廃、利活の設置が 方につい 方につい 方につい	なび検討 いての庁がいての方向 いての「長いての「長いての「長いての」	N検討会議 N検討会議 N性を再検 を事命化計 を寿命化計	担当等のありの設置及の設置及の設置及一画」、「一画」、「	悪名 方につい び検討 が検討 統廃合言	体育する 体育する 体育する 体育する を移り、 を移り、 をります。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	長興課である。
(1) 取希	且概要	体育施 【主な育施 ・体育施 前期 後期	i設を利活用するた R組内容】 i設のあり方につい 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	・ての庁グ・体育が・体育が・体育が・体育が・体育が	育施設の存 対検討会議 正設のあり 正設のあり 正設のあり	廃、利活を 方 方 方 方 方 単 一	なび検討 いての庁がいての方向 いての「長いての「長いての「長いての」	可検討会議 可性を再検 長寿命化計 長寿命化計 期	担当等のありの設置及の設置及の設置及一画」、「一画」、「	悪名 方につい び検討 が検討 統廃合言	体育する 体育する 体育する 体育する を移り、 を移り、 をります。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	長興課である。
(1) 取希	度別取組内容	体育施 【主な育施 ・体育 前期 後期 体育会認識	設を利活用するた 取組内容】 認知のあり方につい 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 で成32年度 1 標 指 標 名 での設置・検討 いる体育施設数	・ての庁グ・体育が・体育が・体育が・体育が・体育が	す施設の存 対検討会議 正設のあり 正設のありり 正設のありり 正設のありり 正設のありり 正設のありり 正設のありり 正設のありり	廃、利活 の設置 が 方 方 方 方 方 方 方 方 方	なび検討 いての庁が いての方に いての「長 での「長 での「長 での「長	内検討会議 内検討会議 可性を再検 を寿命化計 を寿命化計 順平成28年度	担当等のありの設置及の設置及の設置及で設置及でである。	悪名 方につい び検討 が検討 統廃合言	体育する 体育する 体育する 体育する を移り、 を移り、 をります。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	長興課である。

33	取組項目名	総合運動	か公園への指定管理		の道ス				担当	i部名	教育	委員会
55	以此人人								i課名	体育技	辰興課	
(1) 取約	組概要	【主な耶 ・指定管	画動公園の効果的な 対組内容】 ・理業務内容の検討 ・理者の公募・選定	管理者 制度	を導入す	ける。						
			平成27年度		管理業務内 管理者の公							
		前期	平成28年度	・総合道	軍動公園指	定管理者	皆制度導入					
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・総合道	運動公園第	3 工区の	の管理方法	らの検討				
(=/ 1 /2	2,3,1,0,121,3,1		平成30年度	・指定管	管理業務内	容の検言	寸					
		後期	平成31年度	・指定管	管理者の公	:募・選に	È					
			平成32年度	• 総合道	運動公園指	定管理和	皆制度導 及			11	/// Hir	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期平成28年度		平成30年度	後期平成31年度	平成32年度
		₩ ₩ ₩ ₩	1本の八声 湿点		目標値	_	実施	実施	実施	実施	実施	
		指疋官坦	君の公募・選定		実績値達成率	%						
(3) 目标	票指標				目標値							
					実績値達成率	%						
					目標値 実績値							
										1		
					達成率	%						
24		(色本 III 河		- 完答冊 -					担当	i部名		委員会
34	取組項目名		「川運動公園への指 河川運動公園への指		者制度の導	入	と 図 ス た が	大	担当	i課名	体育技	委員会 長興課
	取組項目名組概要	追波川 【主な耶	「川運動公園への指 河川運動公園の家 組内容】 期・内容の検討		者制度の導	入	を図るため	1	担当	i課名	体育技	
		追波川 【主な耶	河川運動公園の雰 润川運動公園の雰	効果的なが	者制度の導	・運営で	を図るため)指定管理	担当	i課名	体育技	
		追波川 【主な耶	河川運動公園の郊 組内容】 期・内容の検討	効果的なが	皆制度の導施設の管理	・運営で	を図るため)指定管理	担当	i課名	体育技	
(1) 取渝	組概要	追波川【主な耶・導入時	河川運動公園の郊 組内容】 	効果的なが	皆制度の導施設の管理	・運営で	を図るため)指定管理	担当	i課名	体育技	
(1) 取渝		追波川【主な耶・導入時	河川運動公園の郊 組内容】 ・ 内容の検討 平成27年度 平成28年度	・導入時	皆制度の導施設の管理	[人]・運営で		力指定管理	担当	i課名	体育技	
(1) 取渝	組概要	追波川【主な耶・導入時	河川運動公園の第 組内容】 ・内容の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・導入時・指定管	皆制度の導 施設の管理 ・ ・ ・ 内容	[人]・運営さ の検討	र ो	治定管理	担当	i課名	体育技	
(1) 取渝	組概要	追波川 【主な耶 ・導入時 前期	河川運動公園の第 組内容】 ・ 内容の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	・ 導入 ・ 指定 ・ 指定 ・ 指定 ・ に に に に に に に に に に に に に	者制度の導 施設の管理 等期・内容	(人) (小) (連営できる) (の) (検討) (容の) (検討) (容の) (検討) (お) (お) (お) (お) (お) (お) (お) (お) (お) (お	£	度導入	担当を持ちます。	i課名	体育技	辰興課
(1) 取渝	組概要	追波川 【主な耶 ・導入時 前期	河川運動公園の第 組内容】 ・ 内容の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	・ 導入 ・ 指定 ・ 指定 ・ 指定 ・ に に に に に に に に に に に に に	者制度の導 施設の管理 ・ 内容 管理業務内 管理者の公	(人) (小) (連営できる) (の) (検討) (容の) (検討) (容の) (検討) (お) (お) (お) (お) (お) (お) (お) (お) (お) (お	寸 臣 管理者	度導入	担当を持ちます。	製名を導入する	後期	辰興課
(1) 取渝	組概要	追波川 【主な取民・導入 財 前期	河川運動公園の第 2組内容】 手期・内容の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	・ 導入 ・ 指定 ・ 指定 ・ 指定 ・ に に に に に に に に に に に に に	が ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり まま	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	寸 臣 管理者	度導入	担当を持ちます。	製名を導入する	後期	辰興課
(1) 取新	組概要	追波川 【主な取民・導入 財 前期	河川運動公園の名 組内容】 市期・内容の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	・ 導入 ・ 指定 ・ 指定 ・ 指定 ・ に に に に に に に に に に に に に	が ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり まま	[入]・運営で の検討 容の検討 公園指定	古 臣管理者制	度導入	担当を持ちます。	課名 ジ導入する 平成30年度	後期 平成31年度	辰興課
(1) 取新	組概要 度別取組内容	追波川 【主な取民・導入 財 前期	河川運動公園の名 組内容】 市期・内容の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	・ 導入 ・ 指定 ・ 指定 ・ 指定 ・ に に に に に に に に に に に に に	が ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり まま	(ス) (2) ・運営で (2) ・運営で (3) (4) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	古 臣管理者制	度導入	担当を持ちます。	課名 ジ導入する 平成30年度	後期 平成31年度	辰興課
(1) 取新	組概要 度別取組内容	追波川 【主な取民・導入 財 前期	河川運動公園の名 組内容】 市期・内容の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	・ 導入 ・ 指定 ・ 指定 ・ 指定 ・ に に に に に に に に に に に に に	が ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり まま	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	古 臣管理者制	度導入	担当を持ちます。	課名 ジ導入する 平成30年度	後期 平成31年度	辰興課

35	取組項目名	牡鹿交流	でセンターの機能及	なび運営力	方法の見直	L			担当担当			委員会 長興課
		牡鹿交 す。	流センターの有効	が利用する	るため、牡	鹿交流す	こンターの	つあり方を	含めた機	能及び追	営方法を	:見直
(1) 取糸	組概要	【主な取	(組内容】 「を含めた機能及び	ド運営方法	去を見直し	方針の液	き定					
			平成27年度	・ありカ	方を含めた	機能及び	ド運営方法	よを見直し	方針の決	定		
		前期	平成28年度	・あり力	方を含めた	機能及で	ド運営方法	よを見直し	方針の決	定		
(2) 年	度別取組内容		平成29年度									
(2) 776	文加州和广门石		平成30年度		川用者を増 ブランドと							清崎運
		後期	平成31年度	・施設和 動公園/	川用者を増 ブランドと	やすた。 の連携 ^を	の取組み	メとして、 事業と共催	近隣のオ した施設	ートキャ	・ンプ場や 開する。	清崎運
			平成32年度		川用者を増 ブランドと			事業と共催			開する。	
			目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度	平成29年度	平成30年度	後 期 平成31年度	
			:含めた機能及び選 方針の決定	屋営方法	目標値 実績値 達成率	- %	実施		.,,,		,,,,,	
(3) 目核	票指標	存続に向]けた施設利用者数	女の増加	目標値 実績値	人				5,000	5, 500	6, 000
					達成率 目標値 実績値	%						
					達成率	%			+n //	÷n 4	₩ <u>~</u> ~	£ 11 / A
36	取組項目名	図書館に	おける指定管理者	計 制度導力	人の検討				担当担当			委員会 書館
(1)取約	组概要	【主な耶	費削減及び効率的 独項目】	りな事業選	軍営のため	指定管	5 理 老 制 压	4の道えた	· 給計する			
			別の事例調査 議の実施			, 11,70	4.左右 1995	マッサバ で	1大月17 ~	,		
			の事例調査			, JHAC F	4 4 . E (1912)	文 少寺八飞	1847 7 %	7 o		
			2の事例調査 議の実施				4 4. E (10)	文 の寺八で	17,417	70		
(2)年月	专別取組 内容	• 検討会	での事例調査 議の実施 平成27年度			, JII/C F	4 ZE- FI 11970	く ツ・寺八・6	17, 17, 16	70		
(2)年月	度別取組内容	• 検討会	で 型の事例調査 議の実施 平成27年度 平成28年度	・先進り	也の事例調		4 4. E (197)	マッサハ で	17,417	70		
(2)年月	度別取組内容	• 検討会	で事例調査 議の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度		也の事例調	查		マッキハ で	17,417	70		
(2)年月		前期	で 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度			查					60 150	
(2)年月	度別取組内容	前期	で事例調査 議の実施 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度		会議の実施	查)决定	前期平成28年度		平成30年度		平成32年度
(2)年月	度別取組内容	前期	平成27年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度			査・方針の)决定	前期			平成31年度	
(2)年月		・検討会前期	平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標指標名		議の実施 目標値 実績値	を ・方針 <i>0</i> 単位)决定	前期		平成30年度	平成31年度	平成32年度

0.7	E 40 元 D A	ハロがって	・ トン・ト マ +ドハナーケケ TEI ナ	大井山市 学 コ	I				担当	部名	教育	委員会
37	取組項目名	公民館に	における指定管理者	i制度得/	への検討				担当	課名	生涯学	学習課
(1)取約	組概要	維持管理費削減及び効率的な事業運営のため、公民館の指定管理者制度 【主な取組項目】 ・先進地の事例調査 ・検討会議の実施										•
			平成27年度			_						
		前期	平成28年度									
(0) 年1	度別取組内容		平成29年度									
(2) 4-1	支加取組門谷		平成30年度	・先進地	也の事例調	査						
		後期	平成31年度	・検討会	会議の実施	・方針の	の決定					
			平成32年度									
			目標指標名			単位	The section of the se	前 期		T Doofee the	後期	
					目標値		平成27年度	平成28年度	平成29年度	実施	平成31年度 実施	実施
(a) E I		教育委員	会内部での検討会議	もの実施	実績値 達成率	<u>-</u> %			//			犬旭
(3) 目 和	票指標	庁内での	対対会議の実施		目標値 実績値 達成率	- %			//		実施	
		方針の決	·定		目標値 実績値 達成率	<u> </u>		$/\!/\!/$	$/\!/\!/$		実施	
						/0						
		l			X_//X_ T	70			担当	部名	病隊	完局
38	取組項目名		そのあり方の検討						担当担当	課名	牡鹿	完局 :病院
	取組項目名組概要	地域医 討する。 【主な耶 ・病床形	そのあり方の検討 医療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検討 見括ケアとの連携第	\			さる医療体	本制を確立	担当	課名	牡鹿	病院
		地域医 討する。 【主な耶 ・病床形	医療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検討	寸 きの検討 ・病床形		安心でき	 寸	(制を確立	担当	課名	牡鹿	病院
		地域医 討する。 【主な耶 ・病床形	医療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検記 記括ケアとの連携第	が きの検討 ・病床形 ・地域を ・病床形	と確保し、	安心でき 方の検 うの検 方の検	寸 策の検討 寸	「制を確立	担当	課名	牡鹿	病院
(1) 取渝	組概要	地域医 討する。 【主な耶 ・病床形 ・地域包	医療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検診 1括ケアとの連携第 平成27年度	が きの検討 ・病床形 ・地域を ・病床形	と確保し、 ジ態のあり ジ話ケアと ジ態のあり	安心でき 方の検 うの検 方の検	寸 策の検討 寸	「制を確立	担当	課名	牡鹿	病院
(1) 取渝		地域医 討する。 【主な耶 ・病床形 ・地域包	医療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検討 2括ケアとの連携第 平成27年度 平成28年度	が きの検討 ・病床形 ・地域を ・病床形	と確保し、 ジ態のあり ジ話ケアと ジ態のあり	安心でき 方の検 うの検 方の検	寸 策の検討 寸	が制を確立	担当	課名	牡鹿	病院
(1) 取渝	組概要	地域医 討する。 【主な耶 ・病床形 ・地域包	医療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検診 2括ケアとの連携第 平成27年度 平成28年度 平成29年度	が きの検討 ・病床形 ・地域を ・病床形	と確保し、 ジ態のあり ジ話ケアと ジ態のあり	安心でき 方の検 うの検 方の検	寸 策の検討 寸	が制を確立	担当	課名	牡鹿	病院
(1) 取渝	組概要	地域医計する。 【主な取・病床形・地域を	医療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検診 2括ケアとの連携第 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	が きの検討 ・病床形 ・地域を ・病床形	と確保し、 ジ態のあり ジ話ケアと ジ態のあり	安心でき 方の検 うの検 方の検	寸 策の検討 寸		担当なっため	課名	牡鹿	病院) 方を検
(1) 取渝	組概要	地域医計する。 【主な取・病床形・地域を	医療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検診 2括ケアとの連携第 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	が きの検討 ・病床形 ・地域を ・病床形	と確保し、 ジ態のあり ジ話ケアと ジ態のあり	安心でき 方の検 うの検 方の検	対の検討で検討	前	担当なっため	課名)、牡鹿症	牧鹿病院のあり	病院)方を検
(1) 取渝	組概要	地域る。 「主な床域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	議療の継続と安定的 対組内容】 が態のあり方の検診 2括ケアとの連携第 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	が きの検討 ・病床形 ・地域を ・病床形	を確保し、	安心できた。方の連携を持続できた。	対の検討で検討	前	担当なっため	課名)、牡鹿症	牧鹿病院のあり	病院)方を検
(2)年月	組概要 度別取組内容	地域る。 「主な床域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を 放組内容】 が態のあり方の検 が態のあり方の検 が態のありたの連携第 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	が きの検討 ・病床形 ・地域を ・病床形	を確保し、	安心できたのである。方の連携を計画を表現である。	対	前 平成28年度 実施	担当なっため	課名)、牡鹿症	牧鹿病院のあり	病院)方を検
(1) 取渝	組概要 度別取組内容	地域る。 「主な床域・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を 放組内容】 が態のあり方の検誘 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	が	を確保し、	安心できた。方の連携を持続できた。	対	前 期平成28年度	担当なっため	課名)、牡鹿症	牧鹿病院のあり	病院)方を検
(2)年月	組概要 度別取組内容	地域る。 「主な床域・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を 放組内容】 が態のあり方の検 が態のあり方の検 が態のありたの連携第 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	が	を確保し、 態括 の方の方の方である。 「自実達目実達成標績成標値を値値率を値値率を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を	安心できた。方の連携を持続できた。	対	前 平成28年度 実施	担当なっため	課名)、牡鹿症	牧鹿病院のあり	病院)方を検
(2)年月	組概要 度別取組内容	地域る。 「主な床域・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を 放組内容】 が態のあり方の検誘 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度	が	を確保 し、	安心できた。	対	前 平成28年度 実施	担当なっため	課名)、牡鹿症	牧鹿病院のあり	病院)方を検

-	62	_
	٧ <u>۲</u>	

基本目標5

市民と協働で進める行財政運営

	取 組 項 目 名	担当部	掲載ページ	
1	市民との協働の推進	復興政策部	65	
2	ICTを活用した行政サービスの向上と業務の効率化の推進	復興政策部	65	
3	まちづくり懇談会の開催	総務部	66	
4	新たな市政情報の発信方法の検討	総務部	66	
5	ホームページ・市報の改善	総務部	67	
6	情報開示方法の多様化の検討	総務部	67	
7	社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の利活用の検討	総務部・財務部	68	
8	消防団の班の再編・再生	総務部	68	
9	財政状況の公表	財務部	69	
1 0	コンビニエンスストアにおける証明書等の交付の検討	生活環境部	69	
1 1	都市公園愛護会結成の促進	建設部	70	

1	取組項目名	市民との	協働の推進					担当担当		復興政策部 地域協働課			
(1)取約	组概要	地域コミュニティの再生・強化を促進し、また新市街地における新たなコミュニティの構築を図りながら、住民主体の協働のまちづくりを実現するため、行政と市民の協働を推進する。 【主な取組内容】 ・コミュニティづくり支援補助事業等の実施 ・地域づくりコーディネート事業等の実施 ・地域自治システムの構築 ・新市街地における自治会形成支援											
		7/2/11/2/12	平成27年度 ・コミュニティづくり支援補助事業・地域づくりコーディネート事業等の実施・地域自治システムの構築									5の実施	
		前期	平成28年度 ・コミュニティづくり支援補助事業・地域づくりコーディネート事業等の実施・地域自治システムの構築										
(2) 年 5	在 则历知内宏		平成29年度		ュニティづ 治システ			美・地域で	うくりコー	ディネー	-ト事業等	手の実施	
(2)年月	度別取組内容		平成30年度		ュニティづ 治システ			美・地域づ	5くりコー	ディネー	ート事業等	の実施	
		後期	平成31年度		ュニティづ 治システ			美・地域で	うくりコー	ディネー	- ト事業等	5の実施	
			平成32年度		ュニティづ 目治システ			美・地域づ	がくりコー	ディネー	- ト事業等	手の実施	
			目標指標名			単位	亚成97年度	前期平成28年度		亚成30年度	後期		
		コミュニ申請件数	 ニティづくり支援補	前助事業	目標値 実績値	件数	373	373	373	250	250	250	
(3) 目核	雲指標				達成率 目標値	%	6	6	6	10	10	10	
(0) [1]	71.1 H 1/1	地域づく体数	りコーディネート	·助成団	実績値 達成率	件数 %			-	10	10	10	
			組織の累積設立数 治システム)	Ţ	目標値 実績値 達成率	件数 %	2	3	3	4	5	6	
2	取組項目名	I C T &	活用した行政サー	-ビスの向	可上と業務	の効率化	どの推進		担当担当		復興政策部 ICT総合推進室		
(1) 取約	组概要	向上と地画を策定 【主な取	の最新技術を積極 地域資源の有効利用 こし各種施策を推進 組内容】 に石巻市地域情報化	別による親 ≦する。	所産業創出	のため、	5災、医療 第2次2	景、福祉等 5巻市地域	で の各分野 な情報化基	がにおける 本計画に	る行政サー こ基づいた	-ビスの :実施計	
			平成27年度	地域情	青報化基本	計画実施	面計画の検	食討・策定	<u> </u>				
		前期	平成28年度	青報化基本	施計画に基づく各種施策の実施								
(9) 左 5	车 则取织内容		平成29年度	 地域情 	青報化基本	計画実施	直計画に 差	基づく各種	施策の実	施			
(2)年度	度別取組内容		平成30年度	・行政文書決裁管理及びGIS統合ソリューションの検討									
		後期	平成31年度	・行政が用の確立	工書決裁管	理及び(SIS統合	ት ソリュー	・ション導	入に向け	けた庁内調	整・運	
			平成32年度	・行政文	て書決裁管	理及びの	SIS統合	テソリュー	ションの	順次導力	(
			目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度		
		地域情報討	化基本計画実施計	画の検	目標値 実績値	- 0/	実施				1,00		
(3) 目核	票指標	地域情報定	2化基本計画実施計	一画の策	達成率 目標値 実績値	<u>%</u> _	実施						
			ω λ.h. 4h ΑλΑ* →ππ π7 ··· · ·	04.	達成率 目標値	%	<u> </u>			10	30	50	
行政文書決裁管理及びG I S統合 ソリューション導入の進捗 <u>目標値</u> 実績値 <u>実</u> 績値 <u>達成率</u> % <u>10</u>													

3	取組項目名	まちづくり懇談会の開催								部名課名	総務部 秘書広報課				
)身近な課題や復興 談会を開催する。	以状況、復	夏興後の未	来像なと	、市民邓	双方向型の							
(1) 取約	組概要	【主な取組内容】 ・まちづくり懇談会の開催回数及び対象の拡大の検討													
			平成27年度		づくり懇談 づくり懇談			が対象の拡	大の検討	ţ					
		前期 平成28年度 ・まちづくり懇談会の開催													
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・まちつ	づくり懇談	会の開催	i								
			平成30年度		づくり懇談 づくり懇談			が対象の拉	大の検討	†					
		後期	平成31年度	・まちつ	づくり懇談	会の開催	<u>.</u>								
			平成32年度	・まちつ	づくり懇談	会の開催									
			目標指標名			単位	平成27年度	前期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度				
			り懇談会の開催回 大の検討	数及び	目標値 実績値 達成率	- %	実施			実施					
(3) 目标	票指標	まちづく	り懇談会開催回数	ζ	目標値 実績値	回	8	8	10	8	8	8			
					達成率 目標値 実績値	%									
	- 4-7-5	٠		- IA - I	達成率	%			担当	部名	総系	务部			
4	取組項目名		「政情報の発信方法 ○手法による市政情				I C T Å	ン活田した	担当担当	課名	総務を行る	広報課			
(1)取新		新たな	可政情報の発信方法 注手法による市政情 取組内容】 を活用した情報発	青報の提供	共を実施す		I C T &	▶活用した	担当	課名	秘書点	広報課			
_		新たな	(手法による市政情 対組内容】	情報の提供 経信方法の	共を実施す	るため、			担当	課名	秘書点	広報課			
_		新たな	を手法による市政情 対組内容】 で活用した情報発	情報の提供 を信方法の ・ICT	共を実施す)検討	た情報発	・ 信方法の)検討	担当	課名	秘書点	広報課			
(1) 取新		新たな 【主な取 ・ I C T	注手法による市政情報 対組内容】 ・を活用した情報発 平成27年度	・ I C T	*を実施す)検討 ごを活用し	た情報発	《信方法》 《信方法》)検討)検討	担当	課名	秘書点	広報課			
(1) 取新	組概要	新たな 【主な取 ・ I C T	で手法による市政情報を活用した情報発 で活用した情報発 で成27年度 平成28年度	・ I C T・ I C T	tを実施す)検討 ごを活用し ごを活用し	た情報発	经信方法の 经信方法の)検討)検討)検討	担当	課名	秘書が	公報課			
(1) 取新	組概要	新たな 【主な取 ・ I C T	で手法による市政情報を 対組内容】 を活用した情報発 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・ICT・ICT	はを実施す)検討 「を活用し 「を活用し	るため、 た情報発 た情報発 た情報発	《信方法》 《信方法》 《信方法》 情報発信)検討)検討	村・実施の	課名 (方法の格	秘書店 計を行う	な報課			
(1) 取新	組概要	新たな『主な耶・ICT	注手法による市政情報 対組内容】 を活用した情報発 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度	・ICT・ICT・ICT	**を実施す)検討 「を活用し 「を活用し 、を活用し	るため、 た情報発 た情報発 た新たな た新たな	经信方法の 经信方法の 情報発信 情報発信)検討)検討 方法の検言 方法の検言	担当情報発信を実施を対・実施を対・実施を対・実施を対・実施を対・実施を対・実施を対・実施を対	課名 方法の核 なびフェィ なびフェィ	秘書店 注討を行う イスブック イスブック	広報課 ・ ・ ・ ・ の 充 実 ・ ・ の 充 実 ・ ・ の 充 実 り ・ の た り ・ り ・ り ・ り の た り ・ り の た り ・ り り り り り り り り り り り り り り り り り			
(1) 取新	組概要	新たな『主な耶・ICT	手法による市政情報対組内容】を活用した情報平成27年度平成28年度平成29年度平成30年度平成31年度	・ICT・ICT・ICT	t を 実施す でを を を を 活 活 活 用 用 用 用 し し し し し し し し し し し し し	るため、 た情報発 た情報発 た新たな	经信方法の 经信方法の 性信方法の 情報発信 情報発信 情報発信)検討)検討 方法の検 方法の検 <u>前</u> 期 _{平成28年度}	担当 情報発信 計·実施》 計·実施》 平成29年度	課名 方法の核 びフェー 女びフェー マ成30年度	秘書店 計を行う イスブック イスブック イスブック 平成31年度	公報課 の の の た 実 の の 不実 平成32年度			
(1) 取新	組概要	新たな『主な耶・ICT	手法による市政情報対組内容】を活用した情報平成27年度平成28年度平成29年度平成30年度平成31年度平成32年度	・ I C T・ I C T・ I C T・ I C T・ I C T	**を実施す)検討 ・を活用し ・を活用し ・を活用し ・を活用し	るため、 た情報発 た情報発 た新たな た新たな	全信方法の 全信方法の 情報発信 情報発信)検討)検討 方法の検 方法の検 前 期	村・実施の対・実施の対・実施の対・実施の対・実施の対・実施の対・実施の対・実施の対	課名 方法の が フェー ひ び フェー ひ び フェー	秘書店 で	公報課 の の 充実 の の 充実			
(1) 取新	組概要 度別取組内容	新たな 【主な取・I C T 検討	手法による市政情報双組内容】を活用した情報平成27年度平成28年度平成29年度平成30年度平成31年度平成32年度目標指標名	・ I C T・ I C T・ I C T・ I C T・ I C T	***を実施す***を変換***をを**をを**をを**を*	るため、 た情報発 た情報発 た新たな た新たな	经信方法の 经信方法の 性信方法の 情報発信 情報発信 情報発信)検討)検討 方法の検 方法の検 <u>前</u> 期 _{平成28年度}	担当 情報発信 計·実施》 計·実施》 平成29年度	課名 方法の核 びフェー 女びフェー マ成30年度	秘書店 計を行う イスブック イスブック イスブック 平成31年度	公報課 の の の た 実 の の 不実 平成32年度			

5	取組項目名	ホームへ		担当担当		総務部 秘書広報課							
		現在行 改善を行	テっている市政の点 テう。	「報につい	いて、最新	で情報を	を分かりや	やすく提供					
(1) 取約	組概要	【主な取組内容】 ・ホームページ・市報の改善内容の検討・実施											
			平成27年度	・ホーノ	ムページ・	市報の	女善内容0)検討					
		前期	平成28年度	成28年度 ・ホームページ・市報の改善内容の実施準備									
(2)年月	度別取組内容		平成29年度	・ホーム	ムページ・	市報の	女善						
(=) 12	2,337,00,111,111		平成30年度	・ホーノ	ムページ、	市報の改	女善内容0)検討及び	改善				
		後期	平成31年度	・ホーノ	ムページ、	市報の引	女善内容0)検討及び	改善				
			平成32年度	・ホーム	ムページ、	市報の記	女善内容0)検討及び	改善				
			目標指標名	•		単位	平成27年度	前期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度		
		ホーム^ 検討	ページ・市報の改善	幹内容の	目標値実績値	_	実施		実施	実施	実施	実施	
(3) 目相	票指標		 ページ・市報 <i>の</i> 改善	±	達成率 目標値	<u>%</u> _		実施	実施	実施	実施	実施	
					実績値 達成率	%							
					実績値								
						%							
6	取組項目名	情報開示	ミカ おっと おっと おっと おっと おっと おっと かっと かっと かっと かっと かっと かっと かっと かっと かっと か	美 討	達成率	%			担当担当		総系		
6 (1) 取約		情報が ンデータ 【主な取	大方法の多様化の核は開の推進及び情報は無力容】な組内容】は開示手法の検討	B公開制度	達成率	の向上を	を図るため	か、情報開	担当	課名	総務	 落課	
		情報が ンデータ 【主な取	・開の推進及び情報・等の電子データの 対組内容】	吸公開制度 >活用) <i>0</i>	達成率	:の向上? [:] う。	を図るため	か、情報開	担当	課名	総務	 落課	
		情報が ンデータ 【主な取	常の推進及び情報特の電子データの対組内容】計示手法の検討	吸公開制度 の活用) <i>の</i> ・新たた	達成率 度の利便性 分検討を行	の向上です。	を図るため	り、情報開	担当	課名	総務	 落課	
(1) 取希	且概要	情報 グンデータ 【主な取・新たな	、開の推進及び情報 学の電子データの 対組内容】 対組内容】 ・開示手法の検討 平成27年度	最公開制度 シ活用) <i>の</i> ・新たた ・新たた	達成率 変の利便性 の検討を行 は開示手法	の向上 ² う。 の検討	を図るため	か、情報開	担当	課名	総務	 落課	
(1) 取希		情報 グンデータ 【主な取・新たな	は開の推進及び情報でいる。 は知内容】 は知内容】 は開示手法の検討 平成27年度 平成28年度	B公開制度 ・新たた ・新たた	達成率 変の利便性 の検討を行 は開示手法 は開示手法	の向上でう。	を図るため	か、情報開	担当	課名	総務	 落課	
(1) 取希	且概要	情報 グンデータ 【主な取・新たな	注開の推進及び情報で等の電子データの 対組内容】 対組内容】 で開示手法の検討 平成27年度 平成28年度 平成29年度	W公開制 の ・新たた ・新たた ・新たた	達成率 変の利便性 の検討を行 は開示手法 は開示手法	の向上でう。	を図るため	か、情報開	担当	課名	総務	 落課	
(1) 取希	且概要	情報 グンデータ 【主な取・新たな 前期	常開の推進及び情報で等の電子データの 対組内容】 対組内容】 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成29年度	B公開制 の ・新たた ・新たた ・新たた	達成率 変の利便性の検討を行い は開示手法は は開示手法は は開示手法と	の向上でう。の検討の検討の検討の検討	を図るため		担当示方法の	課名	総移 (PDF、	客課 オープ	
(1) 取希	且概要	情報 グンデータ 【主な取・新たな 前期	・開の推進及び情報で等の電子データの・対組内容】・対組内容】・平成27年度平成28年度平成29年度平成30年度平成31年度	B公開制 の ・新たた ・新たた ・新たた	達成率 で	の向上でう。の検討の検討の検討の検討	平成27年度	前 期	担当 示方法の	課名)多樣化	総務 (PDF、 平成31年度	客課 オープ 平成32年度	
(1) 取組(2) 年月	度別取組内容	情報なタン【主またな・新たな・前期	・開の推進及び情報 ・等の電子データの ・組内容】・対理がよりを対している。・対理がよりを対している。・平成27年度・平成28年度・平成29年度・平成30年度・平成31年度・平成32年度	B公開制 の ・新たた ・新たた ・新たた	達成率 と	の向上での検討の検討の検討での検討を持ずる		前期	担当示方法の	課名)多樣化	総 (PDF、	客課 オープ	
(1) 取希	度別取組内容	情報なタン【主またな・新たな・前期	に開の推進及び情報 (等の電子データの (対象組内容】 (対象組内容】 (対象組内容】 (対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	B公開制 の ・新たた ・新たた ・新たた	達成 の検 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開	の向上である。 の検討 の検討 の検討 での検討 での検討 での 検討 できる の 検討 できる の 検討 できる から いっぱい から いっぱい から いっぱい から いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	平成27年度	前 期	平成29年度	課名)多樣化	総務 (PDF、 平成31年度	客課 オープ 平成32年度	
(1) 取組(2) 年月	度別取組内容	情報なタン【主またな・新たな・前期	に開の推進及び情報 (等の電子データの (対象組内容】 (対象組内容】 (対象組内容】 (対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	B公開制 の ・新たた ・新たた ・新たた	達成 で	の向上での検討の検討の検討での検討である。	平成27年度	前 期	平成29年度	課名)多樣化	総務 (PDF、 平成31年度	客課 オープ 平成32年度	

7	取組項目名	社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の利活用の検討 担								担当課名 総務課		新・財務部 果・行政経営課			
(1) 取約	组概要	市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、マイナンバー制度導入後の利活用について検討する。 【主な取組内容】 ・マイナンバー制度の導入及び利活用の検討													
			平成27年度 ・マイナンバー制度の導入												
		前期	平成28年度	・マイナンバー制度の利活用の検討											
(2) 年	度別取組内容		平成29年度	・マイナ	トンバー制	度の利温	5用の検診	ł							
(2) +15	文力以和广门台		平成30年度	・マイナ	ーンバー制	度の円滑	骨な実施及	なが利活用	の検討						
		後期	平成31年度	・マイナ	トンバー制	度の円滑	骨な実施及	なが利活用	の検討						
			平成32年度	・マイナ	ンバー制	度の円滑	骨な実施及								
			目標指標名			単位	亚成97年度	前 期平成28年度		亚成30年度	後期				
		マイナン	/バー制度利活用の)検討	目標値実績値	_	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	実施	実施	1 1000 1 12		1 100 1 12			
(3) 目柱	票指標		/バー制度の円滑な	よ実施及	達成率 目標値 実績値	<u>%</u> _				実施	実施	実施			
		び利活用	の検討 		達成率	%									
					実績値										
8	取組項目名	消防団の)班の再編・再生		達成率	%			担当担当	部名課名	総務防災割	务部 推進課			
8 (1)取約		被災地 班の再編 【主な取	の班の再編・再生 地域の消防力確保、 記・再生を図る。 取組内容】 日の班の再編に向け		•		方設備の有	対活用を	担当	課名	防災割	推進課			
		被災地 班の再編 【主な取	地域の消防力確保、 属・再生を図る。 双組内容】	た検討	•	化と消除		一方効活用を	担当	課名	防災割	推進課			
		被災地 班の再編 【主な取	地域の消防力確保、 ・再生を図る。 対組内容】 引の班の再編に向け	・消防団			 ナた検討	一直対応用を	担当	課名	防災割	推進課			
(1) 取納	组概要	被災地 班の再編 【主な耶 ・消防団	地域の消防力確保、 ・ 再生を図る。 対組内容】 の班の再編に向け 平成27年度	・消防E ・消防E	日織の効率 団の班の再	編に向に編に向い	た検討けた検討		担当	課名	防災割	推進課			
(1) 取納		被災地 班の再編 【主な耶 ・消防団	地域の消防力確保、 ・再生を図る。 対組内容】 の班の再編に向け 平成27年度 平成28年度	・消防E ・消防E ・消防E	日織の効率 目の班の再 目の班の再	編に向に編に向に編・再生	けた検討 けた検討 Eの一部ま	そ施	担当	課名	防災割	推進課			
(1) 取納	组概要	被災地 班の再編 【主な耶 ・消防団	地域の消防力確保、 ・・再生を図る。 対組内容】 の班の再編に向け 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・ ・ ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ が に に が に に に に に に に に に に に に に	間の班の再	化と消除 編に向に 編・再生	けた検討 けた検討 Eの一部実 Eの一部実	尾施	担当	課名	防災割	推進課			
(1) 取納	组概要	被災地班の再編	地域の消防力確保、 ・ 再生を図る。 対組内容】 の班の再編に向け 平成27年度 平成28年度 平成29年度	・ ・ ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ ・ 消防 ・ ・ 消防 ・ ・ が に に に が に に に に に に に に に に に に に	国織の効率 間の班の再 間の班の再	化と消除 編に向に 編・再生 編・再生	けた検討 けた検討 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部	走施 基施	担当	課名	防災力	推進課			
(1) 取納	组概要	被災地班の再編	地域の消防力確保、 ・再生を図る。 対組内容】 の班の再編に向け 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	・ ・ ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ 消防 ・ ・ 消防 ・ ・ 消防 ・ ・ が に に に が に に に に に に に に に に に に に	間の班の再	化と消除 編に向に 編・再生 編・再生	けた検討 けた検討 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部	走施 下施 下施 下施 下施	担当	課名	防災対	推進課			
(1) 取納	组概要	被災再編を受ける。	世域の消防力確保、 ・ 再生を図る。 取組内容】 1の班の再編に向け 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度	・	田織の効率 間の班の再 間の班の再 間の班の再 間の班の再	に 向い 編 に 再 4 編 ・ 再 4 単位 ー	けた検討 けた検討 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部	産施	担当	課名 、現状に		推進課			
(1) 取納	组概要	被災再編を受ける。	世域の消防力確保、 語・再生を図る。 取組内容】 同の班の再編に向け 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 日標指標名	・	田織の効率 間の班の 町の班の 町の 町の 町の 町の 町の 町の 町の 町	(化と消) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	けた検討 けた検討 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部	を	担当 2図るため	課名 、現状に	防災対	推進課			
(1) 取組(2) 年月	组概要	班の 主 は が は が が が が が が が が が が が が が が が が	世域の消防力確保、 記・再生を図る。 取組内容】 1の班の再編に向け 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 日標指標名 か班の再編に向けた	・	日の班の再 日の班の再 日の班の再 日の班の再 日の班の再 日の班の再 日の班の再 日で乗値値 実績成率 日標値 事標値	A に向い 編 に 再 4 編 ・ 再 4 単 位 一 %	けた検討 けた検討 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部 Eの一部	を	型当 で図るため 実施	課名)、現状に 平成30年度	後 平成31年度	推進課 角防団の 平成32年度			

9	取組項目名	財政状況	己の公表						担当			答部
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	沈についての市国	己理解を推	能性するた	·め. 分t	いりやすい	、財政 狀況	担当		財政	攻課
(1)取約	组概要	【主な耶 ・市報、	X組内容】 ホームページでの 7公会計の導入と新)財政状況	己の公表			745000		. 13 20		
			平成27年度		ホームペ 5公会計導		り財政状況 る検討	兄の公表				
		前期	平成28年度	・市報、ホームページでの財政状況の公表 ・新地方公会計導入に係る検討								
(2)年度別取組内容			平成29年度		ホームペ 5公会計の		り財政状況	兄の公表				
(2) +1	文加州山下江台		平成30年度				り財政状況 う新たな情		共実施			
		後期	平成31年度				の財政状況		共実施			
			平成32年度				の財政状況	青報の提供			//• U-	
			目標指標名			単位	平成27年度	前 期 平成28年度	平成29年度	平成30年度	後 期 平成31年度	,
		市報、オの公表回	、一ムページでの則]数	才政状況	目標値 実績値 達成率	回 %	2	2	2	2	2	2
(3) 目柱	票指標	新地方公 議の開催		可調整会	目標値 実績値 達成率	- /o - 回 - %	5	5				
		統一的な	:基準による財務諸	表の公表	目標値実績値	口			1	1	1	1
					- 文 広 ※	0/_						
1.0	T 40-T D 6				達成率	%		<u> </u>	担当	部名	生活理	景境部
10	取組項目名		ニエンスストアにお		書等の交	で付の検討) T (1)	担当	課名	市	
10		窓口利 の交付に 【主な取	ニエンスストアにお 用者の利便性の向 に併せた、コンビニ 組内容】 ニエンスストアに	可上を図る ニエンスス]書等の交 ため、住 ストアにお	だ付の検言 E民基本台 らける証明	台帳カート 月書等の交		担当	課名 ・制による	市	
		窓口利 の交付に 【主な取	用者の利便性の向に併せた、コンビニ 類内容】	可上を図る ニエンスフ ニおける交	引書等の交 ため、住 ストアにお で付可能な	だ付の検言 三民基本 おける証明 き証明書等	台帳カート 月書等の交	を付につい <u></u> 、番号の交	担当 (ナンバー) て検討す で付開始に	課名 -制による -る。 - - - - - - - - る。	市原	
		窓口利 の交付に 【主な取	用者の利便性の向 併せた、コンビニ 紅内容】 ニエンスストアに	可上を図る ニエンスス ニおける交 ・マイナ ・コンヒ	引書等の交 らため、住 くトアにお で付可能な ・ンバー制 ごニエンス	だ付の検言 三民基本語 話ける証明書等 ご証明書等 「皮導入に	台帳カート 月書等の交 等の検討 こ伴う個人	を付につい 本番号の交 を付可能な	担当イナンバー、て検討す	課名 -制による る。 - - - - - る。 - る。 - は - が に 大 る。 - が に 大 の た の も の も の も の も の も の も の も の も の も	市原	
(1) 取斧		窓口和 の交付に 【主な耶 ・コンヒ	用者の利便性の向 併せた、コンビニ 紅内容】 ニエンスストアに 平成27年度	可上を図る ニエンスス こおける タ ・マイナヒ ・コンヒ ・ 証明書	計書等の交 ため、住 たといにお で付可能な でイーンバールス ごニエンス	だ付の検言 民基本語 にはる証明書 にストアに ストアに	台帳カート 月書等の女 等の検討 に伴う個人 こおける交	を付についる。 番号のを を付可能な を付可能な を 業務契約	担当 イナンバー トで検討す を付開始に に証明書等	課名 -制による -る。 - 状況把握 の検討 - の検討	市! 市 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	天課 ラカード
(1) 取斧	组概要	窓口和 の交付に 【主な耶 ・コンヒ	用者の利便性の向 併せた、コンビニ 	リートを図るプログライン マイン マイン マイン ・	引書等の交 らため、住 らたかにお で付可能な ーンバエンス ・ニエンス きび住基、	だ付の検言 にはる証明 きない。 は、証明 きない。 は、これでは、これで、 で、 が、これで、 で、 が、これで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	台帳書等の 中書等の (はおけい) は にはおけい は にはない。 にはおけい は にはない。 に	を付についる 番号の交 付可能な で付可能な と 業務契約 と シ	担当イナンバー・て検討するとは証明書等は証明書等のイステム開	課名 -制による -制による - る。 - 状况把握 の検討 - の検討	市ほの個人番号	民課 ラカード 調整
(1) 取斧	组概要	窓口和 の交付に 【主な耶 ・コンヒ	J用者の利便性の向 併せた、コンビニ 収組内容】 ビニエンスストアに 平成27年度 平成28年度 平成29年度	リートを図るプログライン マイン マイン マイン ・	引書等の交 らため、住 らたかにお で付可能な ーンバエンス ・ニエンス きび住基、	だ付の検言 にはる証明 きない。 は、証明 きない。 は、これでは、これで、 で、 が、これで、 で、 が、これで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	台帳書等の 所書等 検討 におけける はない にない にない にない にない にない にない にない に	を付についる 番号の交 付可能な で付可能な と 業務契約 と シ	担当イナンバー・て検討するとは証明書等は証明書等のイステム開	課名 -制による -制による - る。 - 状况把握 の検討 - の検討	市ほの個人番号	民課 ラカード 調整
(1) 取斧	组概要	窓口和の交付に「主な取・コント	J用者の利便性の向 併せた、コンビニ 2組内容】 ジニエンスストアに 平成27年度 平成28年度 平成29年度	リートを図るプログライン マイン マイン マイン ・	引書等の交 らため、住 らたかにお で付可能な ーンバエンス ・ニエンス きび住基、	だ付の検言 にはる証明 きない。 は、証明 きない。 は、これでは、これで、 で、 が、これで、 で、 が、これで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	台帳書等の 所書等 検討 におけける はない にない にない にない にない にない にない にない に	を付につい 番号の変わる を付 可能な 要素が 一	担当イナンでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	課名 -制による -制による - る。 - 状况把握 の検討 - の検討	市II	 現 ラカード 調整 マの開始
(1) 取斧	组概要	窓口和の交付に「主な取・コント	J用者の利便性の向 併せた、コンビニ A組内容】 デニエンスストアに 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	リートを図るプログライン マイン マイン マイン ・	引書等の交 らため、住 らたかにお で付可能な ーンバエンス ・ニエンス きび住基、	だ付の検言 にはる証明 きない。 は、証明 きない。 は、これでは、これで、 で、 が、これで、 で、 が、これで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	台帳書等の 付書等 検 が が が が が が が が が が が が が	を付につい 番付可可能な を付す 新契と を対す による 記 前	担当イナン代表を記して、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	課名制による制による 状況把据 の検討 で で で で で で で	市店 の個人番号	民課 ラカード 調整 への開始
(1) 取斧	组概要	窓で付いません。 変交 ない まない が	J用者の利便性の向 分 分 がニエンスストアに 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度	リートを図るプロード マイナ マコン 明春 イナー・マイナー・マイナー・マイナー・マイナー・マイナー・マイナー・マイナー・マ	書等の交 住	を付の基本証明 ウェスス 交税 個 単位 一	台帳書等の 付書等 検 が が が が が が が が が が が が が	を付につい 番付可可能な を付す 新契と を対す による 記 前	担当イナンでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	課名制による制による 状況把据 の検討 で で で で で で で	市店 の個人番号	民課 ラカード 調整 への開始
(1) 取斧	度別取組内容	窓交付ないますが、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では	J用者の利便性の位 一併せた、コンビニ 取組内容】 「ニエンスストアに 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成32年度	リート を図る スター・ コーニー おけ マコーン 田籍 イン トーラー マイナ まって で な な な な な な か まって まって か まって	書	だ付の 様 正 に に に に に に に に に に に に に	台帳書等の 付書等 を は が は が は が は が は が は が は が は が が は が が が は が が が が が が が が が が が が が	を付につい 番付可可能な を付す 一 で付 で が で が で と が に よ る る る る る る る る る る る る る る る る る る	担当イナン代表を記して、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	課名制による制による 状況把据 の検討 で で で で で で で	市店 の個人番号	民課 ラカード 調整 への開始
(1) 取組(2) 年月	度別取組内容	の 【・前 期後 ン可 明集ご 市 またご 市 また<li< td=""><td>J用者の利便性の位 供せた、コンビニ A組内容】 エエンスストアに 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度</td><td>リーニン おい マコーン に</td><td> 書</td><td>を付の基本証明 ウェスス 交税 個 単位 一</td><td>台帳書等の 付書等 にこここれ にここれ にここれ にここれ ではいけい にここれ ではいい ではいい。 ではいいい。 ではい。 ではいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。</td><td>を付につい 番付可可能な を付す 一 で付 で が で が で と が に よ る る る る る る る る る る る る る る る る る る</td><td>担当イナンバートンでは、一世の大学には、一世の大学には、一世の、一世のは、一世の、一世の一生には、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の</td><td>課名制による制による制による 次 次 次 次 次 次 次</td><td>市店 の個人番号</td><td>民課 ラカード 調整 への開始</td></li<>	J用者の利便性の位 供せた、コンビニ A組内容】 エエンスストアに 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度 平成31年度	リーニン おい マコーン に	書	を付の基本証明 ウェスス 交税 個 単位 一	台帳書等の 付書等 にこここれ にここれ にここれ にここれ ではいけい にここれ ではいい ではいい。 ではいいい。 ではい。 ではいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。 にはいい。	を付につい 番付可可能な を付す 一 で付 で が で が で と が に よ る る る る る る る る る る る る る る る る る る	担当イナンバートンでは、一世の大学には、一世の大学には、一世の、一世のは、一世の、一世の一生には、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の、一世の	課名制による制による制による 次 次 次 次 次 次 次	市店 の個人番号	民課 ラカード 調整 への開始

11	取組項目名	都市公園愛護会結成の促進								部名		空部
		₩7 士 ハ	国の済ごね維持祭	エ田ナーのフ	1 t= 1 h	はの八月	1番港国は	のは出さ	担当		都巾記	計画課
(1) 取約	且概要	都市公園の適正な維持管理を図るため、地域の公園愛護団体の結成を促進する。 【主な取組内容】 ・愛護会結成の周知活動										
			平成27年度	• 愛護会	除結成の周	知活動						
		前期	平成28年度	• 愛護会	※結成の周	知活動						
(2) 年月	度別取組内容		平成29年度	・愛護会結成の周知活動								
(2) 2	Z/314X/IIII 170		平成30年度	:30年度 ・愛護会結成の周知活動								
		後期	平成31年度	・愛護会結成の周知活動								
			平成32年度	・愛護会結成の周知活動								
			目標指標名			単位		前期	亚成90年度	亚成30年度	後 期 平成31年度	
		都市公園	愛護会結成の周知	目標値 実績値 達成率	- %	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
(3) 目核	票指標	都市公園	愛護会の結成数	度成率 目標値 実績値 達成率	<u>%</u> 団体 %	86	87	88	100	105	115	
		都市公園	愛護会の結成され	た公園数	目標値	公園 %	172	174	176	200	210	230

- 71	_
------	---